

2021年度前期 開設講座・ワークショップ (WS) 一覧			2021年4月～9月
No.	講座・WS名	テーマ	講師名(敬称略)
1	美術Ⅰ	仏像快慶とその時代	多摩美術大学教授 青木 淳
★2	自然Ⅰ(川崎学)	大地の声を聴く 江戸・川崎・神奈川・東京…起源・ルーツと発展、継承編	多摩川流域自然史研究会代表 増淵和夫ほか
★3	国際関係	アジア地域秩序の変容の中のASEAN 諸国：日本は彼らとどう向き合うべきか	神奈川大学教授 大庭三枝
★WS-1	国際関係	ASEAN 諸国の全体像と日 ASEAN 関係	神奈川大学教授 大庭三枝
★4	いのちの科学	広がる生命科学の世界	聖マリアンナ医科大学感染症学 講座教授 國島広之ほか
★WS-2	科学	ヒトという奇妙な動物	東京工業大学名誉教授 星 元紀 洗足学園音楽大学現代邦楽研究所 所長 森重行敏ほか
5	日本の伝統芸能	伝統芸能復活への道を探る	千葉大学教授 小林正弥
★6	現代事情	現代社会の格差と分断は民主主義政治を減らすか？	東京大学准教授 守川知子ほか
★7	エクセレントⅢ	聖地巡礼	理科ハウス館長 森裕美子ほか
★8	新しい科学の世界	新しい科学の世界	神奈川県立生命の星・地球博物館 名誉館員 笠間友博ほか
★9	自然Ⅱ(川崎学)	つばさに観る自然の姿	明治学院大学教授 武川正吾ほか
WS-3	社会福祉	地域福祉・地域共生社会とは何か——社会福祉の現場を学ぶ	京都造形芸術大学講師 佐々木 創ほか
★10	日本史	南北朝・室町期の戦乱を「対立」の視点から考える	東京大学人文社会系研究科研究員 谷口雄太
★WS-4	日本史	『太平記』を読みなおす	樹木医 石井誠治ほか
11	みどり学Ⅰ	みどり学Ⅰ—身近な自然に興味を持ち親しみを深める	樹木医 石井誠治ほか
12	みどり学(フレッシュ)	みどり学 (フレッシュ)	東京大学名誉教授 小森陽一
13	文学	宮澤賢治の代表作を読みなおす	元早稲田大学講師 伊藤 博
WS-5	文学	無頼派の文学を読む	久留米工業大学講師 稲益祐太ほか
★14	建築と都市	西洋建築の歴史	東京大学名誉教授 若林正丈ほか
★15	エクセレントⅠ	世界を旅する④台湾・ツアー	産業考古学会理事・元会長 伊東 孝 元川崎市教員、郷土史家 小島康宏 ほか
★16	学び・歩くかわさき(川崎学)	かわさきの歴史や文化を多角的に学び、歩いて再発見してみよう⑩	日本地名研究所研究員 菊地恒雄ほか
WS-6	まち歩き(川崎学)	街角の文化遺産に学ぶ—地名は大地に刻まれた歴史の索引	東京大学教授 宇野重規ほか
★17	政治・社会	近代日本の民衆運動・市民運動	東京大学教授 宇野重規
★WS-7	政治・社会	民主主義の歴史と新型コロナ	成城大学民俗学研究所 研究員 小沢 詠美子 ほか
18	交流館協力<歴史>	江戸・明治の園芸文化—本草学・庭園・植木屋・盆栽を愛する人びと	東京交響楽団メンバーほか
19	音楽Ⅲ	東京交響楽団の案内による音楽の楽しみ Part29	NHK 文化センター講師 佐藤道子
WS-8	芸術	水彩画を描く—技法を基本から学ぶ	東京大学名誉教授 太田猛彦ほか
★20	環境とみどり	SDGs 時代の環境・みどり・防災	東京大学名誉教授 太田猛彦ほか
★WS-9	環境とみどり	身近なことから持続可能な社会と環境を学ぶ	東京大学名誉教授 竹内整一ほか
★21	人間学	人間学再論—生老病死の思想	東京大学名誉教授 竹内整一
★WS-10	人間学	三島由紀夫『近代能楽集』を読む	日本モーツァルト研究所所長 海老澤 敏ほか
22	音楽Ⅰ	モーツァルト家三代の人物像と音楽を語る	元慶應義塾大学教授 平野 昭
23	音楽Ⅱ	難聴を克服したベートーヴェンの英雄様式期	歌舞伎研究家 大倉直人ほか
WS-11	音楽・芸能	近松半二の世界	東京大学名誉教授 小松久男ほか
★24	世界史	中央ユーラシアの歴史 (第2部)	樹木医 石井誠治ほか
★25	みどり学Ⅱ	みどり学Ⅱ—木や草が生活とつながる面白さを極める	東京学芸大学名誉教授 小泉武栄
26	山の自然学	山の自然学	元武蔵野美術大学教授 篠塚 千恵子
★27	美術Ⅱ	ギリシア美術の魅惑の扉を開く	多摩美術大学教授 諸川春樹
WS-12	美術Ⅰ・Ⅱ	受講生参加型ゼミナール「美術史を読む」	立命館大学歴史都市防災研究所 客員研究員 北原糸子ほか
★28	エクセレントⅡ	天災大国日本—その歴史と教訓	京都大学名誉教授 間宮陽介ほか
★29	経済	社会的共通資本の考え方	横浜市立大学名誉教授 金子文夫
WS-13	経済	平成の経済—同時代の30年史と次代への教訓	元NHKプロデューサー 林 勝彦ほか
30	映像・メディア	懐かしの名作を語る—この人に会いたい、日本の未来を語る	戦国史研究会会員 中西 望介ほか
31	歴史(川崎学)	川崎に生きた人々Ⅱ—災害や病魔と闘ってきた人々	慶應義塾大学教授 岡山 裕
★101	短期集中	アメリカ大統領選挙 2020 をふりかえる	東京藝術大学教授 毛利嘉孝
★102	短期集中	バンクシーとは誰か？—作品とストリート・アートの思想	昭和音楽大学教授 小畑恒夫ほか
301	連携(昭和音大)	パッチーニの世界—ラ・ボエームとトゥーランドットの魅力	アジア航測(株) 先端技術研究所千葉研究室 室長 千葉達朗
※302	連携(アジア航測)	生活に活かされる地図のあれこれ、これまでとこれから	

★：オンライン併用の講座・WS ※：オンラインのみの講座 無印：会場でのみの講座・WS

2021年度後期開設講座・ワークショップ(WS)一覧		2021年9月～2022年3月	
No.	講座・WS名	テーマ	講師名(敬称略)
★1	現代事情	コロナ禍があぶりだした現代日本の諸問題	明治学院大学教授 武川 正吾ほか
★2	自然 I(川崎学)	大地の声を聴く 江戸・川崎・神奈川・東京・・・人と自然編	多摩川流域自然史研究会代表 増淵和夫ほか
★3	国際関係	ソ連のペレストロイカと冷戦終焉	東京大学名誉教授 塩川 伸明
WS-1	国際関係	歴史の中のロシア革命とソ連	東京大学名誉教授 塩川 伸明
★4	いのちの科学	つながるいのち—人間とは(続)	東京大学名誉教授、元岐阜大学学長 黒木 登志夫ほか
★WS-2	科学	三種類の生命の鎖—タンパク質・核酸・糖鎖	東京工業大学名誉教授 星 元紀
5	日本の伝統芸能	日本音楽の再生を目指して～現代の邦楽を考える	洗足学園音楽大学現代邦楽研究所長 森重行敏ほか
6	美術 I	私説・日本美術史	東京学芸大学名誉教授 鈴木廣之
★7	エクセレントⅢ	イスラームをもっと知ろう①イスラームとは何か	公益財団法人東洋文庫研究員 太田啓子ほか
★8	新しい科学の世界 I	地球と宇宙を科学する	東京大学名誉教授 太田 猛彦ほか
★9	自然 II(川崎学)	つばさに観る自然の姿	神奈川県立生命の星・地球博物館 名誉館員 笠間 友博ほか
★10	日本史	現代から考える日本の中世	京都芸術大学講師 佐々木 創ほか
★WS-3	日本史	続・『太平記』を読みなおす	東京大学人文社会系研究科研究員 谷口雄太
★11	みどり学 I	みどり学 I—身近な自然に興味を持ち親しみを深める	樹木医 石井誠治ほか
12	みどり学(フレッシュ)	みどり学(フレッシュ)	樹木医 石井誠治ほか
13	文学	感染症の時代と近代小説	東京大学名誉教授 小森陽一
WS-4	文学	現代文学を読む	早稲田大学・津田塾大学ほか講師 堀井一摩
★14	建築と都市	江戸城と大名屋敷	日本工業大学名誉教授 波多野 純ほか
★15	エクセレント I	世界を旅する⑥バルト三国(エストニア、ラトヴィア、リトアニア)・ツアー	早稲田大学教授 小森宏美ほか
★16	学び・歩かかわさき(川崎学)	かわさきの歴史や文化を多角的に学び、歩いて再発見してみよう⑩	産業遺産情報センター研究主幹 伊東 孝 ほか
WS-5	まち歩き(川崎学)	街角の文化遺産に学ぶ—糸を紡ぐ・養蚕業	日本地名研究所研究員 菊地恒雄ほか
★17	政治・社会	官邸主導を問い直す	東京大学教授 宇野重規ほか
★WS-6	政治・社会	フランス・フクヤマ『政治の起源』を読む	関西大学客員教授 会田弘継
18	交流館協力(歴史)	川崎沿海域、近代産業の発展と産業文化遺産	成城大学名誉教授 田中宣一ほか
19	音楽Ⅲ	東京交響楽団の案内による音楽の楽しみ Part30	東京交響楽団メンバーほか
WS-7	芸術	油絵を描く—技法を基本から学ぶ	NHK文化センター講師 佐藤道子
★20	環境とみどり	SDGs時代の環境・みどり・防災	東京大学名誉教授 太田猛彦ほか
★WS-8	環境とみどり	身近なことから持続可能な社会と環境を学ぶ	東京大学名誉教授 太田猛彦ほか
★21	人間学	人間学再論—生・老・病・死の哲学	東京大学名誉教授 竹内整一ほか
★WS-9	人間学	三木清『人生論ノート』を読む	日本女子大学名誉教授 田中久文
22	音楽 I	ベートーヴェン 金字塔としての晩年様式—ウィーン体制を生きる	元慶應義塾大学教授、音楽評論家 平野 昭
23	音楽 II	音楽の伝統と刷新—中欧と楽器をめぐって	国立音楽大学教授 横井雅子
WS-10	音楽・芸能	歌舞伎 WS 昭和の思い出の名優(3) 7代目尾上梅幸	歌舞伎研究家 大倉 直人ほか
★24	世界史	古代オリエント文明史研究の最前線	上智大学特任教授 月本昭男ほか
★25	みどり学 II	みどり学 II—木や草が生活とつながる面白さを極める	樹木医 石井誠治ほか
26	山の自然学	山の自然学	東京学芸大学名誉教授 小泉武栄
★27	美術 II	じっくり学ぶ西洋の美術と文化の歴史—中世から近世の始まりまで	東京造形大学教授 池上英洋
WS-11	美術 I・II	受講生参加型ゼミナール「美術作品を語る」	多摩美術大学教授 諸川春樹
★28	エクセレント II	SDGs を実現した江戸時代の社会と科学技術	国立科学博物館 産業技術史資料情報センター長 鈴木一義
★29	経済	世界経済を読み解く視座	上智大学名誉教授 平井 俊顕
WS-12	経済	資本主義はどこへ行くのか	横浜市立大学名誉教授 金子 文夫
30	映像・メディア	懐かしの名作・受賞作品を語る、この人に会いたい、日本の未来を語る	科学ジャーナリスト、元東京大学客員教授 林 勝彦ほか
★31	新しい科学の世界 II	「今」が分かる科学と技術	東京大学名誉教授 太田猛彦ほか
32	歴史(川崎学)	川崎学歴史 モノの生産から見る川崎の歴史(その1)	戦国史研究会会員 中西望介ほか
★101	短期集中	小田急と昭和史	放送大学教授 原 武史
301	連携(昭和音大)	喜劇オペラの楽しみ	昭和音楽大学客員教授 小畑恒夫ほか
302	連携(アジア航測)	被災に備える:「目黒巻」と「マイ・タイムライン」を作ろう(ワークショップ)	東京大学生産技術研究所教授 目黒公郎ほか

★: オンライン併用の講座・WS ※: オンラインのみの講座 無印: 会場でのみの講座・WS

前期

講座	仏師快慶とその時代		講師名(敬称略)	
1	【定員】150名	【受講料】2年会員 11,440円 1年会員 12,870円 聴講生 17,160円	多摩美術大学教授 青木 淳	
	美術 I	【時間】下記「月/日(曜)」欄をご覧ください。		
概要	運慶と共に鎌倉時代に活躍した仏師快慶と彼が生きた時代についてお話しさせていただきたいと思います。快慶は焼討ち後の奈良や関東で活躍した天才仏師運慶とともに活動したもうひとりの仏師です。しかし世間ではその名前ほど快慶のことは知られていません。NHKスペシャル「運慶と快慶—新発見! 幻の傑作—」で語り尽くせなかった快慶の魅力に迫ります。			
回	月/日(曜)	会場		学習内容
1	6/29(火)	新百合21ビルB2 多目的ホール		はじめに
2	10:00~12:30			快慶と『平家物語』の時代—NHKスペシャル「運慶と快慶」—新発見! 幻の傑作から
3	7/13(火)			南都焼討ちと東大寺大勧進重源
4				中世の興福寺と快慶(1189年・ボストン美術館弥勒菩薩像をめぐって) (11:00~12:30) お茶の水女子大学名誉教授 安田次郎氏との対談
5	7/20(火)			快慶と鎮魂・勧進—1194年・遣迎院阿彌陀如来像の結縁交名と平家一門の鎮魂—
6	10:00~12:30			快慶をめぐる人々1—1201年・東大寺僧形八幡神像の結縁交名
7	7/27(火)			快慶をめぐる人々2—法然の周辺—
8	8/3(火)			快慶の遺産 1221年・承久の乱からその死まで (高野山所蔵板彫胎蔵界曼荼羅の結縁交名) *弟子行快・栄快・長快たち
9	8/3(火)		快慶をめぐる人々3—2つの結縁経: 西光寺地藏菩薩像と大阪・一心寺の「一行一筆結縁経(般若心経・阿彌陀経)」	
10	8/10(火)		快慶をめぐる人々4—快慶と後白河院のサロン・藤原信西・勝賢・澄憲・明遍—	
11	10:00~12:30		快慶と後鳥羽院のサロン—(11:00~12:30) 中央大学文学部教授 吉野朋美氏との対談 *後鳥羽院・慈円・貞慶・明恵	
12	8/31(火)		10:00~12:30	おわりに 中世人・快慶に向き合うための新たなパラダイム—

受講登録者数 86名 (男性 40名 女性 46名) 出席者総数 904名

後期

講座	私説・日本美術史		講師名(敬称略)	
6	【定員】150名	【受講料】2年会員 11,440円 1年会員 12,870円 聴講生 17,160円	東京学芸大学名誉教授 鈴木廣之	
	美術 I	【時間】毎回 10時30分~12時00分 (計12回)		
概要	日本美術史を知るための基本を学ぶ。本講はガイダンス、第1部「美術」の誕生4回、第2部西洋と東洋のアートのちがいを6回、まとめて構成される。とくに「美術」という言葉が明治につられたことに注意を向けたい。			
回	月/日(曜)	会場		学習内容
1	10/5(火)	新百合21ビルB2 多目的ホール		1. ガイダンス: 古い時代の仏像や絵画の見方 ※乾漆造「阿修羅像」興福寺; 宗達「風神雷神図屏風」建仁寺
2	10/19(火)			2. 第1部: 「美術」の誕生
3	11/2(火)			3. 美術館のはじまり ※福沢諭吉『西洋事情』1866~70
4	11/16(火)			4. 欧米人による日本美術の評価 ※ペリ『日本遠征記』1856
5	11/30(火)			5. 仏像が「美術」になるまで ※銅造「阿彌陀如来坐像」鎌倉・高徳院(鎌倉大仏); 運慶「無著・世親像」興福寺
6	12/7(火)			6. 第2部: 西洋と東洋のアートのちがい
7	12/14(火)			7. 江戸時代にも美術館はあった? ※「曹源寺さざえ堂」群馬県太田市
8	1/18(火)			8. 水墨画の登場: なぜ中国絵画は色彩を捨てたのか? ※長谷川等伯「松林図屏風」東京国立博物館
9	1/25(火)		9. 東洋陶磁の評価: なぜ漆器と伊万里焼は西洋で収集されたのか? ※「伊賀耳付水指」銘「破袋」五島美術館	
10	2/8(火)		10. 絵画の役割: どんなものに絵が描かれたのか? ※狩野永徳「洛中洛外図屏風」米沢市上杉博物館	
11	2/22(火)		11. 版画の領分: 浮世絵は「美術」か? ※葛飾北斎「富嶽三十六景神奈川沖浪裏」	
12	3/1(火)		12. まとめ: どのようにして日本美術史はつられたか?	

受講登録者数 96名 (男性 47名 女性 49名) 出席者総数 981名

前期

講座 2	大地の声を聴く 江戸・川崎・神奈川・東京・・・起源・ルーツと発展、継承編			オンライン併用
	【定員】50名(うち会場定員35名、オンライン定員15名) 【受講料】2年会員12,240円 1年会員13,670円 聴講生17,960円 (野外学習安全費用800円を含みます。) 自然 I (川崎学) 【時間】座学は10時30分～12時00分、野外学習は10時00分～12時00分、 5/10は午前・午後各2時間程度、5/17は8時00分～18時00分予定(計12回)			
概要	神奈川を中心に地形学散歩をし、大地の語る声や、自然の声に耳を傾ける。前期講座は様々な起源・ルーツとその発展を聴く			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/12(月)	武蔵一宮 氷川神社参道(ケヤキ並木)、大宮公園(桜)、盆栽美術館、見沼グリーンセンター、芝川土手	江戸から現代へ引き継がれる花見と日本人の愛着 中山道大宮宿・氷川神社から見沼田んぼへ花の探索	多摩川流域自然史研究会 支倉 千賀子
2	4/19(月)	川崎市生涯学習プラザ	均衡が支配する地球。氷河性ハイドロアイスとは	多摩川流域自然史研究会代表 増淵和夫
3	4/26(月)	YRP 野比駅周辺の段丘と野比海岸の葉山層群	海成段丘は地震の化石だ。海成段丘が語る過去の巨大地震	多摩川流域自然史研究会 勝越清紀 多摩川流域自然史研究会代表 増淵和夫
4,5	5/10(月)	観音崎	黒潮の分流に洗われる観音崎の自然と東京湾海底谷。前弧海盆とは	多摩川流域自然史研究会 勝越清紀 多摩川流域自然史研究会代表 増淵和夫
6	5/24(月)	川崎市生涯学習プラザ	多摩丘陵を源流とする河川と鶴見川流域の下末吉面について	帝京平成大学准教授 理学博士 小森次郎
7	5/31(月)	平瀬川、五反田川、黒須田川の源流を訪ねる	市内小川川の源流を訪ねる	神奈川県立生命の星・地球博物館 名誉館員 笠間友博
8	6/14(月)	川崎市生涯学習プラザ	箱根火山の起源と形成	多摩川流域自然史研究会代表 増淵和夫
9	6/21(月)		東京湾の起源 誕生(ルーツ)と歴史(発展、発達)	多摩川流域自然史研究会代表 増淵和夫
10	6/28(月)		関東平野の起源と形成	多摩川流域自然史研究会代表 増淵和夫
11, 12	9/20(月)	石切山脈、茨城県笠間市福田ほか	中止	

※4/5(月)10時30分より約一時間のオリエンテーション(野外学習についての連絡等)を実施。
オンライン受講生を含めた受講登録者数 50名(男性 30名 女性 20名) 出席者総数 424名

後期

講座 2	大地の声を聴く 江戸・川崎・神奈川・東京・・・人と自然編			オンライン併用
	【定員】50名(うち会場定員35名) 【受講料】2年会員12,240円 1年会員13,670円 聴講生17,960円 (野外学習安全費用800円を含みます。) 自然 I (川崎学) 【時間】座学は10時30分～12時00分、野外学習は10時00分～12時00分、10/25、11/8は 午前・午後各2時間程度(計12回)			
概要	悔るなかり地形学散歩。人は大地の声を聴き、何を学び、知恵としてきたのか。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/11(月)	川崎市生涯 学習プラザ	荒ぶる自然の声を聴く 災害についての知識や伝承、あるいはそれに対応する方法や技術的産物の文化のものを災害文化という	多摩川流域自然史研究会 代表 増淵和夫
2	10/18(月)		登戸周辺でみる多摩川と人の歴史 キーワード: 砂利運搬引込線等鉄道、富士塚や「嶋」地名と微高地。1974水害-2019台風19号と現行ハザードマップ、樋管位置と旧河道地形。	帝京平成大学准教授 理学博士 小森次郎
3,4	10/25(月)	河岸段丘のまち上野原と桂川(相模川上流山地)	比高差100mをこえる河岸段丘。上野原宿。水乏の地を救った上野原用水。鉄道忌避。桂川礫岩層、桂川は丹沢の衝突境界(藤野木一愛川構造線)	多摩川流域自然史研究会 代表 増淵和夫
5	11/1(月)	登戸周辺	登戸周辺でみる多摩川と人の歴史	帝京平成大学准教授 理学博士 小森次郎
6,7	11/8(月)	難攻不落の城を支えた小田原城総構を歩く	箱根火山山麓の地形を生かした城とまち 難攻不落の城は東京軽石流台地に建つ	多摩川流域自然史研究会 代表 増淵和夫
8	11/15(月)	川崎市生涯 学習プラザ	まさに大地の声を聴く 露頭から地層を読みとる	神奈川県立生命の星・地球博物館 名誉館員 笠間友博
9	11/22(月)	鎌倉	鎌倉を襲った津波と中世鎌倉の土地利用	多摩川流域自然史研究会 代表 増淵和夫
10	12/6(月)	見沼田んぼ	見沼は縄文の海だった。溜井と利根川から引いた見沼代用水とともに形成された自然は、首都圏近郊の広大な緑地空間に(東浦和駅→通船堀公園→氷川女体神社→八丁堤跡→芝川土手→芝川第一調整池東側→川口自然公園→東川口駅)	多摩川流域自然史研究会 支倉 千賀子
11	12/13(月)	川崎市生涯 学習プラザ	相模湾の海岸環境と人(相模川・相模湾の舟運、近現代の海岸利用)	多摩川流域自然史研究会 勝越清紀
12	1/17(月)		地下水が育んだもの 古都に眠る千年の地下水と首都圏の地下水 数々の苦い経験から地下水盆を守るには	多摩川流域自然史研究会 代表 増淵和夫

※10/11(月)10時00分より30分ほどオリエンテーション(野外学習についての連絡等)を実施。
受講登録者数 50名(男性 31名 女性 19名) 出席者総数 528名

前期

講座 3	アジア地域秩序の変容の中の ASEAN 諸国—日本は彼らとどう向き合うべきか			オンライン併用
	【定員】35名 【受講料】2年会員11,440円 1年会員12,870円 聴講生17,160円 国際関係 【時間】毎回13時00分～14時30分(計12回)			
概要	近年は世界の成長センターとして注目されてきた ASEAN 諸国。米中対立激化や新型コロナ危機などで地域秩序が不安定化する中、彼らは新たな挑戦に直面しています。本講座は ASEAN 諸国を様々な角度から考察しつつ、日 ASEAN 関係について考えます。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/19(月)	川崎市 生涯学習 プラザ	イントロダクション: ASEAN を巡る三つのパラドックス	神奈川大学教授 大庭三枝
2	4/26(月)		民族自決と冷戦対立の中の ASEAN 設立と展開	
3	5/17(月)		ポスト冷戦期の ASEAN の発展	
4	5/24(月)		域外国際競争の激化と「ASEAN の中心性」	
5	5/31(月)		国際秩序の動揺期と ASEAN 諸国のジレンマ	
6	6/7(月)		「ASEAN 共同体」の掲げるビジョンと現実	
7	6/14(月)		南シナ海問題の先鋭化と ASEAN 諸国	
8	6/21(月)		広域経済圏形成の動きの中の ASEAN 諸国	
9	6/28(月)		ASEAN 独自の「インド太平洋」構想	
10	7/5(月)		ASEAN 諸国が抱える民主化と人権問題	
11	7/26(月)		新型コロナ危機における ASEAN 諸国の苦悩と地域協力	
12	8/23(月)		さいごに: 日 ASEAN 関係: 過去・現在・展望	

オンライン受講生を含めた受講登録者数 75名(男性 63名 女性 12名) 出席者総数 788名

後期

講座 3	ソ連のペレストロイカと冷戦終焉			オンライン併用
	【会場定員】35名 【オンライン定員】100名 【受講料】2年会員11,440円 1年会員12,870円 聴講生17,160円 国際関係 【時間】毎回13時00分～14時30分(計12回)			
概要	1985-91年のソ連は巨大な変化を経験した。その変化があまりにもめまぐるしいため、何がどのようにして起きたのかをきちんと跡づけるのは容易ではない。この講義では、その過程をいくつかのステップに分けて追跡し、また国内の変化と対外関係(冷戦終焉)の関係についても考える。この作業はソ連なきあとと現代世界について考える上でもヒントを投げかけるだろう。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/4(月)	川崎市 生涯学習 プラザ	導入: ペレストロイカの謎	東京大学名誉教授 塩川伸明
2	10/11(月)		旧体制の骨格	
3	10/18(月)		体制内改革の開始	
4	10/25(月)		ペレストロイカの始まり	
5	11/1(月)		急進化の第1段階	
6	11/8(月)		冷戦終焉を目指す動き	
7	11/15(月)		急進化の第2段階	
8	11/22(月)		東欧激動とベルリンの壁開放	
9	11/29(月)		ペレストロイカの転機	
10	12/6(月)		ドイツ統一	
11	12/13(月)		政治対立の絶頂	
12	1/17(月)		1991年8月政変からソ連解体まで	

参考文献: 塩川伸明『冷戦終焉 20年—何が、どのようにして終わったのか』(勁草書房、2010年) 税込み3,080円。
受講登録者数 37名(男性 28名 女性 9名) 出席者総数 374名

前期

WS 1	ASEAN 諸国の全体像と日 ASEAN 関係			
	【定員】30名		【受講料】2年・1年会員ともに17,160円 聴講生18,590円	
	【ワークショップ】国際関係		【時間】毎回15時00分～17時00分(計12回)	
概要	本講座は、東南アジア10カ国で構成されるASEAN諸国の対立と協力の軌跡とともに、米中対立、中進国の躍進、民主化の逆行、少子高齢化、新型コロナ危機など、様々な課題に直面している彼らの実像を学びます。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/19(月)	川崎市生涯学習プラザ	イントロダクション：広域地域秩序の中のASEAN諸国と日本のシレンマ	神奈川大学教授 大庭三枝
2	4/26(月)		長期趨勢を読み解く(1)新興国の台頭がもたらす変化	
3	5/17(月)		長期趨勢を読み解く(2)グローバル化によるアジアの変容	
4	5/24(月)		地政学的枠組みを考える(1)アメリカのアジア関与	
5	5/31(月)		地政学的枠組みを考える(2)中国の台頭	
6	6/7(月)		地政学的枠組みを考える(3)南シナ海問題	
7	6/14(月)		地政学的枠組みを考える(4)一帯一路	
8	6/21(月)		地政学的枠組みを考える(5)「インド太平洋」の登場	
9	6/28(月)		東南アジアの戦略的動向(1)多様性・格差・中小国連合	
10	7/5(月)		東南アジアの戦略的動向(2)大陸東南アジア	
11	7/26(月)		東南アジアの戦略的動向(3)海洋東南アジア	
12	8/23(月)		国際秩序変容の中での日本の将来像	

輪読用文献として白石隆『セミナー・知を究める1：海洋アジア vs. 大陸アジア：日本の国家戦略を考える』ミネルヴァ書房、2016年、2,400円+税。
受講登録者数14名(男性11名 女性3名) 出席者総数142名

後期

WS 1	歴史の中のロシア革命とソ連			
	【定員】30名		【受講料】2年・1年会員ともに17,160円 聴講生18,590円	
	【ワークショップ】国際関係		【時間】毎回15時00分～17時00分(計12回)	
概要	100年前のロシア革命で生まれ、30年前に消滅したソ連という国の特異な歴史について、その末期に力点を置いて考える。ペレストロイカとはどういうものだったか、それがソ連国家解体に行き着いたのはどうしてか、そのことと冷戦終焉はどういう関係にあるのかなどを取り上げる。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/4(月)	川崎市生涯学習プラザ	導入およびフリーディスカッション	東京大学名誉教授 塩川伸明
2	10/11(月)		ソ連という国への見方。配布コピーによる	
3	10/18(月)		同上(その2)	
4	10/25(月)		ロシア革命とソ連解体。主テキストの第1章	
5	11/1(月)		現代におけるロシア革命と社会主義。テキスト第2章	
6	11/8(月)		ソ連時代後期の位置づけ。テキスト第9章など	
7	11/15(月)		後期社会主義という時代。テキスト第3章	
8	11/22(月)		ペレストロイカの概観。テキスト第4章	
9	11/29(月)		ペレストロイカはどのように論じられてきたか。テキスト第5章	
10	12/6(月)		冷戦の終焉過程。テキスト第6章	
11	12/13(月)		同上(その2)	
12	1/17(月)		同上(その3)	

輪読用資料：『歴史の中のロシア革命とソ連』（著者 塩川伸明、有志舎、2020年）税込み3,080円。
受講登録者数14名(男性12名 女性2名) 出席者総数146名

前期

講座 4	つながるいのち — 人間				オンライン併用
	【定員】35名		【受講料】2年会員11,440円 1年会員12,870円 聴講生17,160円		
	いのちの科学		【時間】毎回13時00分～14時30分(計12回)		
概要	コロナ禍が続く世界。私たちは地球の進化とともに誕生した多様な生きものたちとともに生きています。ヒトとは何か。講座ではヒト自身のことを深く知って、偏見・差別の見方から解かれ、共存・共生への道を見つける「いのちの科学」を学びます。				
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)	
1	4/12(月)	川崎市生涯学習プラザ	開講に当たって / つながるいのち	コーディネーター(科学ジャーナリスト) 佐藤年緒	
2	4/19(月)		新型コロナウイルス感染と「One World, One Health」 **オンライン講義	聖マリアンナ医科大学感染症学 講座 教授 國島広之	
3	4/26(月)		チバニアンと地磁気逆転	茨城大学教授(古地気学) 岡田 誠	
4	5/17(月)		地質時代区分と生物の絶滅と進化 **オンライン講義	東京大学名誉教授 浜野洋三	
5	5/24(月)		花はなぜ多様なのか ~ 植物という生き方 ~	植物生態学者 多田 多恵子	
6	5/31(月)		動物園で知る「人と動物」	写真家 さとう あきら	
7	6/7(月)		サルからヒトへ	国立科学博物館 人類学研究部研究員 森田 航	
8	6/14(月)		旧石器時代の日本人	国立科学博物館 人類学研究部研究主幹 藤田祐樹	
9	6/21(月)		DNA から見た日本人の成立	国立科学博物館 館長、人類学研究部部長 篠田謙一	
10	6/28(月)		人骨形態から見た日本人の変遷	国立科学博物館 人類学研究部研究グループ長 坂上和弘	
11	7/5(月)		「人種」と「人種主義」～ 人類学の視点から ~	京都大学人文科学研究所教授(文化人類学) 竹沢泰子	
12	7/12(月)		言語と脳から考える人間の創造性	東京大学大学院総合文化研究科教授 酒井邦嘉	

**オンライン講義：講師が会場以外の場所から講義下さること
オンライン受講生を含めた受講登録者数67名(男性48名 女性19名) 出席者総数723名

後期

講座 4	つながるいのち—人間とは(続)				オンライン併用
	【会場定員】35名 【オンライン定員】100名		【受講料】2年会員11,440円 1年会員12,870円 聴講生17,160円		
	いのちの科学		【時間】毎回13時00分～14時30分(計12回)		
概要	地球の誕生から進化した多様な生きものたちと歩んできた人。自然災害やパンデミックからも逃れられない私たち。生きものとの関係や人類の歴史を見つめ直し、これからの歩みを考える。前期に続き、「つながるいのち—人間とは」を多面的に学びます。				
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)	
1	10/4(月)	川崎市生涯学習プラザ	新型コロナの科学(1) コロナウイルス感染と感染症	東京大学名誉教授、元岐阜大学学長 黒木 登志夫	
2	10/11(月)		新型コロナの科学(2) 変異ウイルスとワクチン	国立科学博物館顧問 林 良博	
3	10/18(月)		災害時の人と動物の関係	長崎大学熱帯医学研究所教授 山本太郎	
4	10/25(月)		感染症と世界史：歴史から学ぶ **オンライン講義	東京工業大学名誉教授 本川達雄	
5	11/1(月)		コロナの時間、生命の時間	同志社大学生命医科学部特別客員教授 渡辺政隆	
6	11/8(月)		生物はなぜかくも多様なのか - ダーウィンの教え **オンライン講義	帝京大学特任教授、東京大学名誉教授 浅島 誠	
7	11/15(月)		発生物学とナチュラリ・ヒストリーから見たヒト	植物生態学者 多田 多恵子	
8	11/22(月)		植物のタネの戦略	元東京農業大学教授、元読売新聞科学部長 北村行孝	
9	11/29(月)		なぜ今 縄文時代なのか — 1万3000年の持続文化から現代文明を考える	信濃毎日新聞 特別編集委員 飯島裕一	
10	12/6(月)		脳の科学・認知症を語る — 医療取材と母の介護から	東京大学総合研究博物館教授 海部陽介	
11	12/13(月)		700万年の人類史から知る「人間らしさ」	科学ジャーナリスト、コーディネーター 佐藤年緒	
12	1/17(月)		講座の振り返り(受講生を交えて)		

**オンライン講義：講師が会場以外の場所から講義下さること
受講登録者数79名(男性59名 女性20名) 出席者総数837名

前期

WS 2	ヒトという奇妙な動物			オンライン併用
	【定員】35名		【受講料】2年・1年会員ともに17,160円 聴講生18,590円	
	【ワークショップ】科学		【時間】毎回15時00分～17時00分	
概要	生命は約40億年前にこの地球上に出現して以来、あらゆる天変地異を乗り越えて連続と続いている。われわれヒト(Homo sapiens)という動物は、20万年ほど前に誕生した生命世界の新参者であるが、今や膨大なエネルギーを消費しつつ大繁栄を謳歌している。本WSでは、まず生命というシステムの成り立ちと生物世界を概観したうえで、ヒトの来し方と現状、ヒトが直面している問題等について考えてみよう。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/12(月)	川崎市生涯学習プラザ	生命というシステムの成り立ち	東京工業大学名誉教授 星元紀
2	4/19(月)		生命活動を支える物質、エネルギーおよび情報	
3	4/26(月)		多様な生物の世界	
4	5/10(月)		生物の世界の成り立ち	
5	5/17(月)		地球の歴史と生命の誕生	
6	5/24(月)		真核生物というシステム	
7	5/31(月)		多細胞生物というシステム	
8	6/7(月)		ヒトは何処から来たか	
9	6/14(月)		第4の生物ヒト	
10	6/28(月)		大繁栄を謳歌するヒト	
11	7/12(月)		ヒトが直面する問題	
12	7/26(月)		ヒトは何処へ行くのか	

オンライン受講生を含めた受講登録者数 27名 (男性 19名 女性 8名) 出席者総数 298名

後期

WS 2	三種類の生命の鎖—タンパク質・核酸・糖鎖			オンライン併用
	【定員】40名(うち会場定員35名)		【受講料】2年・1年会員ともに17,160円 聴講生18,590円	
	【ワークショップ】科学		【時間】毎回15時00分～17時00分	
概要	生物を構成する分子の中で、高分子は質量ともに重要な位置を占めており、生命の鎖とも呼ばれている。第一の生命の鎖「タンパク質」と第二の生命の鎖「核酸」(DNAおよびRNA)は、ともに遺伝子の直接的または間接的なコピーとして合成される枝分かれのない長い鎖で、それぞれに鎖の骨格は同じ構造からできている。第三の生命の鎖「糖鎖」は、遺伝子の支配を受けているが、遺伝子のコピーとして合成されるわけではなく、枝分かれするものもあるうえ、その骨格も多様である。感染をはじめとする細胞社会学における重要性にもかかわらず、比較的無視されがちな糖鎖に力点を置きながら、生命の鎖のそれぞれについて、その構造と機能を考察する。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/4(月)	川崎市生涯学習プラザ	細胞を中心にして、生体の構造と機能を概観する。	東京工業大学名誉教授 星元紀
2	10/11(月)		生体分子の構造と機能を概観する。	
3	10/18(月)		タンパク質1. 第一の生命の鎖、タンパク質の構造を概観する。	
4	10/25(月)		タンパク質2. タンパク質の生合成とその制御、ならびにその機能を概観する。	
5	11/1(月)		タンパク質3. タンパク質の機能(続き)。機能素子としてのタンパク質を考察する。	
6	11/8(月)		核酸1. 第二の生命の鎖、核酸の種類とそれぞれの構造を概観する。	
7	11/15(月)		核酸2. 核酸の生合成とその制御について概観する。	
8	11/22(月)		核酸3. DNAが遺伝子の化学的本体であると決まるまでの道を振り返る。	
9	11/29(月)		糖鎖1. 第三の生命の鎖、糖鎖の構成要素について概観するとともに、貯蔵物質ならびに生体構造の形成体としての糖鎖を考える。	
10	12/6(月)		糖鎖2. 糖タンパク質の世界を概観する。	
11	12/13(月)		糖鎖3. プロテオグリカンの世界を概観する。	
12	1/17(月)		糖鎖4. 糖脂質の世界を概観する。	

受講登録者数 23名 (男性 17名 女性 6名) 出席者総数 123名

前期

講座 5	伝統芸能復活への道を探る			
	【定員】60名		【受講料】2年会員13,640円 1年会員15,070円 聴講生19,360円	
	日本の伝統芸能		【時間】毎回14時00分～15時30分 (計12回)	
概要	コロナ以後の伝統芸能は復活するのか。この問題を考えるためにも、私たちは伝統とは何かを改めて見据える必要があります。伝統芸能や日本音楽について、新しい観点から見つめ直します。三味線グループ、白拍子歌謡、地唄舞のゲスト演奏者も迎えて、実践と理論的背景の両面から伝統芸能を探ります。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/5(月)	大山街道ふるさと館 イベントホール	今、伝統芸能を考える～伝統と改革の間をめぐって	洗足学園音楽大学 現代邦楽研究所 所長 森重行敏
2	4/12(月)	産業振興会館 ホール	三味線音楽の楽しみ 【ゲスト】「ねのいろ」山本ゆきの ほか、女性奏者グループ *1	
3	5/3(月祝)	大山街道ふるさと館 イベントホール	古代芸能の宇宙～陰陽五行の思想を知る	
4	6/7(月)		中世芸能の時代背景～武家文化と「わび、さび」の発見	
5	6/21(月)		近世芸能のダイナミクス～庶民文化のエネルギー	
6	6/28(月)	産業振興会館 ホール	地唄舞の世界 【ゲスト】花崎しの(舞)、富志乃清愁(地唄) *2	
7	7/5(月)	大山街道ふるさと館 イベントホール	近代日本と芸能の関わり～伊沢修二の残したもの	
8	7/12(月)		声明と白拍子を知る 【ゲスト】桜井真樹子(声明、白拍子歌謡研究)	
9	8/2(月)		現代における伝統芸能～コロナ以後の芸能を考える	
10	8/30(月)		アジアの中の日本～外側から見た日本の芸能と音楽	
11	9/6(月)		日本音楽と西洋音楽～日本音楽は五線譜に書けるのか	
12	9/13(月)		伝統芸能の問題点を総括する	

*1と*2の回は公開演奏会。参加費(1人)1,000円。

受講登録者数 37名 (男性 14名 女性 23名) 出席者総数 336名

後期

講座 5	日本音楽の再生を目指して～現代の邦楽を考える			
	【定員】40名		【受講料】2年会員13,640円 1年会員15,070円 聴講生19,360円	
	日本の伝統芸能		【時間】毎回14時00分～15時30分 (計12回)	
概要	コロナに傷めつけられた邦楽界は立ち直れるのか。この難問に特効薬はなさそうですが、もう一度原点に立ち帰ることから見えてくるものを模索します。今回は現代邦楽のたどった道筋を探るとともに、新たな観点から楽器の魅力を見直します。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	9/27(月)	大山街道ふるさと館 イベントホール	邦楽にとっての現代とは?	洗足学園音楽大学 現代邦楽研究所 所長 森重行敏
2	10/11(月)		現代邦楽の軌跡(その1)宮城道雄と中能島欣一	
3	10/25(月)		現代邦楽の軌跡(その2)邦楽四人の会と日本音楽集団	
4	11/8(月)		現代邦楽の軌跡(その3)NHK育成会の残したもの	
5	11/15(月)		琵琶…古くて新しい語りの伝統【ゲスト 久保田晶子】	
6	12/6(月)		日本の声を探る…日本人の声は変わったのか?	
7	12/20(月)		国立劇場を考える…芸能と国家の関係とは?	
8	1/17(月)		邦楽と新春…寿ぎの曲の数々	
9	1/31(月)		月琴の残影…易しい楽器の系譜を振り返る	
10	2/14(月)		西と東の出会い…和洋折衷文化の興亡	
11	2/28(月)		一絃琴…究極の弦楽器を知る【ゲスト 峯岸一水、愛澤伯友】	
12	3/7(月)		邦楽は生き延びるか…果てのない旅へ	

受講登録者数 27名 (男性 11名 女性 16名) 出席者総数 258名

前期

講座 6	現代社会の格差と分断は民主主義政治を減らすか？			オンライン併用
	【定員】150名	【受講料】2年会員 5,720円	1年会員 6,435円	聴講生 8,580円
概要	現代事情 【時間】 毎回 10時30分～12時00分(計6回)			
概要	ここ数年の各国政治を振り返ると、成熟し安定した民主政治が行われていると思われてきた国々の内部で経済的・社会的格差と分断の傾向が次第に明らかとなり、政治家はそれを癒すどころか、自己の権勢のためにそれを煽るような現象が見られます。これは、民主主義の政治制度が現代社会の問題を解決できないことを意味するのでしょうか？ 日本と欧米、さらに中国とグローバル社会を視野に入れて、この問題を考えます。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/6(火)	新百合21ビル地下2階多目的ホール	格差問題と公正社会—政治哲学における正義と民主主義	千葉大学教授 小林正弥
2	4/13(火)		中国共産党—党独裁化の経済発展が生み出す構造的格差	東京大学教授 川島 真
3	5/11(火)		日本における格差問題と政治心理学—幸福感と選挙	千葉大学教授 小林正弥
4	5/18(火)		アメリカにおける格差と分断—最近の状況をふまえて	成蹊大学教授 西山隆行
5	6/8(火)		ヨーロッパの格差—格差の背景と格差がもたらす分断	中央大学准教授 古賀光生
6	6/15(火)		グローバル社会の格差—正義と責任という観点から	青山学院大学教授 押村 高

オンライン受講生を含めた受講登録者数 93名 (男性 71名 女性 22名) 出席者総数 502名

後期

講座 1	コロナ禍があぶりだした現代日本の諸問題			オンライン併用
	【会場定員】71名	【オンライン定員】100名	【受講料】2年会員 5,720円	1年会員 6,435円 聴講生 8,580円
概要	現代事情 【時間】 毎回 10時30分～12時00分(計6回)			
概要	今次のパンデミックが、日本の社会と国家にどのようなインパクトをもたらすのか？現象は進行中であり、検証には長い時間がかかるでしょう。しかし、現段階でも、コロナ禍によってあぶりだされた問題点を指摘することはできます。重要なのは、政治権力を握る人々の思惑やメディアのセンセーショナルリズムによって覆い隠されがちな実相を、比較の視点も加えて、客観視することでしょう。この連続講義は、その試みです。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/11(月)	川崎市生涯学習プラザ	コロナ禍を経た日本社会の変化	明治学院大学教授 武川正吾
2	10/18(月)		コロナ対策に見る国と自治体の政治行政	東京大学教授 金井利之
3	10/25(月)		コロナ禍による医療への影響 (仮題)	日本福祉大学名誉教授 二木 立
4	11/8(月)		現代の雇用問題とコロナ禍の影響	大分大学名誉教授 阿部 誠
5	11/15(月)		コロナ禍と精神保健	明治学院大学名誉教授 村上雅昭
6	11/22(月)		コロナとヨーロッパの政治社会	千葉大学教授 水島治郎

受講登録者数 64名 (男性 51名 女性 13名) 出席者総数 342名

前期

講座 7	聖地巡礼			オンライン併用
	【定員】150名	【受講料】2年会員 11,440円	1年会員 12,870円	聴講生 17,160円
概要	エクセレントⅢ 【時間】 13時30分～15時00分			
概要	なぜ人は聖地を目指し、あまたの苦難や艱難を乗り越えて巡礼するのであろうか。そこには救済や贖罪といった信仰上の願いはもちろんだこと、「非日常」への憧憬や「娯楽」の要素も含まれる。本講座では、ほぼいずれの社会においてもみられる「聖地巡礼」をテーマに、歴史学・宗教学・人類学など多分野を学際的に横断しつつ、世界と日本、歴史と現在の多様な社会や宗教・文化について考えたい。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/6(火)	新百合21ビル地下2階多目的ホール	人はなぜ聖地に行くのか？—聖地巡礼の諸相	東京大学准教授 守川知子
2	4/13(火)		イスラーム教の聖地巡礼—メッカのカアバ聖殿と各地の聖廟	流通経済大学名誉教授 関 哲行
3	5/11(火)		中近世ヨーロッパのサンティアゴ巡礼—「地の果ての聖地」を辿る **オンライン講義	
4	5/18(火)		中近世のエルサレム巡礼—三つの一神教の聖地を巡る	日本学術振興会特別研究員 虫賀幹華
5	6/8(火)		ヒンドゥー教における聖地巡礼—聖地の縁起譚を中心に歴史と現代的展開を考える	
6	6/15(火)		中国の聖地巡礼—女性神に会いに行く民衆たち	清泉女子大学准教授 石野一晴
7	6/29(火)		チベットの聖地巡礼—「神の地」ラサキに生きる人々	駿河台大学准教授 村上大輔
8	7/13(火)		四国遍路—ふたつの弘法大師像をめぐって	埼玉県立大学准教授 浅川泰宏
9	7/20(火)		伊勢参宮—参詣と巡礼と順礼	米沢女子短期大学教授 原 淳一郎
10	7/27(火)		出羽三山参詣と湯殿参詣—天台と真言の攻防	
11	8/10(火)		墓は聖地となり得るか？—高野山からレーニン廟・ホーチミン廟・アタテュルク廟まで	東京大学准教授 守川知子
12	8/31(火)		巡礼ツーリズムの流行とその背景—熊野古道と「ながさき巡礼」を中心に	筑波大学名誉教授 山中 弘

オンライン受講生を含めた受講登録者数 95名 (男性 51名 女性 44名) 出席者総数 951名

後期

講座 7	イスラームをもっと知ろう①イスラームとは何か			オンライン併用
	【会場定員】150名	【オンライン定員】100名	【受講料】2年会員 11,440円	1年会員 12,870円 聴講生 17,160円
概要	エクセレントⅢ 【時間】 毎回 13時30分～15時00分(計12回)			
概要	7世紀にアラビア半島のメッカで創唱されたイスラームは、アジア・アフリカから欧米まで拡大し、信徒の数は18億を超え、個人や社会の規範となっている。本講座では、イスラーム世界における宗教、法・政治・経済、社会・文化・生活のあり方を通して、文明としてのイスラームの姿を明らかにしたい。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/5(火)	新百合21ビルB2多目的ホール	イスラーム世界と日本	お茶の水女子大学名誉教授 三浦 徹
2	10/19(火)		宗教としてのイスラーム：ムハンマド、啓示、六信五行	公益財団法人東洋文庫研究員 太田啓子
3	11/2(火)		イスラームの法と政治：ウンマ、カリフ、シャリーア	
4	11/16(火)		スンナ派とシーア派：なぜ分派が生じるのか	上智大学名誉教授 私市正年
5	11/30(火)		スーフイズムと聖者：奇跡・予言・癒しの世界	
6	12/7(火)		イスラーム都市とワクフ（寄進制度）	お茶の水女子大学名誉教授 三浦 徹
7	12/14(火)		イスラーム法における契約と裁判	上智大学名誉教授 私市正年
8	1/18(火)		地中海文明としてのイスラーム	
9	1/25(火)		イスラームと商業・経済	大東文化大学東洋研究所教授 栗山保之
10	2/8(火)		イスラームの科学技術	
11	2/22(火)		家族と女性：生活におけるイスラーム	公益財団法人東洋文庫研究員 太田啓子
12	3/1(火)		イスラームの食文化	

受講登録者数 92名 (男性 53名 女性 39名) 出席者総数 978名

前期

講座 8	「いま」が分かる科学と技術			オンライン併用
	【定員】35名 【受講料】2年会員 11,440円 1年会員 12,870円 聴講生 17,160円			
新しい科学の世界 【時間】毎回10時30分～12時00分(計12回)				
概要 科学技術に関係した最新のトピックスを紹介します。自然界の原理や仕組み、科学的な考え方を学ぶことができます。先端の科学技術と人間社会との関係も考えるシリーズです。				
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/13(火)	川崎市生涯学習プラザ	「なぜ?」を大切に新しい科学館	理科ハウス館長 森 裕美子
2	4/20(火)		温暖化防止対策、世界の動き、日本の課題	気候ネットワーク理事長、弁護士 浅岡美恵
3	4/27(火)		南極越冬隊の同行取材から帰国して	朝日新聞記者 中山由美
4	5/11(火)		顔認識技術が変える未来の社会 ～ 東芝の AI 技術 ***オンライン講義	東芝デジタルソリューションズ(株) ICTソリューション事業部 佐藤雄介 メディア・サービスソリューション技術部 久保田啓司、泉宏隆
5	5/18(火)		知を結集した「スマート農業」の実践 ～ ヤンマーの取り組み	ヤンマーアグリ(株)開発統括部 先行開発部 知能化グループ 西田雄介
6	5/25(火)		遠隔画像診断における AI 活用	(株)エムネス取締役副会長・創業者 医師 北村直幸
7	6/1(火)		セラピーロボットへの愛着に応えて	(株)ア・ファン〜匠工房〜代表取締役 乗松伸幸
8	6/15(火)		「核図表」から知る元素の成り立ちと放射線	日本原子力研究開発機構先端基礎研究センター 研究主幹 小浦寛之
9	6/22(火)		リニア新幹線の建設による大地と水の影響	ジャーナリスト 櫻田秀樹
10	6/29(火)		月面の探査と有人活動 ～ 国際政治と科学技術協力	JAXA社友 柳川孝二
11	7/6(火)		「七夕」と宇宙の旅	国立天文台准教授 縣 秀彦
12	7/13(火)		講座のまとめ / 受講者とのふりかえり	コーディネーター(科学ジャーナリスト) 佐藤年緒

オンライン受講生を含めた受講登録者数 72名 (男性 56名 女性 16名) 出席者総数 793名

後期

講座 8	地球と宇宙を科学する			オンライン併用
	【会場定員】35名 【オンライン定員】100名 【受講料】2年会員 11,440円 1年会員 12,870円 聴講生 17,160円			
新しい科学の世界 I 【時間】毎回10時30分～12時00分(計12回)				
概要 現代は科学の時代です。私たちの周りには新しい知見と新しい技術・創造物があふれています。それを知ることは喜びであり有用でもあります。「新しい科学の世界」では今期2つの講座を用意しました。どちらも著名な専門家が丁寧に解説します。Iは主に科学的テーマをそろえた講座になっています。				
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/5(火)	川崎市生涯学習プラザ	講座の紹介	東京大学名誉教授 太田猛彦
2	10/12(火)		宇宙のダークサイト	東京大学教授 須藤 靖
3	10/19(火)		火山噴火により変化する西之島の自然 地質編	東京大学地震研究所准教授 前野 深
4	10/26(火)		火山噴火により変化する西之島の自然 生物編 **対面講義のみ	森林総合研究所主任研究員 川上和人
5	11/2(火)		初号機の打ち上げ迫る 日本の大型ロケットH3の開発	JAXA宇宙輸送技術部門H3プロジェクトチーム ファンクションマネージャ 名村 栄次郎
6	11/9(火)		日本列島5千万年と今(そのI)	東京大学名誉教授 木村 学
7	11/16(火)		日本列島5千万年と今(そのII)	
8	11/30(火)		世界自然遺産「奄美大島、徳之島、沖縄島北部および西表島」 その価値と保全	東京女子大学名誉教授 石井信夫
9	12/7(火)		第2の「惑星地球」は存在するか	国立天文台台長 渡部潤一
10	12/14(火)		海流とプラスチックごみ	東京大学特任教授 保坂直紀
11	1/18(火)		ダムや流域治水の話	一般財団法人水源地環境センター理事 安田吾郎
12	1/25(火)		津波・高潮と沿岸部の防災	東京大学教授 田島芳満

受講登録者数 71名 (男性 53名 女性 18名) 出席者総数 769名

前期

講座 9	つばさに観る自然の姿			オンライン併用
	【定員】40名 (うち会場定員 35名、オンライン受講 5名) 【受講料】2年会員 11,440円 1年会員 12,870円 聴講生 17,160円			
自然 II (川崎学) 【時間】毎回10時30分～12時00分、但し野外学習は移動時間や見学地の状況により多少時間が前後します。学習内容記載の時間を参考にさせていただきます。(計12回)				
概要 自然は、見方を変えることにより様々な姿を私たちに見せます。本講座は川崎周辺の動物・植物、地形・地質の各分野を野外観察を中心に細かく観る実践的な構成になっています。自然を多角的に観る目を養うことができます。				
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/13(火)	川崎市生涯学習プラザ	春植物と春の植物	元東京大学大学院農学生命科学研究科 特任研究員 北川淑子
2	4/20(火)	横浜市青葉区	寺家ふるさと村周辺にて春植物及び春に開花する植物の観察 (午前約2時間～2時間半予定)	
3,4	4/27(火)	静岡県丹那断層と鮎の滝	丹那断層の観察と富士山の三島溶岩流がつくった鮎の滝と溶岩塚「割狐塚稲荷神社」の観察(バス利用)(8～18時予定)	多摩川流域自然史研究会代表 増淵和夫
5	5/11(火)	三浦市(三浦富士～砲台山)	武山丘陵の初夏の昆虫(京急YRP野比駅～(京急バス「通信研究所南門」)～砲台(大塚)山(帰路同じ)) (午前約2時間予定)	元かわさき宙(そら)と緑の科学館 学芸員 川島逸郎
6	5/18(火)	川崎市生涯学習プラザ	磯の生物のグループ分けと特徴	NPO法人ディスカバーブルー 寺西聡子
7	5/25(火)	三浦市荒崎	相模湾東部三浦半島の磯の生物観察(午前約2時間予定)	
8,9	6/1(火)	足柄上郡山北町	「海から山へ変動のターニングポイント:足柄層群塩沢層の地層と化石の観察」山北町谷峨周辺(昼食を含めて午前・午後約5時間予定)	神奈川県立生命の星・地球博物館 学芸員 田口公則
10	7/13(火)	川崎市生涯学習プラザ	自然観察の技法「昆虫を描いて半世紀 ～私の標本画修行～」	元かわさき宙(そら)と緑の科学館 学芸員 川島逸郎
11,12	9/14(火)	埼玉県秩父市	中止	

※4/13(火)10時00分より30分間オリエンテーション(野外学習についての連絡等)を実施。 ※第3,4回4/27(火)、第10,11回6/22(火)はバス借上げ費用等で別途10,000円集金。バスの手配は富士急トラベル。

オンライン受講生を含めた受講登録者数 37名 (男性 17名 女性 20名) 出席者総数 303名

後期

講座 9	つばさに観る自然の姿			オンライン併用
	【定員】40名 (うち会場定員 35名) 【受講料】2年会員 11,440円 1年会員 12,870円 聴講生 17,160円			
自然 II (川崎学) 【時間】講義:毎回10時30分～12時00分。野外学習:移動時間や見学地の状況により多少時間が前後します。学習内容記載の時間を参考にさせていただきます。(計12回)				
概要 自然は、見方を変えることにより様々な姿を私たちに見せます。本講座は川崎周辺の動物・植物、地形・地質の各分野を野外学習を中心に細かく観る実践的な構成になっています。自然を多角的に観る目を養うことができます。				
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1,2	9/28(火)	葉山町(桜山大山林道・森戸川流域)	三浦半島での大きな河川とその流域について、自然環境の現状を見ながら、昆虫を中心とした観察を行う(午前・午後各2時間程度を予定)	元かわさき宙(そら)と緑の科学館 学芸員 川島逸郎
3	10/19(火)	川崎市生涯学習プラザ	果実と種子の不思議を探る	元東京大学大学院農学生命科学研究科 特任研究員 北川淑子
4	10/26(火)	生田緑地	果実と種子の不思議を探る(野外観察)(午前約2時間予定)	
5	11/2(火)	諸磯隆起海岸	穿孔貝の穴列を観察し、かつての汀線を推察する (9時20分～12時)	神奈川県立生命の星・地球博物館 主任学芸員 田口公則
6,7	11/9(火)	山梨県	韭崎泥流と信玄堤(バス利用)(8～18時予定)	多摩川流域自然史研究会 代表 増淵和夫
8	11/16(火)	川崎市生涯学習プラザ	大地の変動をとらえる:「諸磯の隆起海岸」の穿孔痕の観察から	神奈川県立生命の星・地球博物館 主任学芸員 田口公則
9,10	11/30(火)	牧之原市(相良油田跡)	工業都市川崎を日本の原油産地から俯瞰する(バス利用) (8～18時予定)	神奈川県立生命の星・地球博物館 名誉館員 笠間 友博
11	3/1(火)	川崎市生涯学習プラザ	東京湾の海岸環境と生物相	NPO法人ディスカバーブルー 寺西聡子
12	4/19(火)	横須賀市(観音崎)	東京湾三浦半島側の磯・砂浜の環境と生物相の観察 (10時30分～12時予定)	

※9/21(火)10時30分より一時間程オリエンテーション(野外学習についての連絡等)を実施。 ※第6,7回11/9(火)、第9,10回11/30(火)はバス借上げ費用等で別途10,000円程。バスの手配は、富士急トラベル。

受講登録者数 37名 (男性 18名 女性 19名) 出席者総数 350名

前期

WS 3	地域福祉・地域共生社会とは何か—社会福祉の現場を学ぶ ※講義形式・ワークショップ形式 オンライン併用			
	【定員】30名 【受講料】2年・1年会員ともに5,720円 聴講生 6,200円			
	【ワークショップ】 社会福祉 【時間】 毎回 10時30分～12時00分 (計6回)			
概要	国が地域共生社会を社会福祉の理念として掲げた、地域福祉や共生社会の系譜(男女共生・多文化共生・地域共生)を踏まえながら、その実現のための仕組み(行政計画や住民活動)を学びます。最終回は、自分たちの地域の福祉や住民、ボランティアとしてできることについて情報交換・ディスカッションを行います。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/27(火)	川崎市生涯学習プラザ	地域福祉と共生社会—その考えとその仕組みを学ぶ	明治学院大学教授 武川正吾
2	5/25(火)		生活の質(QOL)からみる精神保健福祉	明治学院大学准教授 平澤恵美
3	6/1(火)		社会的弱者の社会参加を促すコミュニティ・オーガナイズング—実践の事例から	東京都立大学准教授 室田信一
4	6/15(火)		人生の最期までを支える地域包括ケアシステムの活用と課題	尚美学園大学准教授 高橋幸裕
5	7/6(火)		多文化共生と福祉—多文化の背景を持つ人の生活と福祉	多文化共生事業(外国人相談等)担当者 中森 ジュリア みどり
6	7/27(火)		自主学習:地域福祉とボランティアへの参加を考える	情報提供者・受講生による 情報交換・ディスカッション

オンライン受講生を含めた受講登録者数 10名 (男性 3名 女性 7名) 出席者総数 54名

後期

後期は休止

前期

講座 10	南北朝・室町・戦国期の戦乱を「対立」の視点から考える オンライン併用			
	【定員】35名 【受講料】2年会員 11,440円 1年会員 12,870円 聴講生 17,160円			
	日本史 【時間】 毎回 10時30分～12時00分 (計12回)			
概要	中世後期(広義の室町時代)は史上稀に見る「乱」の時代ですが、一方で「一揆」の時代とも呼ばれ、人々は軌を一にして行動しました。では、これらの「乱」や「一揆」の原因は何かと問われれば、それは「対立」であると言えるのではないのでしょうか。「対立」をキーワードに中世後期の日本について一緒に考えてみましょう。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/13(火)	川崎市生涯学習プラザ	イントロダクション—なぜ「対立」から考えるのか?	京都芸術大学講師 佐々木 創
2	4/20(火)		南朝と北朝の対立—なぜ分裂する必要があったのか?	駒澤大学・京都芸術大学講師 角田朋彦
3	5/11(火)		足利尊氏と直義の対立—なぜ兄弟は対立したのか?	
4	5/18(火)		室町幕府と有力守護大名の対立—なぜ排斥は起こるのか?	
5	5/25(火)		京と鎌倉の対立—なぜ鎌倉府は対抗し続けたのか?	京都芸術大学講師 佐々木 創
6	6/1(火)		アイヌと和人・琉球と島津氏の対立—なぜ侵襲したのか?	
7	6/8(火)		東軍と西軍の対立—なぜ複雑化・長期化したのか?	
8	6/15(火)		戦国大名同士の対立—なぜ戦わなければならないのか?	日本大学准教授 小川 雄
9	6/22(火)		細川氏と大内氏の対立—なぜ海外で衝突は起きたのか?	
10	6/29(火)		戦国大名と一向宗の対立—なぜ全国で対立したのか?	京都芸術大学講師 佐々木 創
11	7/6(火)		室町幕府と三好・松永氏の対立—なぜ下剋上できたのか?	日本大学准教授 小川 雄
12	7/13(火)		室町幕府と織田氏の対立—なぜ幕府は滅びたのか?	

オンライン受講生を含めた受講登録者数 117名 (男性 93名 女性 24名) 出席者総数 1,299名

後期

講座 10	現代から考える日本の中世 オンライン併用			
	【会場定員】35名【オンライン定員】100名 【受講料】2年会員 11,440円 1年会員 12,870円 聴講生 17,160円			
	日本史 【時間】 毎回 10時30分～12時00分 (計12回)			
概要	私たちはとすれば中世を、現代とは全く異なる遠い過去、あるいは異世界のように思っていないでしょうか。本講座では、現代の私たちが実感可能なテーマを切り口として、中世の社会と文化を通時代的・多分野的に見渡します。その上で現代と中世との相違点・共通点を探ることを通して、中世とはいかなる時代かを考えます。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/5(火)	川崎市生涯学習プラザ	オリエンテーション 中世日本の世の中を今と比べて考える	京都芸術大学講師 佐々木創
2	10/12(火)		信仰 生老病死に向き合って人はなにを思ったか?	共立女子短期大学名誉教授 菅野扶美
3	10/19(火)		環境問題 気候および災害にいかに対応してきたか?	京都芸術大学講師 佐々木創
4	11/2(火)		職業 中世社会で人びとはいかなる仕事をしてきたか?	共立女子短期大学名誉教授 菅野扶美
5	11/9(火)		共同体1 地域社会と向き合って人びとはどう暮らしたか?	横浜商科大学講師 伊藤拓也
6	11/16(火)		交流1 日本列島の内側を人・モノはどう動いたか?	
7	11/30(火)		共同体2 組織の中で人びとはいかに働いていたか?	青山学院大学講師 鈴木沙織
8	12/7(火)		交流2 列島外との交流はいかなるものがあったのか?	
9	12/14(火)		国際関係1 アジアの中で琉球はどれほど富を得ていたか?	日本大学准教授 小川雄
10	12/21(火)		国際関係2 朝鮮・日本の間にはいかなる課題があったのか?	
11	1/18(火)		食1 育て・作り・食べることはなにを社会にもたらすか?	京都芸術大学講師 佐々木創
12	1/25(火)		食2 異なる食文化に接し宣教師はなにを感じたか?	

受講登録者数 80名 (男性 63名 女性 17名) 出席者総数 871名

前期

WS 4	『太平記』を読みなおす ※グループ発表あり		オンライン併用
	【定員】35名	【受講料】2年会員・1年会員ともに10,010円	聴講生 11,440円
	【ワークショップ】日本史	【時間】毎回13時15分～15時15分(計7回)	
概要	近年、時代は空前の「室町ブーム」といわれ、日本の歴史では中世が人気です。本ワークショップでは、中世のなかでも、とりわけ鎌倉幕府が崩壊していくシーンをとりあげ、時代が短期間で大きく転換していく姿を見つめてみたいと思います。具体的には、『太平記』をとりあげます。『太平記』は、鎌倉末期から南北朝までを描いた文学作品で、歴史史料としても有名ですが、実際に読んだという人は少ないのではないのでしょうか。他方、最近、岩波文庫から『太平記』が刊行され、NHK-BSでも大河ドラマ『太平記』が再放送されるなど、『太平記』はいま熱い注目を集めています。一年をかけて『太平記』を読むことで、中世の世界に触れ、歴史を振り返ると同時に、現代も見通すことができるとしていただければ幸いです。		
回	月/日(曜)	会場	学習内容 講師名(敬称略)
1	4/13(火)	川崎市生涯学習プラザ	『太平記』とは何か 東京大学大学院 人文社会系研究科研究員 谷口雄太
2	5/11(火)		足利殿上洛
3	5/25(火)		久我縄手合戦・名越殿討死・足利殿大江山を打ち越ゆる
4	6/8(火)		五月七日合戦
5	6/22(火)		六波羅落つる
6	7/6(火)		番場自害・千剣破城寄手南都に引く
7	7/27(火)		改めて、『太平記』とは何か

『太平記』は兵藤裕己校注の岩波文庫本・第2巻を使用し、参考資料を配布。長谷川端校注・訳の新編日本古典文学全集 54も適宜参照。NHK大河ドラマ『太平記』(1991年)も理解の助けとなる。

オンライン受講生を含めた受講登録者数 26名 (男性 17名 女性 9名) 出席者総数 168名

後期

WS 3	続・『太平記』を読みなおす ※グループ発表あり		オンライン併用
	【定員】35名	【受講料】2年会員・1年会員ともに10,010円	聴講生 11,440円
	【ワークショップ】日本史	【時間】毎回13時15分～15時15分(計7回)	
概要	近年、時代は空前の「室町ブーム」といわれ、日本の歴史では中世が人気です。本ワークショップでは、中世のなかでも、とりわけ鎌倉幕府が崩壊していくシーンをとりあげ、時代が短期間で大きく転換していく姿を見つめてみたいと思います。具体的には、『太平記』をとりあげます。『太平記』は、鎌倉末期から南北朝までを描いた文学作品で、歴史史料としても有名ですが、実際に読んだという人は少ないのではないのでしょうか。他方、最近、岩波文庫から『太平記』が刊行され、NHK-BSでも大河ドラマ『太平記』が再放送されるなど、『太平記』はいま熱い注目を集めています。		
回	月/日(曜)	会場	学習内容 講師名(敬称略)
1	10/5(火)	川崎市生涯学習プラザ	『太平記』とは何か 東京大学大学院 人文社会系研究科研究員 谷口雄太
2	11/9(火)		長崎次郎禅師御房を殺す・義貞叛逆・天狗越後勢を催す
3	11/16(火)		小手指原軍・久米川合戦・分階軍
4	11/30(火)		大田和源氏に属する
5	12/14(火)		鎌倉中合戦
6	1/18(火)		相模入道自害
7	1/25(火)		改めて、『太平記』とは何か

『太平記』は兵藤裕己校注の岩波文庫本・第2巻を使用し、参考資料を配布。長谷川端校注・訳の新編日本古典文学全集 54も適宜参照。NHK大河ドラマ『太平記』(1991年)も理解の助けとなる。

受講登録者数 26名 (男性 15名 女性 11名) 出席者総数 177名

前期

講座 11	みどり学 I —身近な自然に興味を持ち親しみを深める				オンライン併用
	【定員】71名 【受講料】2年会員 11,440円 1年会員 12,870円 聴講生 17,160円				
	みどり学 I 【時間】講義:13時30分～15時00分、野外:10時30分～14時30分(計12回)				
概要	みどり学は自然環境を広く学ぶ講座です。日常生活の中で接する身近な自然を見つめ、自然と生活の関わりを理解して、生活に生かすことを目指します。				
回	月/日(曜)	会場	学習内容	班	講師名(敬称略)
1,2	4/13(火)	小石川植物園	世界初! 植物で精子発見の木と新装オレンジリ- (温室) 探訪	A班実施・B班休み	樹木医 石井誠治
	4/20(火)			B班実施・A班休み	
3	4/27(火)	川崎市生涯学習プラザ	東日本大震災海岸防災林の現状とこれから	A・B班実施	東京大学名誉教授 太田猛彦
4,5	5/11(火)	相模原公園	珍しいアイラトビカズラの花見とクレマチスコレクション鑑賞	A班実施・B班休み	樹木医 石井誠治
	5/18(火)			B班実施・A班休み	
6,7	5/25(火)	座間谷山公園	座間にのこる谷戸の自然	A班実施・B班休み	森林インストラクター 武部 令
	6/1(火)			B班実施・A班休み	
8	6/8(火)	川崎市生涯学習プラザ	富士山も箱根もどちらも火山、何が違うの?	A・B班実施	元立正大学教授 福岡孝昭
9	6/15(火)		尾瀬で起こったナガバノモウセンゴケ発見の顛末と生育地の不思議	A・B班実施	宇都宮大学名誉教授 谷本文夫
10	6/22(火)		筑波実験植物園で体験した植物の栽培管理現場での気付きや面白さ	A・B班実施	筑波実験植物園技能補佐員 二階堂太郎
11	6/29(火)		ガラバゴスの生物の進化と保全パートII	A・B班実施	横浜国立大学准教授 倉田薫子
12	7/6(火)		人気の高尾山で起こっている怖い現実と未来	A・B班実施	樹木医 石井誠治

※本講座はみどり学の受講経験の浅い方が比較的多く受講。 ※4/6(火)13時30分より小一時間ほどオリエンテーション(野外学習についての連絡等)を実施。 オンライン受講生を含めた受講登録者数 77名 (男性 33名 女性 44名) 出席者総数 807名

後期

講座 11	みどり学 I —身近な自然に興味を持ち親しみを深める				オンライン併用
	【定員】90名(うち会場定員71名) 【受講料】2年会員 11,440円 1年会員 12,870円 聴講生 17,160円				
	みどり学 I 【時間】講義:13時30分～15時00分、野外:10時30分～14時30分(計12回)				
概要	みどり学は自然環境を広く学ぶ講座です。日常生活の中で接する身近な自然を見つめ、自然と生活の関わりを理解して、生活に生かすことを目指します。				
回	月/日(曜)	会場	学習内容	班	講師名(敬称略)
1,2	10/12(火)	四季の森公園	実りの秋 ～雑木林下の種子と果実の探究～	A班実施・B班休み	森林インストラクター 武部 令
	10/19(火)			B班実施・A班休み	
3	11/2(火)	川崎市生涯学習プラザ	世界の辺境の不思議な植物～ギリシャの秋の花を訪ねて～	A・B班実施	(一財)進化生物研究所理事長・所長 湯浅浩史
4,5	11/9(火)	こどもの国	開園62年の時の流れを木々の成長から読み取る	A班実施・B班休み	樹木医 石井誠治
	11/16(火)			B班実施・A班休み	
6	11/30(火)	川崎市生涯学習プラザ	森はどのように破壊され、回復していったのか	A・B班実施	東京大学名誉教授 太田猛彦
7	12/7(火)		日本の近代化を支えた蚕糸業とその技術	A・B班実施	東京農工大学准教授 横山 岳
8	12/14(火)		植物の騙し合い・助け合い～植物たちの戦いのドラマ～	A・B班実施	森林インストラクター・グリーンセイバー 中西由美子
9	12/21(火)		梅と日本人 ～渡来したウメの日本文化への浸透～	A・B班実施	森林インストラクター 武部 令
10	1/18(火)		シデコブシ・ハナノキ・ヒトツバタゴ東海丘陵に秘められた日本列島の歴史	A・B班実施	樹木医 石井誠治
11,12	1/25(火)	府中郷士の森	令和と平安、梅と櫻、府中という地名が語る郷士の森	A班実施・B班休み	
	2/1(火)			B班実施・A班休み	

※本講座は、みどり学の受講経験の浅い方が比較的多く受講しています。 ※10/5(火)13時30分より小一時間ほどオリエンテーション(野外学習についての連絡等)を実施。 受講登録者数 82名 (男性 36名 女性 46名) 出席者総数 790名

前期

講座 12	みどり学 (フレッシュ)			
	【定員】40名 【受講料】2年会員 11,440円 1年会員 12,870円 聴講生 17,160円			
みどり学 (フレッシュ) 【時間】講義:13時30分～15時00分、野外:10時30分～14時30分 (計12回)				
概要 みどり学を初めて受講される方を中心に、身近な自然に目を向けるきっかけをつかむことを目的にした講座です。				
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/13(火)	川崎市 生涯学習 プラザ	わかりやすい生態学：モンゴルの草原を生態学的に捉える	元麻布大学教授 高槻成紀
2	4/20(火)		種の知恵 ～ 種子植物の進化と適応～	森林インストラクター 武部 令
3	5/11(火)	川崎市 生涯学習 プラザ	わかりやすい生態学：タヌキの食性と種子散布	元麻布大学教授 高槻成紀
4	5/18(火)		色と香りは植物戦略 ～ 植物の中にある化学～	森林インストラクター 武部 令
5	5/25(火)		わかりやすい生態学：野生動物との共存を目指して	元麻布大学教授 高槻成紀
6	6/1(火)		年輪は語る～桜並木で起こった数々のサスペンスドラマ～	樹木医 石井誠治
7,8	6/8(火)	神代植物公園	生物多様性センターや水生植物園を楽しむ	
9,10	6/22(火)	横浜市 こども植物園	バラ、アジサイ、ハナショウブ 夏花の共演	森林インストラクター 武部 令
11,12	9/14(火)	小石川植物園	日本最古の植物園で見られる巨樹や古木の物語	樹木医 石井誠治

※本講座は、アカデミーで初めてみどり学を学ぶ方や、初心に帰って学び直しをしたい方に向けた内容。
 ※4/13(火)13時00分よりオリエンテーション(野外学習についての連絡等)を実施。
 受講登録者数 30名 (男性 10名 女性 20名) 出席者総数 263名

後期

講座 12	みどり学 (フレッシュ)			
	【定員】40名 【受講料】2年会員 11,440円 1年会員 12,870円 聴講生 17,160円			
みどり学 (フレッシュ) 【時間】講義:13時30分～15時00分、野外:10時30分～14時30分 (計12回)				
概要 みどり学を初めて受講される方を中心に、身近な自然に目を向けるきっかけをつかむことを目的にした講座です。				
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/12(火)	川崎市 生涯学習 プラザ	戦争が巨木を伐った	武蔵大学名誉教授 瀬田勝哉
2	10/19(火)		アフガンの森で調べたこと	元麻布大学教授 高槻成紀
3,4	11/2(火)	生田緑地	常緑樹と落葉樹のせめぎ合い ～南関東の在来自然植生散策～	森林インストラクター 武部 令
5	11/9(火)	川崎市 生涯学習 プラザ	コケってどんな植物	森林インストラクター・グリーンセイバー 中西 由美子
6	11/16(火)		都会で見られる鳥の生き方・暮らし方	ネイチャーガイド 中村忠昌
7,8	11/30(火)	都築 中央公園	闘いのなかった縄文時代から防御の環状集落ができる過程を体験する	樹木医 石井誠治
9,10	12/14(火)	東高根 森林公園	天然記念物になったシラカシ林 ～貴重なシラカシ林と湿性林散策～	森林インストラクター 武部 令
11	1/25(火)	川崎市 生涯学習 プラザ	「隣のカルルがうるさいから殺せ」とは	元麻布大学教授 高槻成紀
12	2/1(火)		梅と日本人 ～渡来したウメの日本文化への浸透～	森林インストラクター 武部 令

※本講座は、アカデミーで初めてみどり学を学ぶ方や、初心に帰って学び直しをしたい方に向けた内容。
 ※10/12(火)13時00分よりオリエンテーション(野外学習についての連絡等)を実施。
 受講登録者数 28名 (男性 10名 女性 18名) 出席者総数 299名

前期

講座 13	宮澤賢治の代表作を読みなおす			
	【定員】35名 【受講料】2年会員 11,440円 1年会員 12,870円 聴講生 17,160円			
文学 【時間】毎回 10時30分～12時00分 (計12回)				
概要 宮澤賢治の代表作である「セロ弾きのゴーシュ」、「風の又三郎」、「銀河鉄道の夜」の三作を精読します。				
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/14(水)	川崎市 生涯学習 プラザ	「セロ弾きのゴーシュ」1	東京大学名誉教授 小森陽一
2	4/28(水)		「セロ弾きのゴーシュ」2	
3	5/12(水)		「風の又三郎」1	
4	5/26(水)		「風の又三郎」2	
5	6/2(水)		「風の又三郎」3	
6	6/9(水)		「風の又三郎」4	
7	6/23(水)		「銀河鉄道の夜」1	
8	6/30(水)		「銀河鉄道の夜」2	
9	7/7(水)		「銀河鉄道の夜」3	
10	7/14(水)		「銀河鉄道の夜」4	
11	7/28(水)		「銀河鉄道の夜」5	
12	8/4(水)		『春と修羅』	

*各回の作品を『宮澤賢治全集 7』(ちくま文庫)で事前に読んでご参加いただければ、より深くご理解いただけます。
 受講登録者数 75名 (男性 21名 女性 45名) 出席者総数 773名

後期

講座 13	感染症の時代と近代小説			
	【定員】35名 【受講料】2年会員 11,440円 1年会員 12,870円 聴講生 17,160円			
文学 【時間】毎回 10時30分～12時00分 (計12回)				
概要 日本の近代小説にあらわれた感染症への言及を中心に社会と病について考察する				
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/6(水)	川崎市 生涯学習 プラザ	夏目漱石『吾輩は猫である』と天然痘 (岩波文庫)	東京大学名誉教授 小森陽一
2	10/13(水)		夏目漱石『琴のそら音』とインフルエンザ (『倫敦塔・幻影の盾』岩波文庫)	
3	10/20(水)		夏目漱石『三四郎』と青山病院 (岩波文庫)	
4	11/10(水)		夏目漱石『それから』と腸チフス (岩波文庫)	
5	11/24(水)		夏目漱石『門』とインフルエンザ (岩波文庫)	
6	12/1(水)		夏目漱石『こころ』と腸チフス (岩波文庫)	
7	12/8(水)		内田百閒とインフルエンザ (1) (『内田百閒』ちくま文庫日本文学)	
8	12/22(水)		内田百閒とインフルエンザ (2)	
9	1/12(水)		志賀直哉と「流行感冒」(1) (『小僧の神様』岩波文庫)	
10	1/26(水)		志賀直哉と「流行感冒」(2)	
11	2/2(水)		堀辰雄『風立ちぬ』と結核 (1) (『風立ちぬ・美しい村』岩波文庫)	
12	2/9(水)		堀辰雄『風立ちぬ』と結核 (2)	

*各回の作品を事前に読んでご参加いただければ、より深くご理解いただけます。
 受講登録者数 50名 (男性 13名 女性 37名) 出席者総数 498名

前期

WS 5	無頼派の文学を読む		※討論の後に講義あり	
	【定員】30名	【受講料】2年・1年会員ともに8,580円	聴講生 10,010円	
【ワークショップ】文学	【時間】毎回13時00分～15時00分	(計7回)		
概要	日本近現代文学史上に、作家の生き方や小説の手法、さらに、小説の内容から「無頼派」と呼ばれる作家たちの活躍が記載されています。「派」と言っても、彼らは同一の文学的傾向を持ったグループではありません。彼らはそれまでの文学に対して、新たな文体と方法をもって個々に自己表現した作家たちです。本講座では「無頼派」の作家の代表的な短編、中編小説を発表順に読み解きます。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/28(水)	川崎市生涯学習プラザ	ガイダンス	運営世話人
2	5/12(水)		壇一雄「花筐」 —壇一雄の仕事は、太宰治から「純粋刹那の愛と美」を「固定せしめよう」とすると高く評価された。壇の初期小説に描かれた青春群像劇を再検討する。	元早稲田大学講師 伊藤 博
3	5/26(水)		織田作之助「夫婦善哉」 —商業都市大阪の地理と食文化を把握し、オダサクの代表作に描かれた夫婦関係を追究する。続編についても言及する。	
4	6/9(水)		石川淳「黄金伝説」 —戦後の焼け跡に生きる「わたし」の願いの寓意性を読み解き、石川淳の文学の方法の一端を明らかにする。	
5	6/23(水)		坂口安吾「白痴」 —戦時、空襲下における「伊沢」の白痴の女に対する関係意識の有り様を把握する。それは、また、戦後における人間の再出発の意味を問うことにもなるはずである。	
6	7/14(水)		太宰治「ヴィオンの妻」 —放蕩無頼の詩人「大谷」の言動を妻はどのように受け止め、敗戦後の日常をどのように生き抜こうとしているのか。妻の願いを読み解く。	
7	7/28(水)		田中英光「愛と青春と生活」 —日本の植民地「朝鮮」における「二十三歳の私」の鬱屈した生活に光明は見えてくるのか。主人公「わたし」の率直な告白の意味を探る。	

*ガイダンスには講師は出席しない。

受講登録者数 12名 (男性 7名 女性 5名) 出席者総数 80名

後期

WS 4	現代文学を読む		※講義の後に討論あり	
	【定員】30名	【受講料】2年・1年会員ともに8,580円	聴講生 10,010円	
【ワークショップ】文学	【時間】毎回14時00分～16時00分	(計7回)		
概要	文学作品には、読者の想像力を刺激する「空白」(不確定箇所)があります。読者の仕事とは、作品と対話しながら、この空白を埋め、作品を具体化することにほかなりません。このワークショップでは、現代文学を取り上げ、受講生のみなさんが作品と対話するだけでなく、講師や他の受講生との対話を通して、作品の読みをさらに豊かに具体化していくことを目的とします。他者と協働的に読むという作業を通じて、現代文学の魅力を味わいながら、それが描き出すさまざまな現代社会の問題にも考察を深めていきます。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/6(水)	川崎市生涯学習プラザ	ガイダンス	運営世話人
2	10/20(水)		奥泉光「石の来歴」(文春文庫、講談社文芸文庫)を読みながら、戦争と暴力の記憶を回想させる子どもの表象について考察する。	早稲田大学 津田塾大学 他 講師 堀井一摩
3	11/10(水)		村上春樹「UFOが釧路に降りる」(新潮文庫『神の子どもたちはみな踊る』)を読みながら、阪神大震災後の「失われた20年」を生きている人間の「主体性」について考察する。	
4	11/24(水)		川上未映子「三月の毛糸」(講談社文庫『愛の夢とか』)を読みながら、東日本大震災後のトラウマとの向き合い方について考察する。	
5	12/1(水)		木村友祐「聖地Cs」(新潮社)を読みながら、新自由主義社会の中で放射能汚染地域に取り残された動物たちを生かすことの批評性について考える。	
6	1/12(水)		多和田葉子「献灯使」(講談社文庫)を読みながら、3.11以後の日本社会の中で放射能汚染の恐怖について語るこの意味を考察する。	
7	2/2(水)		村田沙耶香「コンビニ人間」(文春文庫)を読みながら、「普通の人間」を強制する現代社会のシステムについて考察する。	

*ガイダンスには講師は出席しない。

受講登録者数 11名 (男性 5名 女性 6名) 出席者総数 73名

前期

講座 14	西洋建築の歴史		オンライン併用	
	【定員】35名	【受講料】2年会員 11,440円	1年会員 12,870円	聴講生 17,160円
建築と都市	【時間】毎回10時30分～12時00分	(計12回) 第10回目のみ13時30分～15時00分		
概要	ヨーロッパの古い町並みのなかには、異なる建築様式の建物が混ざり合って建っています。それらの様式は時代ごとの造形原理をもち、伝統と革新の繰り返しでした。本講座では気鋭の研究者達による建築様式の概説とともに、様々な地域での展開やその魅力について語っていただきます。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1※	4/14(水)	川崎市生涯学習プラザ	古代ギリシア建築と南イタリアの植民都市	東海大学特任准教授 稲益祐太
2	5/12(水)		古代ローマ建築と劇場・闘技場	関東学院大学教授 黒田泰介
3	5/26(水)		ビザンチン建築と教会堂	名古屋大学特任助教 樋口諒
4	6/2(水)		ロマネスク建築と南欧	東京都立大学准教授 伊藤喜彦
5	6/5(土)		ロマネスク建築と南北イタリア	東海大学特任准教授 稲益祐太
6	6/9(水)		ゴシック建築とマテリアル	東京大学教授 加藤耕一
7	6/19(土)		ルネサンス建築とヴェネツィア	日本女子大学研究員 青木 香代子
8※	6/23(水)		ルネサンス建築と15世紀のフィレンツェ	東北大学准教授 飛ヶ谷 潤一郎
9※	6/30(水)		ルネサンス建築と16世紀のローマ	
10	7/10(土)		バロック建築と南イタリア	東海大学特任准教授 稲益祐太
11	7/14(水)		フランス・バロック建築と諸芸術	工学院大学准教授 中島智章
12※	7/28(水)		建築と歴史	東海大学特任准教授 稲益祐太

講義回数の後ろの「※」は講師の先生は会場以外からオンラインで講義、会場受講生はスクリーンでご受講。

オンライン受講生を含めた受講登録者 69名 (男性 32名 女性 37名) 出席者総数 754名

後期

講座 14	江戸城と大名屋敷		オンライン併用	
	【会場定員】35名	【オンライン定員】100名	【受講料】2年会員 11,440円	1年会員 12,870円
建築と都市	【時間】毎回10時30分～12時00分	(計12回)		
概要	現代の東京は江戸の都市構造を色濃く受け継いでいます。大名上屋敷はオフィス街、下屋敷は大学や大規模庭園となっています。江戸城、大名屋敷さらに武家の生活文化を、建築史・考古学・歴史学の視点から読み解きます。また徳川家の葬儀と霊廟という、新たな分野にも踏み込みます。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/6(水)	川崎市生涯学習プラザ	江戸の都市構造と大名屋敷	日本工業大学名誉教授 波多野 純
3	10/20(水)		江戸の大名庭園の考古学と小石川後樂園	高崎経済大学地域政策学部 講師 池田悦夫
4	10/27(水)		日記にみる柳澤家の屋敷と暮らし **オンライン講義	淑徳大学人文学部客員教授 小澤 弘
5	11/10(水)		大名屋敷の考古学	早稲田大学人間総合研究センター研究員 江戸都市史研究家 後藤 宏樹
6	11/17(水)		シーボルトがみた日本建築の室内意匠	日本工業大学建築学部助教 野口憲治
7	11/24(水)		東照宮の建築と江戸の大工たち	日本工業大学名誉教授 波多野 純
8	12/1(水)		徳川の葬儀と墓所	波多野純建築設計室 天木詠子
9	12/8(水)		台徳院霊廟模型の発見と再生 **オンライン講義	台徳院霊廟模型修理プロジェクト・コーディネーター 東京大学工学系研究科建築学専攻客員研究員 ウィリアム コールドレイク
9	12/15(水)		考古学からみた江戸での武士の生活文化	練馬区立石神井公園ふるさと文化館館長 小林 克
10	12/22(水)		尾張徳川家戸山屋敷について	新宿区文化観光産業部文化観光課 文化資源主査・学芸員 棚木 真
11	1/19(水)		江戸城の考古学	早稲田大学人間総合研究センター研究員 江戸都市史研究家 後藤宏樹
12	1/26(水)		江戸城の天守と御殿	日本工業大学名誉教授 波多野 純

**オンライン講義：講師の先生はご自宅からオンラインで講義、会場受講生はスクリーンで受講。

受講登録者数 61名 (男性 36名 女性 25名) 出席者総数 651名

前期

講座 15	世界を旅する⑭台湾・ツアー			オンライン併用
	【定員】35名 【受講料】2年会員 11,440円 1年会員 12,870円 聴講生 17,160円			
	エクセレント I 【時間】 毎回 10時30分～12時00分 (計12回)			
概要	「諸帝国の周縁」という特異な台湾の来歴を17世紀から現代までたどった後、広汎なトピックをとりあげ台湾の現状を見つめていく。4年ごとに盛り上がる総統選挙、経済水準アップの課題、先住民がたどってきた道、台湾版の過去の克服としての「移行期正義」、独自の魅力を見せる映画、世界も注目した新型コロナ対策の成功。最後に、日本と台湾の関係を考えつつ、国際社会における台湾の位置を探る。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/14(水)	川崎市生涯学習プラザ	イントロダクション—「諸帝国の周縁」としての台湾	東京大学名誉教授 若林正文
2	4/21(水)		歴史(1) 清朝期まで	早稲田大学台湾研究所次席研究員 新田龍希
3	4/28(水)		歴史(2) 日本統治期	東京外国語大学教授 小笠原 欣幸
4	5/12(水)		歴史(3) 戦後国民党一党支配と民主化	
5	5/19(水)		台湾政治の現在—総統選挙と台湾アイデンティティ	アジア経済研究所研究推進部長 佐藤幸人
6	6/2(水)		台湾経済の現在—先進国水準に至る過程とその課題	
7	6/9(水)		アワとコメの距離：台湾原住民族の文化と統治者の理想	獨協大学准教授 松岡 格
8	6/23(水)		移行期正義—民主化と国家暴力の過去の克服	早稲田大学台湾研究所次席研究員 平井 新
9	6/30(水)		台湾映画から考える台湾社会の過去と現在	大東文化大学特任教授 野嶋 剛
10	7/7(水)		台湾の新型コロナ対策の成功と民主主義の意味	
11	7/14(水)		日台関係 — 世代と人からみる政治外交の重層的な関わり	麗澤大学教授 清水麗
12*	7/28(水)		国際関係の中の台湾—存立を左右する米中との関係	東京大学教授 松田康博

※第12回目のみ講師がzoomを使つてのオンラインで講義。
オンライン受講生を含めた受講登録者数 52名 (男性 31名 女性 21名) 出席者総数 571名

後期

講座 15	世界を旅する⑮バルト三国(エストニア、ラトヴィア、リトアニア)・ツアー			オンライン併用
	【会場定員】35名【オンライン定員】100名 【受講料】2年会員 11,440円 1年会員 12,870円 聴講生 17,160円			
	エクセレント I 【時間】 毎回 10時30分～12時00分 (計12回)			
概要	エストニア、ラトヴィア、リトアニアの平和裏な民主化運動「歌う革命」から30年余りが経過した。戦間期独立時代が短命に終わってしまったことを思えば、ソ連解体からのこの年月が持つ意味は小さくない。大国に翻弄されながらも文化や言語の独自性を保持しつつ、小国の人びとが紡ぎ続けた歴史と現在の取り組みを多角的に掘り下げて紹介する。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/6(水)	川崎市生涯学習プラザ	乙女が祈るバルト海—「バルト三国」の自然・歴史・地政学	早稲田大学教授 小森宏美
2	10/13(水)		勢力角逐の場としてのリヴォニア—北方十字軍からバルト海帝国へ **オンライン講義	徳山工業高等専門学校教授 柏倉知秀
3	10/20(水)		リトアニア大公国の遺産—ポーランド・ウクライナ・ベラルーシ・ユダヤとの関係	東京大学助教 重松 尚
4	10/27(水)		独立とその喪失—大国政治に翻弄される小民族	
5	11/10(水)		郷土を守る—地域政策と環境保護	早稲田大学教授 小森宏美
6	11/17(水)		世界に2言語しかないバルト諸語の魅力—文学と合唱の伝統と現在	ラトヴィア文学翻訳家 黒澤 歩
7	11/24(水)		女性の生活と手工芸の伝統—編み物文化の魅惑的な世界	
8	12/1(水)		ICT先進国エストニア—取り組みと理念	ブラネットウェイ代表 ラウル アリキヴィ (Raul Allikivi)
9	12/8(水)		博物館はだれのもの? 博物館政策とデジタル化	お茶の水女子大学博士課程 木村 文
10	12/15(水)		ベレストロイカとバルト三国—体制内改革から独立へ	東京大学名誉教授 塩川伸明
11	1/19(水)		ポスト冷戦期の政治—女性大統領・首相が続出するのはなぜか?	早稲田大学教授 小森宏美
12	1/26(水)		バルト・ドイツ人の栄光と苦難—700年に亘るバルト地域の支配者	早稲田大学講師 今村 芳

受講登録者数 53名 (男性 26名 女性 27名) 出席者総数 562名

前期

講座 16	かわさきの歴史や文化を多角的に学び・歩いて再発見してみよう⑩			オンライン併用
	【定員】50名(うち会場定員35名、オンライン受講15名)【受講料】2年会員 11,940円 1年会員 13,370円 聴講生 17,660円 (野外学習安全費用500円を含みます。)			
	学び・歩くかわさき(川崎学) 【時間】座学は13時30分～15時00分、野外学習は13時30分～15時30分、5/12は午前・午後各2時間(計12回)			
概要	多摩川右岸下流域に沿って形成されている川崎市域は、自然学的・人文学的にも魅力的な素材に恵まれています。その魅力の源泉を探れば、市域外の事象とも深く関連しています。この講座は、それらを学び・歩いて再発見するものです。前期は、時代的には中世～近現代で、見学対象分野は寺社、城址、インフラ、都市計画などについて学びます。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/14(水)	川崎市生涯学習プラザ	川崎市周辺の中世の城郭 小机城を中心に	横浜市立歴史博物館 学芸員 阿諏訪 青美
2	4/21(水)	野外学習	小机城址周辺をめぐる 臥龍山雲松院(小机城代笠原氏墓所)	
3	4/28(水)	川崎市生涯学習プラザ	大山信仰と大山街道	伊勢原市文化財保護審議会委員 川島敏郎
4	5/19(水)	野外学習	津久井道を歩く(登戸周辺) 北向観音 登戸稲荷社 丸山教本庁 長念寺	元大山街道ふるさと館副館長 對馬醇一
5,6	5/26(水)		宿坊街から大山阿夫利神社下社へ こま参道 大山寺	伊勢原市文化財保護審議会委員 川島敏郎
7	6/9(水)	川崎市生涯学習プラザ	川崎の都市計画	川崎市まちづくり局都市計画課 伊東 左江子
8	6/23(水)	川崎市生涯学習プラザ	白洲次郎・正子と武相荘—カントリージェントルマン像を探る	観光文化創造研究所所長 梶 亨
9	6/30(水)	野外学習	小田急線鶴川駅—お灸殿—武相荘と散策路	
10	7/7(水)	川崎市生涯学習プラザ	川崎の近代都市計画	産業遺産情報センター 研究主幹 伊東 孝
11	7/14(水)	野外学習	関連する場所と地域	
12	7/21(水)	野外学習	向河原駅周辺	川崎市まちづくり局都市計画課 伊東 左江子

オンライン受講生を含めた受講登録者数 50名 (男性 34名 女性 16名) 出席者総数 503名

後期

講座 16	かわさきの歴史や文化を多角的に学び・歩いて再発見してみよう⑪			オンライン併用
	【定員】50名(うち会場定員35名)【受講料】2年会員 11,940円 1年会員 13,370円 聴講生 17,660円 (野外学習安全費用500円を含みます。)			
	学び・歩くかわさき(川崎学) 【時間】座学は13時30分～15時00分、野外学習は13時30分～15時30分(計12回)			
概要	多摩川右岸下流域に沿って形成されている川崎市域は、自然学的・人文学的にも魅力的な素材に恵まれています。その魅力の源泉を探れば、市域外の事象とも深く関連しています。この講座は、それらを学び・歩いて再発見するものです。後期は、時代的には中世～近現代で、見学対象分野は寺社、城址、インフラ、都市計画などについて学びます。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/6(水)	川崎市生涯学習プラザ	浮世絵に描かれた東海道藤沢宿と江の島(藤沢宿を中心に)	藤沢市藤沢浮世絵館 学芸員 細井 守
2	10/13(水)	野外学習	江の島道を歩く(藤沢駅～江ノ島弁財天道標～馬喰橋～岩屋不動～上諏訪神社～一蓮上人地蔵堂跡 龍口寺～片瀬江ノ島駅)	
3	10/20(水)	川崎市生涯学習プラザ	金沢北条氏と称名寺、金沢文庫	神奈川県立金沢文庫 学芸員 山地 純
4	10/27(水)	野外学習	近世の金沢道(金沢文庫 称名寺 龍華寺 明治憲法草創碑 瀬戸神社 金沢八景駅)	
5	11/10(水)	川崎市生涯学習プラザ	大師道と大師詣で	川崎区誌研究会 代表 小泉茂造
6	11/17(水)	野外学習	大師道を歩く(港町駅～徳泉寺～医王寺～池上家墓所～若宮神社～川崎大師～明長寺～千蔵寺～東門前駅)	
7	12/1(水)	川崎市生涯学習プラザ	川崎の下水道の仕組みとその歩み	日本地名研究所 研究員 菊地恒雄
8	12/8(水)	野外学習	渋川・江川せせらぎを歩く 旧渋川～渋川雨水貯留管流入口(外観)～矢上川～江川せせらぎ・江川雨水貯留管～井田営業所	
9	12/15(水)	川崎市生涯学習プラザ	津久井分水池と川崎水道・横浜水道、および相模原畑地灌漑事業	産業遺産情報センター 研究主幹 伊東 孝
10	12/22(水)	野外学習	相模原市の横浜水道道および戦後の相模原畑地灌漑事業の遺構	
11	1/19(水)	川崎市生涯学習プラザ	川崎の上水道について	川崎市上下水道局経営戦略・危機管理室 (企画調整・水道技術)担当係長 松永隆宏
12	1/26(水)		川崎の下水道について	川崎市上下水道局経営戦略・危機管理室 (企画調整・下水道技術)担当係長 高木一浩

受講登録者数 50名 (男性 33名 女性 17名) 出席者総数 521名

前期

WS 6	街角の文化遺産に学ぶ一地名は大地に刻まれた歴史の索引		※座学と野外学習	
		【定員】30名	【受講料】2年・1年会員ともに 10,010円	聴講生 11,440円
概要	【ワークショップ】まち歩き(川崎学)【時間】毎回 座学は10時30分～12時00分、野外学習は10時00分～12時00分(計7回)			
概要	地名は生活に溶け込み、水や空気と同じようにあって当たり前の存在である。その意味を知ることで、歴史的歩みや文化のあったことがわかる。また、地名は過去の自然災害を確認する大切な指標である。地名の捉え方を知り、町を歩いて調べ、身近に地名を知る手がかりのあることを学ぶ。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/21(水)	川崎市生涯学習プラザ	土地への名づけ—大きな地名・小さな地名	成城大学名誉教授 田中 宣一
2	4/28(水)	現地	渡田・成就院と新田神社付近を歩く(歴史地名)	川崎区誌研究会代表 小泉 茂造 日本地名研究所研究員 菊地恒雄
3	5/26(水)	川崎市生涯学習プラザ	信仰地名論よもやま話	日本地名研究所所長 金田 久璋
4	6/2(水)	現地	中丸子・神明神社付近を歩く(民俗地名)	日本地名研究所研究員 菊地恒雄
5	6/16(水)	川崎市生涯学習プラザ	多摩川の氾濫によってできた川崎市域とその地名	
6	6/23(水)	現地	宿河原・下ヶ網(さげつな)地区を歩く(自然地名・伝承地名)	
7	7/7(水)	川崎市生涯学習プラザ	気になる地名 私のルーツ・消えてしまった地名・町会名など	

※4/21(水)講座開始前の10時00分より30分間オリエンテーション(野外学習についての連絡等)を実施。
受講登録者数 30名 (男性 16名 女性 14名) 出席者総数 186名

後期

WS 5	街角の文化遺産に学ぶ一糸を紡ぐ・養蚕業		※座学と野外学習	
		【定員】30名	【受講料】2年・1年会員ともに 10,010円	聴講生 11,440円
概要	【ワークショップ】まち歩き(川崎学)【時間】毎回 座学は10時30分～12時00分、野外学習は10時00分～12時00分(計7回)			
概要	桑の木を見ることがなくなった。かつて川崎市域の北部では盛んに養蚕業が行われ、多くの農家は家の2階に蚕室を持ち、蚕を中心とした生活を営んでいた。岡上にあつた蚕影山祠堂は日本民家園に移築され、その歴史の一部を知ることができる。しかし、川崎や東京都西部地区、横浜において大きな産業としての養蚕業や織物業が存在したことを学習する。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	9/29(水)	川崎市生涯学習プラザ	川崎市域の養蚕業と他地域との交流	日本地名研究所研究員 菊地恒雄
2	10/6(水)	川崎市生涯学習プラザ	蚕をめぐる民俗	筑波学院大学名誉教授 坂本 要
3	10/13(水)	現地	宿河原村常照寺 関山五郎右衛門墓碑 日本民家園 蚕影山祠堂	日本地名研究所研究員 菊地恒雄
4	10/27(水)	川崎市生涯学習プラザ	国内蚕糸業のあゆみ	
5	11/10(水)	川崎市生涯学習プラザ	桑都八王子の蚕糸関連の話	多摩織 伝統工芸士 澤井 伸
6	11/24(水)	現地	澤井織物工場見学(八王子市高月)	
7	12/1(水)	川崎市生涯学習プラザ	蚕を中心とした生活 繭掻き唄、糸とり唄、蚕の歌	日本地名研究所研究員 菊地恒雄

※9/29(水)講座開始前の10時00分より30分間オリエンテーション(野外学習についての連絡等)を実施。
※第6回11/24(水)の見学は、多摩織しおり付き見学費用1名につき500円を別途集金。
受講登録者数 29名 (男性 12名 女性 17名) 出席者総数 182名

前期

講座 17	近代日本の民衆運動・市民運動		オンライン併用	
		【定員】71名	【受講料】2年会員 11,440円	1年会員 12,870円
概要	政治・社会 【時間】毎回 13時00分～14時30分(計12回)			
概要	近代日本の歴史を振り返ると、そのポイントポイントで、重要な民衆運動・市民運動が起きていることがわかります。そのような運動はなぜ発生し、いかなる影響を持ったのでしょうか。さらにそのような運動は民主的な参加や異議申し立ての機会となると同時に、時に破壊や暴力をもたらしました。そのような運動の意義について、あらためて考えてみたいと思います。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/14(水)	川崎市生涯学習プラザ	イントロダクション	東京大学教授 宇野重規
2	4/21(水)		自由民権運動—近代化のなかの民衆と知識人—	慶應義塾大学教授 松沢裕作
3	4/28(水)		大正デモクラシー—吉野作造と戦前日本の民主化—	信州大学名誉教授 都築 勉
4	5/12(水)		戦後デモクラシーと市民運動—60年安保前後の丸山眞男—	
5	5/26(水)		全学連と全共闘—新左翼と共産党—	
6	6/2(水)		ベ平連—鶴見俊輔・高島通敏・小田実—	
7	6/9(水)		環境運動—水俣と成田へ—	高千穂大学教授 五野井 郁夫
8	6/30(水)		反原発運動—福島第一原発事故と首都圏反原発連合—	
9	7/14(水)		反差別運動—反レイシズムから川崎モデルへ—	
10	7/28(水)		安保法制とSEALDs—15年安保と文化動員—	早稲田大学准教授 藤野裕子
11	8/4(水)		特別編:民衆暴力について	
12	8/11(水)		市民運動の未来—オンライン・アクティビズムから再び路上へ—	

オンライン受講生を含めた受講登録者数 48名 (男性 32名 女性 16名) 出席者総数 488名

後期

講座 17	官邸主導を問い直す		オンライン併用	
		【会場定員】71名【オンライン定員】100名	【受講料】2年会員 11,440円	1年会員 12,870円
概要	政治・社会 【時間】毎回 13時00分～14時30分(計12回)			
概要	「官邸主導」は決して安倍晋三・菅義偉政権になって急に始まったことではない。それは1990年代以降の政治改革、行政改革や公務員制度改革、あるいはそれ以前から進みつつあった事態の帰結である。「官邸主導」の意味と問題点を、気鋭の政治学者やジャーナリストがそれぞれの視点から語る。日本政治の過去・現在・未来を理解するために絶好の12講。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	9/29(水)	川崎市生涯学習プラザ	イントロダクション **オンライン講義	東京大学教授 宇野重規
2	10/6(水)		官邸主導の誕生～55年体制から小泉政権へ **オンライン講義	東京大学教授 内山 融
3	10/13(水)		官邸主導の原型～イギリス首相のリーダーシップ **オンライン講義	
4	10/27(水)		官邸主導の現在～民主党政権・安倍政権の官邸主導	
5	11/10(水)		ジャーナリストが見た小泉政権	日本経済新聞編集委員 清水真人
6	11/17(水)		ジャーナリストが見た民主党政権	
7	11/24(水)		ジャーナリストが見た安倍・菅政権	
8	12/1(水)		官邸主導がいかに成立したか～データから考える	政策研究大学院大学教授 竹中治堅
9	12/8(水)		官邸主導とコロナ対応	
10	12/15(水)		執行権を問い直す～政治思想の視点から	東京大学教授 宇野重規
11	1/19(水)		「官邸主導」はよかつた:橋本龍太郎と小泉純一郎	東京大学教授 牧原 出
12	2/2(水)		「官邸主導」はダメだった:2010年代	

講登録者数 98名 (男性 76名 女性 22名) 出席者総数 694名

前期

WS 7	民主主義の歴史と新型コロナ			オンライン併用
	【定員】30名		【受講料】2年・1年会員ともに14,300円 聴講生15,730円	
	【ワークショップ】政治・社会 【時間】毎回15時00分～17時00分(計10回)			
概要	民主主義とは何でしょうか。民主主義とは多数決であると言われる一方、少数者の権利を守るのが民主主義とされることもあります。代議制民主主義こそが現代において可能な唯一の民主主義であると語られる一方、民主主義は選挙に尽きるものではないとも指摘されます。これらの問いにどう答えることができるのか、古代ギリシアから現代までの民主主義の歴史と思想を検討します。合わせて新型コロナウイルスが民主主義に与えたインパクトについても考えます。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/14(水)	川崎市 生涯学習 プラザ	イントロダクション	東京大学教授 宇野重規
2	4/21(水)		民主主義の危機	
3	4/28(水)		古代ギリシアにおける民主主義の「誕生」	
4	5/12(水)		近代ヨーロッパにおける民主主義の「継承」①アメリカ独立革命	
5	5/26(水)		近代ヨーロッパにおける民主主義の「継承」②フランス革命	
6	6/2(水)		自由主義との結合①トクヴィル	
7	6/9(水)		自由主義との結合②ミル	
8	6/23(水)		20世紀における民主主義の「実現」	
9	6/30(水)		コロナと民主主義①	
10	7/7(水)		コロナと民主主義②	

*テキスト：『民主主義とは何か』（講談社現代新書）
オンライン受講生を含めた受講登録者数 34名（男性 24名 女性 10名）出席者総数 316名

後期

WS 6	フランス・フクヤマ『政治の起源』を読む			オンライン併用
	【定員】30名		【受講料】2年・1年会員ともに14,300円 聴講生15,730円	
	【ワークショップ】政治・社会 【時間】毎回15時00分～17時00分(計10回)			
概要	フランス・フクヤマの後期代表作『政治の起源』を教材とし、政治制度の発展を人類誕生からたどり直す。政治制度の最終形態である自由な民主主義には「国家機構」、「法の支配」、「説明責任を負う民主的な政府」が必要だとフクヤマは考えた。この3つが地球上の各所でダイナミックに発展していく姿をフクヤマの理解に即して追う。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	9/29(水)	川崎市 生涯学習 プラザ	フランス・フクヤマの紹介とテキストについて	関西大学客員教授 会田 弘継
2	10/6(水)		序論・国家以前「自然状態」は家族・群れに始まる (2、3章)	
3	10/13(水)		中国における「国家」の誕生と家産制の弊害 (7～9章)	
4	10/27(水)		インドの弱い「国家」と「法の支配」の初期形態 (10、12章)	
5	11/10(水)		オスマン帝国における軍事奴隷制度と家産制 (13、14章)	
6	11/17(水)		「法の支配」の欧州における発展、中国における失敗(1) (17、18章)	
7	11/24(水)		「法の支配」の欧州における発展、中国における失敗(2) (20、21章)	
8	12/1(水)		欧州における絶対主義の成功と失敗 (23章、25、16章)	
9	12/8(水)		「説明責任を負う民主的な政府」の誕生(1) (22、27章)	
10	12/15(水)		「説明責任を負う民主的な政府」の誕生(2) (28～30章)	

*テキスト：フランス・フクヤマ(著)、会田 弘継(翻訳)『政治の起源 上 人類以前からフランス革命まで』、『政治の起源 下 人類以前からフランス革命まで』（講談社）

受講登録者数 15名（男性 12名 女性 3名）出席者総数 137名

前期

講座 18	江戸・明治期の園芸文化—本草学・庭園・植木屋・盆栽を愛する人びと—			
	【定員】60名		【受講料】2年会員5,720円 1年会員6,435円 聴講生8,580円	
	交流館協力(歴史) 【時間】毎回14時00分～15時30分(計6回)			
概要	幕末に日本を訪れたプラントハンターの一人、イギリスの植物学者ロバート・フォーチュンは、日本の「花を愛する国民性」に驚き、日本の園芸文化を高く評価しました。コロナ禍において、家庭で園芸や菜園で心身が癒やされた方も多いことと思います。そこで、本講座では、江戸時代に発展した本草学や庭園、植木屋、盆栽などに視点をあて、江戸から明治期にかけての日本の緑と花の文化とそれを楽しんだ人々について紹介します。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	5/19(水)	東海道 かわさき宿 交流館	薬をもとめて—本草学者の採薬旅行—	台東区中央図書館郷土・資料調査室専門員 平野 恵
2	5/26(水)		江戸の大名庭園—六義園を中心に—	成城大学民俗学研究所研究員 小沢 詠美子
3	6/2(水)		武士が愛した古典菊・庶民が愛した菊細工	台東区中央図書館郷土・資料調査室専門員 平野 恵
4	6/16(水)		変化朝顔流行仕掛人—植木屋と旗本—	
5	6/23(水)		植木屋六三郎と浅草奥山の花屋敷	成城大学民俗学研究所研究員 小沢 詠美子
6	6/30(水)		江戸・明治の盆栽流行史—鉢植と盆栽—	台東区中央図書館郷土・資料調査室専門員 平野 恵

受講登録者数 22名（男性 10名 女性 22名）出席者総数 115名

後期

講座 18	川崎沿海域、近代産業の発展と産業文化遺産			
	【定員】60名		【受講料】2年会員5,720円 1年会員6,435円 聴講生8,580円	
	交流館協力(歴史) 【時間】毎回14時00分～15時30分(計6回)			
概要	川崎宿より海寄りの埋め立ては近世期からなされましたが、近代になって沿海地域の埋め立てはいつそう進み、そこに各種企業が進出し、川崎において近代産業が栄えるようになりました。本講座では、それ以前の沿海域の利用と、企業進出によってなされた地域の発展と変容、および、その数々の貴重な産業文化遺産、さらには企業の願いとして工場等に祀られている神社について考えていきます。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/13(水)	東海道 かわさき宿 交流館	漁業、海苔養殖、製塩をしていたころ	シルク博物館学芸員 高橋典子
2	10/20(水)		外に開かれていった川崎港	明治大学講師 渡辺賢二
3	10/27(水)		産業革命と川崎工業都市の形成	
4	11/10(水)		幻の大運河計画と川崎河港水門	産業遺産情報センター研究主幹 伊東 孝
5	11/24(水)		浅野総一郎と川崎・鶴見の埋立、そして産業文化遺産	
6	12/1(水)		企業の神社、産業の神々	成城大学名誉教授 田中宣一

受講登録者数 30名（男性 18名 女性 12名）出席者総数 163名

前期

講座 19	東京交響楽団の案内による音楽の楽しみ Part29			
	【定員】150名	【受講料】2年会員 15,840円	1年会員 17,270円	聴講生 21,560円
概要	川崎市フランチャイズオーケストラの『東京交響楽団』による音楽講座です。楽団員や音楽家が自ら企画したプログラムをお話しを交えて演奏します。ソロからアンサンブルまで編成も幅広く、ヴァイオリン・チェロ・オーボエ・トランペットなど様々な楽器の奥深さを知って頂けます。東京交響楽団の楽団員と共に、いろいろな音楽を学び、音を楽しみましょう。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/7(水)	川崎市産業振興会館	オーケストラの楽器①ファゴット	坂井由佳(東京交響楽団ファゴット奏者)、真室泉法(ピアノ)
2	4/21(水)		オーケストラの楽器②木管五重奏	荒木奏美(東京交響楽団首席オーボエ奏者)、近藤千花子(同、クラリネット)、宮崎由美香(フルート)、大内英介(ファゴット)、嵯峨郁恵(ホルン)
3	4/28(水)		オーケストラの楽器③ヴァイオリン DUO	森岡ゆりあ(東京交響楽団第一ヴァイオリン奏者)、木村正貴(同、第一ヴァイオリン ヲアシビーター)
4	5/26(水)		オーケストラの楽器④ピアノ・ソロ	大室晃子(ピアノ ソリスト)
5	6/2(水)		オーケストラの楽器⑤ トロンボーン四重奏	大馬直人(東京交響楽団首席トロンボーン奏者)、長谷川貴大(トロンボーン)、吉田美月(トロンボーン)、丸田和輝(トロンボーン)
6	6/9(水)		オーケストラの楽器⑥ 「オペラ黎明期の通奏低音」	樋口奏世(東京交響楽団チェロ奏者)、彌勒忠史(カウンターテナー歌手)、高木一郎(リュート奏者)
7	7/28(水)		オーケストラの楽器⑦フルート	高野成之(東京交響楽団フルート&ピッコロ奏者)、松山玲奈(ピアノ)
8	8/18(水)		オーケストラの楽器⑧トランペット	佐藤友紀(東京交響楽団首席トランペット奏者)、米本紋子(トランペット)、下田望(ピアノ)
9	8/25(水)		オーケストラの楽器⑨コントラバス・ソロ	安田修平(東京交響楽団コントラバス奏者)、米山多佳子(ピアノ)
10	9/15(水)		オーケストラの楽器⑩ コントラバス三重奏&四重奏	渡邊淳子(東京交響楽団コントラバス奏者)、佐渡谷綾子(コントラバス)、宮坂典幸(コントラバス)
11	9/29(水)	サンピアンかわさき	オーケストラの楽器⑪ 弦楽八重奏	土屋杏子(東京交響楽団第一ヴァイオリン奏者)、小関郁(第一ヴァイオリン)、福留史織(第二ヴァイオリン/アシビーター)、大塚百合菜(ヴァイオリン)、青木篤子(東京交響楽団首席ヴァイオリン奏者)、長谷山博史(ヴァイオリン)、蟹江慶行(東京交響楽団チェロ奏者)、山梨浩子(チェロ)

受講登録者数 133名 (男性 63名 女性 70名) 出席者総数 1,266名

後期

講座 19	東京交響楽団の案内による音楽の楽しみ Part30			
	【定員】150名	【受講料】2年会員 15,840円	1年会員 17,270円	聴講生 21,560円
概要	川崎市フランチャイズオーケストラの『東京交響楽団』による音楽講座です。楽団員や音楽家が自ら企画したプログラムをお話しを交えて演奏します。ソロからアンサンブルまで編成も幅広く、ヴァイオリン・チェロ・オーボエ・トランペットなど様々な楽器の奥深さを知って頂けます。東京交響楽団の楽団員と共に、いろいろな音楽を学び、音を楽しみましょう。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/6(水)	川崎市産業振興会館	オーケストラの楽器①オーボエ	荒木奏美(東京交響楽団首席オーボエ奏者)、宇根美沙恵(ピアノ奏者)
2	10/27(水)		オーケストラの楽器②ヴァイオリン	中村楓子(東京交響楽団第一ヴァイオリン奏者、井上響子(ピアノ奏者)
3	11/17(水)		オーケストラの楽器③ ピアノ・ソロ「フレデリック・ショパン 4曲のバラード」	大室晃子(ピアノ奏者)
4	11/24(水)		オーケストラの楽器④サクソフォン四重奏	松原孝政(ソプラノ・サクソフォン)、波多江史朗(アルト・サクソフォン) 田中万樹子(テナー・サクソフォン)、東涼太(バリトン・サクソフォン)
5	12/8(水)	サンピアンかわさき	オーケストラの楽器⑤弦楽器	田尻順(東京交響楽団アシスタント・コンサートマスター)、竹田詩織(東京交響楽団第二ヴァイオリン奏者)、青木篤子(東京交響楽団首席ヴァイオリン奏者)、福崎茉莉子(東京交響楽団チェロ奏者)、北村一平(東京交響楽団コントラバス/アシビーター)
6	2/2(水)	川崎市産業振興会館	オーケストラの楽器⑥クラリネット	近藤千花子(東京交響楽団クラリネット奏者)、宇根美沙恵(ピアノ奏者)
7	2/9(水)		オーケストラの楽器⑦ヴァイオリン	武生直子(東京交響楽団ヴァイオリン奏者)、松岡あさひ(ピアノ奏者)
8	2/16(水)		オーケストラの楽器⑧ヴァイオリン&ハーブ	廣岡克隆(東京交響楽団首席アシスタント・コンサートマスター) 池城菜香(ハーブ奏者)
9	3/2(水)		オーケストラの楽器⑨ホルン・ピアノ・ヴァイオリン・朗読	大野雄太(朗読・東京交響楽団首席ホルン奏者)、川瀬由紀子(ピアノ奏者)、中村楓子(東京交響楽団第一ヴァイオリン奏者)、寺門祐介(朗読)
10	3/16(水)		オーケストラの楽器⑩ヴァイオリン	竹田詩織(東京交響楽団第二ヴァイオリン奏者)、吉武優(ピアノ奏者)
11	3/24(木)		オーケストラの楽器⑪ヴァイオリン&チェロ	鈴木浩司(東京交響楽団第二ヴァイオリン奏者)、蟹江慶行(東京交響楽団チェロ奏者)

受講登録者数 144名 (男性 65名 女性 79名) 出席者総数 1402名

前期

WS 8	水彩画を描く一技法を基本から学ぶ ※実技が中心。第1回前半のみ講義			
	【定員】20名	【受講料】2年・1年会員・聴講生ともに 27,810円	(静物画モチーフ、人物画モデル代として 3,500円を含みます。)	
概要	【ワークショップ】芸術 【時間】 毎回 17時00分～19時30分 (計10回) 水彩画は親しみやすい絵画の入口です。制作を通して水彩画の基本的な技法と造形的なものを見方を理解し、自らのみずみずしい感性の発見と創造の楽しさを知ります。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/14(水)	川崎市生涯学習プラザ	静物 A 講義および制作 (1)鉛筆による下素描。絵具によるキアロスクーロ。(単色の明暗対比、空間の表現)	NHK文化センター講師 佐藤道子
2	4/21(水)		静物 A (2)固有色の注意深い観察。色調の調和と対比を試みる。	
3	4/28(水)		静物 B (1)鉛筆による下素描。絵具によるキアロスクーロ。(単色の明暗対比、空間の表現)	
4	5/12(水)		静物 B (2)固有色の観察し、自分らしい調和を試みる。	
5	5/19(水)		人物 A (1)鉛筆による下素描。人体の比例、動き、量感を捉える。淡色彩色によるキアロスクーロ。(単色で大まかな明暗を施す)	
6	5/26(水)		人物 A (2)色彩と形態を観察し描き進める。	
7	6/9(水)		人物 C 裸婦画	
8	6/16(水)		人物 C (1)鉛筆による下素描。人体の比例 動き 量感を捉える。淡色彩色によるキアロスクーロ(単色で大まかな明暗を施す)	
9	6/23(水)		人物 C (2)色彩と筆致を生かし、自分らしい表現を試みる。	
10	7/7(水)		講評会 これまで描いた作品についての受講生のスピーチと、講師の講評。	

受講登録者数 16名 (男性 8名 女性 8名) 出席者総数 154名

後期

WS 7	油絵を描く一技法を基本から学ぶ ※実技が中心。第1回前半のみ講義			
	【定員】20名	【受講料】2年・1年会員・聴講生ともに 28,310円	(静物画モチーフ、人物画モデル代として 4,000円を含みます。)	
概要	【ワークショップ】芸術 【時間】 毎回 17時00分～19時30分 (計10回) 初心者から経験者も含めて、絵の具や溶き油など、絵画材料について理解しながら、1回ごとの描画プロセスを積み重ねて描き進めていきます。みずからの感覚とおして観察し描いていくことで、創造の楽しさを発見します。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	9/29(水)	川崎市生涯学習プラザ	パワーポイント講義(絵画材料と用具の説明。木炭素描から始まる描画プロセス) 1 制作の開始。キャンバスに木炭素描と定着。構図を決定する。	NHK文化センター講師 佐藤道子
2	10/6(水)		静物 2 イエローオーカーなどの土性絵具による下層描き。単色で大まかな明暗をつける。(キアロスクーロ)	
3	10/13(水)		静物 3 有彩色絵具による彩色。積極的に絵具を塗り、固有色の観察と全体の調和を試みる。	
4	10/20(水)		人物・着衣 1 木炭での下素描。イエローオーカーなどの土性絵具による明暗対比表現(キアロスクーロ)	
5	10/27(水)		人物・着衣 2 明部を白色絵具や有彩色絵具で塗り、立体感や空間感を出す。	
6	11/10(水)		人物・着衣 3 2の下層描きに観察した固有色を重ね、大きな見方で対象に迫る。油絵具の質感、筆致を生かす。	
7	11/17(水)		人物・裸婦 1 木炭での下素描。イエローオーカーなどの土性絵具による明暗対比表現(キアロスクーロ)	
8	11/24(水)		人物・裸婦 2 明部を白色絵具と有彩色絵具で塗る。人体の立体感や皮膚の質感を観察して描き進める。	
9	12/1(水)		人物・裸婦 3 2の下層描きに観察した固有色を重ね、大きな見方で絵具を積極的につけ筆致を生かして対象に迫る。	
10	12/15(水)		講評会 これまで描いた作品についての受講生のスピーチと、講師の講評。	

受講登録者数 16名 (男性 9名 女性 7名) 出席者総数 155名

前期

講座 20	SDGs時代の環境・みどり・防災			オンライン併用
	【定員】35名	【受講料】2年会員 11,440円 1年会員 12,870円	聴講生 17,160円	
概要	環境とみどり 【時間】 毎回 10時15分～12時00分 (計12回)			
概要	自然災害の頻発やパンデミックが発生する中、私たち人類は持続可能な社会を構築するためにさしあたり SDGs を掲げて進むことになりました。SDGs はもう一つの目的としてレジリエントな社会の構築も掲げています。こうした時代に私たちはどのような知識を得てどのように行動したらよいのか。この講座ではみどりの課題を中心に、環境学や防災学の新しい知識をやさしく学びます。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/15(木)	川崎市生涯学習プラザ	講座の紹介/レジリエントな社会を目指して	東京大学名誉教授 太田 猛彦
2	4/22(木)		ナラ枯れ病の原因と防除法	神戸大学教授 黒田慶子
3	5/13(木)		東大式 癒しの森のつくり方	東京大学講師 齋藤暖生
4	5/20(木)		「空飛ぶクルマ」をめぐる動きと今後の課題	A N A 総合研究所顧問 高野 滋
5	5/27(木)		下水ウイルスモニタリングの最新研究動向	東京大学大学院教授 片山浩之
6	6/3(木)		森の香りを科学する	森林総合研究所領域長 大平辰朗
7	6/10(木)		巨大森林火災と地球環境	東京大学教授 熊谷朝臣
8	6/17(木)		不確実性を増す社会での首都直下地震と南海トラフ巨大地震への備え	東京大学名誉教授 平田直
9	6/24(木)		流域治水構想について	東京工業大学名誉教授 石川忠晴
10	7/1(木)		森林環境(譲与)税の位置づけと使い方	東京大学教授 蔵治 光一郎
11	7/8(木)		なぜ、いま木材、木の建築なのか	東京大学名誉教授 有馬孝禮
12	7/15(木)		土砂災害の実態と対策/前期のとりまとめ	東京大学名誉教授 太田 猛彦

オンライン受講生を含めた受講登録者数 62名 (男性 42名 女性 20名) 出席者総数 672名

後期

講座 20	SDGs時代の環境・みどり・防災			オンライン併用
	【会場定員】35名	【オンライン定員】100名	【受講料】2年会員 11,440円 1年会員 12,870円	聴講生 17,160円
概要	環境とみどり 【時間】 毎回 10時15分～12時00分 (計12回)			
概要	自然災害の頻発やパンデミックが発生する中、私たち人類は持続可能な社会を構築するためにさしあたり SDGs を掲げて進むことになりました。SDGs はもう一つの目的としてレジリエントな社会の構築も掲げています。こうした時代に私たちはどのような知識を得てどのように行動したらよいのか。この講座ではみどりの課題を中心に、環境学や防災学の新しい知識をやさしく学びます。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/7(木)	川崎市生涯学習プラザ	講座の紹介	東京大学名誉教授 太田猛彦
2	10/14(木)		世界自然遺産「奄美大島、徳之島、沖縄島北部および西表島」その価値と保全	東京女子大学名誉教授 石井信夫
3	10/21(木)		福島で放射性物質はどのように動いてきたのか?	森林総合研究所主任研究員 橋本昌司
4	10/28(木)		宇宙から河川を測る	東京大学准教授 山崎 大
5	11/4(木)	立川市	★野外研修: 国営昭和記念公園	東京大学名誉教授 太田猛彦
6	11/11(木)	川崎市生涯学習プラザ	東大演習林の森林生態系紹介	東京大学教授 蔵治 光一郎
7	11/18(木)		日本の食が危ない! 私たちの未来は守れるか	東京大学教授 鈴木宣弘
8	11/25(木)		うんちの過去・現在・未来～下水道が目指すカーボンニュートラルな未来	中央大学教授 山村 寛
9	12/2(木)		身近な森林と健康づくり-川崎での森林浴を考える	東京農業大学教授 上原 巖
10	12/9(木)		富士山の噴火に備える	山梨県富士山科学研究所 富士山火山防災研究センター長 吉本充宏
11	12/16(木)		激甚化する豪雨災害の特徴と備え	東京理科大学教授 二瓶泰雄
12	1/27(木)		後期講座の取りまとめ	東京大学名誉教授 太田猛彦

※第5回(11/4)は講座とワークショップの合同講座

受講登録者数 55名 (男性 35名 女性 20名) 出席者総数 585名

前期

WS 9	身近なことから持続可能な社会と環境を学ぶ ★は野外学習			オンライン併用
	【定員】40名 (うち会場定員 35名)	【受講料】2年・1年会員ともに 11,540円	聴講生 12,970円 (野外学習安全費用 100円を含みます。)	
概要	環境とみどり 【時間】 毎回 13時15分～15時15分 (計12回)ただし、野外学習及び第12回は16時頃終了となります。今期は、2019年台風19号被災と対策、川崎市の環境関連の新たな諸施策を中心に座学を実施します。野外学習については2020年度後期にはほとんど実施できませんでしたが、新型コロナウイルス感染症対策を考慮した内容で再開します。これらの多彩な内容を受講生が協力して準備しました。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/15(木)	川崎市生涯学習プラザ	はじめのワークショップ	東京大学名誉教授 太田猛彦
2	4/22(木)	寺家ふるさと村周辺	★春の植物観察とその生育立地	多摩丘陵舎 北川淑子
3	5/13(木)	川崎市生涯学習プラザ	脱炭素戦略「かわさきカーボンゼロチャレンジ 2050」	川崎市環境局地球環境推進室
4	5/20(木)		川崎市プラスチック資源循環への対応方針～プラスチックごみの削減に向けて～	川崎市環境局生活環境部 廃棄物政策担当
5	6/3(木)	県立大船フラワーセンター	★日比谷花壇のプロが提案する「花と緑のライフスタイル」を体験	神奈川県立大船フラワーセンター職員
6	6/10(木)	川崎区	★環境にやさしい都市交通～路面電車(川崎市電)の痕跡を訪ね歩く～	法政大学講師、産業考古学会理事 中川 洋
7	7/1(木)	川崎市生涯学習プラザ	浸水被害の軽減に向けた川崎市上下水道局の取組について	川崎市上下水道局下水道部
8	7/8(木)		川崎市市民ミュージアム～令和元年東日本台風 被災した収蔵品のレスキュー活動について～	川崎市市民文化局市民文化振興室 収蔵品修復調整担当
9	7/29(木)	トカイナカヴィレッジ	★ トカイナカヴィレッジで農業体験～夏野菜の植え付け～	トカイナカヴィレッジ 村役場助役 西山雅也
10	9/2(木)	川崎市生涯学習プラザ	シデゴブシ・ハナノキ・ヒツパタゴ 東海丘陵に秘められた日本列島の歴史	樹木医 石井誠治
11	9/9(木)		さいたま緑のトラスト運動と環境保全～生物多様性を考える～	公益財団法人さいたま緑のトラスト協会 理事 小峯 昇
12	9/16(木)		ワークショップのまとめ	東京大学名誉教授 太田猛彦

オンライン受講生を含めた受講登録者数 20名 (男性 11名 女性 9名) 出席者総数 211名

後期

WS 8	身近なことから持続可能な社会と環境を学ぶ ★は野外学習			オンライン併用
	【定員】40名 (うち会場定員 35名)	【受講料】2年・1年会員ともに 11,540円	聴講生 12,970円 (野外学習安全費用 100円を含みます。)	
概要	環境とみどり 【時間】 毎回 13時15分～15時15分 (計12回)ただし、野外学習及び第12回は16時頃終了となります。第5回の合同講座は午前中スタートです。今期は、2019年台風19号災害を含めた河川に関すること、みどりの種々のかわり、環境にやさしい鉄道や新しいリサイクル活動などを学びます。これらの多彩な内容を受講生が協力して準備しました。			
回	月/日(曜)	備考	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/7(木)	川崎市生涯学習プラザ	はじめのワークショップ	東京大学名誉教授 太田猛彦
2	10/14(木)		川崎市の「里山ボランティア育成講座」を計画・実践して	川崎市公園緑地協会 緑の推進支援係 緑の専門職 野牛雪子
3	10/21(木)	根川緑道(立川市)	★ 下水高度処理水を利用した清流と水辺環境の回復	立川市公園緑地課 西澤功典
4	10/28(木)	川崎市生涯学習プラザ	学校給食牛乳パックリサイクルに向けての活動と経過～SDG s カードゲームで3 R 体験～	3推進Rプロジェクト 庄司佳子 全国牛乳容器環境協議会 川崎市環境局減量推進課
5	11/4(木)	昭和記念公園	★【合同講座】国営昭和記念公園～多摩丘陵の植物観察～	東京大学名誉教授 太田猛彦
6	11/11(木)	川崎市生涯学習プラザ	土砂災害に備えて	関東地方整備局河川計画課 課長補佐 菊池 瞳
7	11/18(木)	二子玉川ライズ	★ 街と自然が共存した空間をめざした屋上ガーデンを訪ねる～多摩川と多摩丘陵が作り出す自然環境～	東急株式会社二子玉川ライズ タウンマネージメントチーム 杉本義夫
8	11/25(木)	川崎市生涯学習プラザ	多摩川トライアングルでたくましく生きる動物たち	映像制作会社 つばめプロ 平野伸明
9	12/2(木)		川崎市の河川整備の取り組みについて	川崎市建設緑政局
10	12/9(木)	大山街道ふるさと館 二ヶ領用水、他	★大山街道ふるさと館で街道を学び二ヶ領用水円筒分水、平瀬川・多摩川合流地点で治水を学ぶ	大山街道ふるさと館 職員
11	12/16(木)	幸区	★ 環境にやさしい 鉄道貨物輸送の最前線と廃線跡をあぐる	法政大学文学部兼任講師 中川 洋
12	1/27(木)	川崎市生涯学習プラザ	ワークショップのまとめ	東京大学名誉教授 太田猛彦

※第5回(11/4)は講座とワークショップの合同講座

受講登録者数 22名 (男性 13名 女性 9名) 出席者総数 285名

前期

講座 21		人間学再論—生老病死の思想			オンライン併用
【定員】71名		【受講料】2年会員 11,440円 1年会員 12,870円 聴講生 17,160円			
人間学		【時間】毎回 13時00分～14時30分 (計12回)			
概要		生・老・病・死は、生きものとして「おのずから」のことであるが、人間は他の生きものと違って、それを「みずから」受けとめ、対応することができる。そこに多彩で豊かな人間模様がある。ここでは、そうしたことを人間学再論として縦横に論じてもらう。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)	
1	4/15(木)	川崎市生涯学習プラザ	やまと言葉で哲学する① おかげ・ほほえみ・いかり、他	東京大学名誉教授 竹内整一	
2	4/22(木)		やまと言葉で哲学する② ただしさ・たしなみ・うらみ、他		
3	5/13(木)		精神科医キューブラー・ロスが見た死と死後の世界	作家 田口 ランディ	
4	5/20(木)		「あの世」は何を投射しているか——認知宗教学からの考察	国学院大学名誉教授 井上順孝	
5	5/27(木)		からだところの健康学	軽井沢病院 総合診療科医長 稲葉俊郎	
6	6/3(木)		科学としての死から、文化としての死へ①	哲学者 内山 節	
7	6/10(木)		科学としての死から、文化としての死へ②		
8	6/17(木)		自分が自分であるための思考のレシピ	前お茶の水女子大学長 羽入 佐和子	
9	6/24(木)		本を出すということ	前筑摩書房社長 山野浩一	
10	7/1(木)		産霊(むすひ)と無常——神道と仏教の死生観について	京都大学名誉教授 鎌田東二	
11	7/8(木)		日本人の死生観をめぐって	東京大学教授 河部 直	
12	7/15(木)		作陶のさきに見えるもの——美そして存在への問い	陶芸家 矢津田 義則	

オンライン受講生を含めた受講登録者数 68名 (男性 35名 女性 33名) 出席者総数 688名

後期

講座 21		人間学再論—生・老・病・死の哲学			オンライン併用
【会場定員】71名		【オンライン定員】100名			【受講料】2年会員 11,440円 1年会員 12,870円 聴講生 17,160円
人間学		【時間】毎回 13時00分～14時30分 (計12回)			
概要		われわれは、なにを願ひ、なにを楽しみ、なにを悲しみ、それらをどのように求めたり、表現したりしているのだろうか。このような問いを、あらためて生老病死の思想という視点からそれぞれの分野の講師にじっくり語ってもらいます。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)	
1	10/7(木)	川崎市生涯学習プラザ	「祈ることは思い出すこと」論	東京大学名誉教授 竹内整一	
2	10/14(木)		九鬼周造の死と生の思想	日本女子大学名誉教授 田中久文	
3	10/21(木)		魂の行方①	哲学者 内山 節	
4	10/28(木)		魂の行方②		
5	11/11(木)		在宅ひとり死のススメ	東京大学名誉教授 上野 千鶴子	
6	11/18(木)		現代日本人と死生観	東京大学名誉教授 島園 進	
7	11/25(木)		平凡な死	評論家 芹沢俊介	
8	12/2(木)		ギリシア哲学における生き方・死に方	東京大学教授 納富信留	
9	12/9(木)		いま「人間の終焉」がどうして問題なのか?	玉川大学名誉教授 岡本 裕一郎	
10	12/16(木)		「老い」を生きることの意味——世代責任の視点	老成学研究所代表 森下直貴	
11	1/20(木)		人生100年、自分をどう表現するか	ハリウッド大学院大学教授 佐藤綾子	
12	1/27(木)		「切なさ」について考える	東京大学名誉教授 竹内整一	

受講登録者数 102名 (男性 54名 女性 48名) 出席者総数 995名

前期

WS 10		三島由紀夫『近代能楽集』を読む			*講義の後に討論あり	オンライン併用
【定員】30名		【受講料】2年・1年会員ともに 17,160円			聴講生 18,590円	
【ワークショップ】人間学		【時間】毎回 15時00分～17時00分 (計12回)				
概要		三島由紀夫が能楽を近代劇に翻案し、海外でも上演され好評を博した戯曲を、原典の謡曲に重ねて読むことによって、時空をこえたテーマの展開の面白さを、映像をまじえて味わいたいと思います。				
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)		
1	4/15(木)	川崎市生涯学習プラザ	①「邯鄲」を読む——夢と現実の反転	東京大学名誉教授 竹内整一		
2	4/22(木)		観世元雅「邯鄲(かんたん)」を読む			
3	5/13(木)		②「綾の鼓」を読む——「あと一つ打ちさえすれば」			
4	5/20(木)		世阿弥「綾鼓(あやのつづみ)」を読む			
5	5/27(木)		③「卒塔婆小町」を読む——九十九歳の小町の青春			
6	6/3(木)		観阿弥「卒塔婆小町(そとばこまち)」を読む			
7	6/10(木)		④「葵上」を読む——嫉妬心のゆくえ			
8	6/17(木)		世阿弥「葵上(あおいのうえ)」を読む			
9	6/24(木)		⑤「班女」を読む——「日本中世の色狂いは品格がある」			
10	7/1(木)		世阿弥「班女(はんじょ)」を読む			
11	7/8(木)		⑥「道成寺」を読む——煩惱と解脱のあわい			
12	7/15(木)		作者不詳「道成寺」を読む			

*テキスト 三島由紀夫『近代能楽集』(新潮文庫) + 原典コピー

オンライン受講生を含めた受講登録者数 26名 (男性 10名 女性 16名) 出席者総数 273名

後期

WS 9		三木清『人生論ノート』を読む			オンライン併用
【定員】30名		【受講料】2年・1年会員ともに 17,160円			聴講生 18,590円
【ワークショップ】人間学		【時間】毎回 15時00分～17時00分 (計12回)			
概要		三木清の名著『人生論ノート』(新潮文庫本はすでに、100刷りをこえています)を一章ずつ丁寧に読み解いていきます。人間やその人生を、深く静かに見つめ、そこから真の生き方を見出していくという姿勢は、今なお新鮮で多くのことを考えさせます			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)	
1	10/7(木)	川崎市生涯学習プラザ	三木清「人生論ノート」入門 (三木の生涯とその思想)	日本女子大学名誉教授 田中久文	
2	10/14(木)		「死について」		
3	10/21(木)		「幸福について」		
4	10/28(木)		「虚栄心について」		
5	11/11(木)		「名誉心について」		
6	11/18(木)		「怒りについて」		
7	11/25(木)		「人間の条件について」		
8	12/2(木)		「孤独について」		
9	12/9(木)		「嫉妬について」		
10	12/16(木)		「成功について」		
11	1/20(木)		「健康について」		
12	1/27(木)		「希望について」		

*テキスト:『人生論ノート』、新潮文庫 三木 清 473円(税込)

受講登録者数 19名 (男性 9名 女性 10名) 出席者総数 186名

前期

講座 22	モーザルト家三代の人物像と音楽を語る			
	【定員】150名 【受講料】2年会員 11,990円 1年会員 13,420円 聴講生 17,710円			
	音楽Ⅰ 【時間】毎回10時40分～12時10分 (計12回)			
概要	近年のモーザルト研究は、モーザルト自身の作品と生涯に多角から多面的に照明を当てているばかりでなく、彼の周辺にも広く注目している。とりわけ父親レーオポルトと息子のフランツ・クサーヴァーに対する関心も重要である。モーザルト一家の人物像そして音楽活動にそうしたあらたなアプローチを試みてみよう。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/8(木)	新百合21ビルB2多目的ホール	ザルツブルク宮廷音楽家レーオポルト・モーザルトの音楽活動	日本モーザルト研究所 所長 海老澤 敏
2	4/15(木)		レーオポルトの名著『ヴァイオリン教程』の射程	
3	5/13(木)		父親による神童ヴォルフガングの天才発見	
4	5/20(木)		一家あるいは父子連れ立っての度重なる旅の中で	
5	5/27(木)		ザルツブルク大司教に仕える教会音楽家モーザルト	
6	6/10(木)		自立への旅マンハイム・パリ旅行を試みる	
7	6/17(木)		皇都ヴィーンでフリーな音楽家として活躍	
8	6/24(木)		ベートーヴェン研究者平野昭氏との対談 **1	
9	7/8(木)		めくるめく巨匠モーザルトの大活躍は続く	
10	7/15(木)		天才の息子たちの悲劇	
11	7/22(木)		息子フランツ・クサーヴァーは旅立つ	
12	7/29(木)		父親の目映い光の下で19世紀前半にヨーロッパ各地で活躍するフランツ・クサーヴァー	

**1 (第8回・6月24日)は有料公開講座。参加費(一人)500円集金。

受講登録者数 60名 (男性 30名 女性 30名) 出席者総数 593名

後期

講座 22	ベートーヴェン 金字塔としての晩年様式—ウィーン体制を生きる			
	【定員】150名 【受講料】2年会員 11,440円 1年会員 12,870円 聴講生 17,160円			
	音楽Ⅰ 【時間】毎回10時30分～12時00分 (計12回)			
概要	長期に亘りヨーロッパ全土を震撼させたナポレオン戦争の戦後処理を議論したウィーン会議(814/15年)期を境に、ベートーヴェンの創作様式は大きく転換する。表面的には寡作期あるいはスランプ期と見える1813～18年に、伝統様式を一転させロマン主義音楽の方向を決定づける革新的な孤高様式を打ち立てる。その傑作を読み解く。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	9/30(木)	新百合21ビルB2多目的ホール	劇音楽《エグモント》、《シュテファン王》と《アテネの廃墟》	元慶應義塾大学教授 音楽評論家 平野 昭
2	10/7(木)		1812年:「不滅の恋人」と文豪ゲーテとの邂逅	
3	10/28(木)		1813年:《ウエリントンの勝利、あるいはビットリアの戦闘》	
4	11/4(木)		1814年:ウィーン会議とカンタータ《栄光の瞬間》	
5	11/11(木)		1815年:カンタータ《風と海と幸運な航海》と《希望に寄せて》	
6	11/18(木)		1816年:連作歌曲《遙かな恋人に寄せて》とピアノソナタ第28番	
7	11/25(木)		1818年:ピアノソナタ第29番《ハンマクラヴィア》	
8	12/2(木)		1820/22年:最後のピアノソナタ3曲セット、第30～32番	
9	12/9(木)		1823年:《ミサ・ソレムニス》	
10	12/16(木)		1824年:交響曲第9番《合唱付き》	
11	1/20(木)		1824～26年:孤高様式統合としての弦楽四重奏曲:その1	
12	1/27(木)		孤高様式統合としての弦楽四重奏曲:その2、そして、まとめ。	

受講登録者数 91名 (男性 44名 女性 47名) 出席者総数 982名

前期

講座 23	難聴を克服したベートーヴェンの英雄様式期			
	【定員】150名 【受講料】2年会員 11,440円 1年会員 12,870円 聴講生 17,160円			
	音楽Ⅱ 【時間】毎回13時30分～15時00分 (計12回)			
概要	1801年から1812年までの、いわゆる「傑作の森」の作品について、ベートーヴェンの創作人生の爆発的創造力を見てゆきます。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/8(木)	新百合21ビルB2多目的ホール	楽想の源泉としてのバレエ音楽《プロメテウスの創造物》	元慶應義塾大学教授 音楽評論家 平野 昭
2	4/15(木)		「ハイリゲンシュタットの遺書」の真意を読み解く	
3	5/13(木)		実験期のピアノ・ソナタ Op.26と27	
4	5/20(木)		ドラマ期のピアノ・ソナタ Op.53と57、エラール製のピアノ	
5	5/27(木)		交響曲第3番《英雄》とトリプル・コンチェルト	
6	6/10(木)		オペラ《フィデリオ(レオノーレ)》の初演と改訂の失敗	
7	6/17(木)		二卵性双生児としての2つの交響曲《運命》と《田園》:その1	
8	6/24(木)		二卵性双生児としての2つの交響曲《運命》と《田園》:その2	
9	7/8(木)		新時代のヴァイオリン協奏曲	
10	7/15(木)		弦楽四重奏曲《ラズモフスキー》セット Op.59	
11	7/22(木)		ピアノ・ソナタ《告别》とピアノ協奏曲《皇帝》	
12	7/29(木)		交響曲第7番と第8番	

受講登録者数 85名 (男性 42名 女性 43名) 出席者総数 871名

後期

講座 23	音楽の伝統と刷新—中欧と楽器をめぐって			
	【定員】150名 【受講料】2年会員 13,640円 1年会員 15,070円 聴講生 19,360円			
	音楽Ⅱ 【時間】毎回14時00分～15時30分 (計12回)			
概要	本講座では、伝統として受け継がれてきた音楽と、それを何らかり替える様子を、中央ヨーロッパの音楽と、さまざまな楽器を通して考察します。最初の2回には、コロナ感染症の広まりを通して、災禍における文化・芸術の有りようについて振り返ります。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	9/30(木)	新百合21ビルB2多目的ホール	コロナ禍における世界の音楽	国立音楽大学教授 横井雅子
2	10/7(木)		疫病と芸術—歴史に学ぶ	
3	10/28(木)		中欧の音楽①:チェコの伝統音楽とヤナーチーク	
4	11/4(木)		中欧の音楽②:ハンガリーの伝統音楽とコダーイ	
5	11/11(木)		中欧の音楽③:ハンガリーの伝統音楽とバルトーク	
6	11/18(木)		楽器の諸相①:「中国の箏と琴について」 ゲスト:毛Y(マオヤ)さん(古箏、古琴演奏家) **1	
7	11/25(木)		楽器の諸相②:楽器をめぐる思考の歴史	
8	12/2(木)		楽器の諸相③:声による楽器	
9	12/9(木)		中欧の音楽④:ルーマニアの伝統音楽とエネスク	
10	12/16(木)		中欧の音楽⑤:古今のクリスマスの伝統と音楽	
11	1/20(木)		楽器の諸相④:「歴史的ピアノの魅力—楽器製作者にさく」 ゲスト:太田垣至さん(ピアノ製作者) **2	
12	1/27(木)		楽器の諸相⑤:外来楽器を"自分化"する	

1,2の回この日は有料公開講座。資料代として各回1,000円を集金。

受講登録者数 39名 (男性 18名 女性 21名) 出席者総数 421名

前期

WS 11	近松半二の世界			
	【定員】35名 【受講料】2年・1年会員 17,160円 聴講生 18,590円			
	【ワークショップ】音楽・芸能 【時間】毎回13時30分～15時30分 (計12回)			
概要	現在歌舞伎上演レパートリーの中でも重要な位置を占める近松半二作品。すなわち『妹背山婦女庭訓』『本朝廿四孝』『伊賀越道中双六』『新版歌祭文』等々。彼の作品は技巧的で難解とされながらも、名作として今なお上演され続けています。今回は主に二作品を取り上げ、その魅力に迫ります。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/1(木)	大山街道ふるさと館イベントホール	近松半二について～生涯と作風	早稲田大学講師 原田真澄
2	4/15(木)		『妹背山婦女庭訓』二段目・芝六住家～盲目の天皇…	歌舞伎研究家 大倉直人
3	4/22(木)		文楽『妹背山婦女庭訓』三段目・山の段 ～山河が見守る悲恋の嫁入り	演劇評論家 富岡 泰
4	5/13(木)		歌舞伎『妹背山婦女庭訓』吉野川の間～その歌舞伎化	歌舞伎研究家 大倉直人
5	5/20(木)		『妹背山婦女庭訓』四段目・道行～一人の男に二人の女	武蔵野音楽大学講師 阿部 さとみ
6	6/3(木)		文楽『妹背山婦女庭訓』四段目・金殿～疑着の相を持つ女	演劇評論家 富岡 泰
7	6/10(木)		実技講座「三味線音楽について」	歌舞伎研究家 大倉直人
8	6/24(木)		歌舞伎『妹背山婦女庭訓』三笠山御殿の間～お三輪の悲劇	武蔵野音楽大学講師 阿部 さとみ
9	7/8(木)		文楽『本朝廿四孝』十種香の段～四段目の格	演劇評論家 富岡 泰
10	7/22(木)		歌舞伎『本朝廿四孝』十種香の場～三姫の最高峰・八重垣姫	明星大学教授 村上 滉
11	7/29(木)		『本朝廿四孝』奥庭狐火～八重垣姫が起こす奇跡	武蔵野音楽大学講師 阿部さとみ
12	8/5(木)		近松半二の世話物	武蔵野美術大学講師 小島智章

受講登録者数 32名 (男性 4名 女性 28名) 出席者総数 325名

後期

WS 10	歌舞伎WS 昭和の思い出の名優(3) 7代目尾上梅幸			
	【定員】32名 【受講料】2年・1年会員 17,160円 聴講生 18,590円			
	【ワークショップ】音楽・芸能 【時間】毎回13時30分～15時30分 (計12回)			
概要	昭和の思い出の名優第3回目、今回は7代目尾上梅幸を取り上げます。梅幸は大正1915(大正4)年に生まれ、1995(平成7)年、享年79歳で鬼籍に入りました。幼い頃、6代目尾上菊五郎の養子となり、厳しくとも慈愛に満ちた父の薫陶を受けた梅幸は、若女形、若衆そして立役、さらに踊りに優れた技量を揮いました。その芸は気品に満ち、清純の香り漂うものでした。今回は梅幸の舞台を振り返りながら、戦後歌舞伎の芳醇な時を思い出したいと思います。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	9/30(木)	大山街道ふるさと館イベントホール	7代目梅幸の生涯(1)	白百合女子大学講師 安富 順
2	10/7(木)		梅幸の踊り(1)	武蔵野音楽大学講師 阿部 さとみ
3	10/21(木)		7代目梅幸の生涯(2)	白百合女子大学講師 安富 順
4	10/28(木)		梅幸の世話物(1)	歌舞伎研究家 大倉直人
5	11/18(木)		梅幸の時代物(1)	白百合女子大学講師 安富 順
6	11/25(木)		歌舞伎の舞台を支える人と技	伝統芸能の道具うぶ主宰 田村民子
7	12/2(木)		梅幸の踊り(2)	武蔵野音楽大学講師 阿部さとみ
8	12/9(木)		梅幸の時代物(2)	白百合女子大学講師 安富 順
9	12/16(木)		梅幸の世話物(2)	歌舞伎研究家 大倉直人
10	1/20(木)		舞台の裏表から見た梅幸(1)	明治大学名誉教授 神山 彰
11	1/27(木)		舞台の裏表から見た梅幸(2)	
12	2/3(木)		文楽への誘い	早稲田大学 演劇博物館 助教 原田真澄

受講登録者数 27名 (男性 3名 女性 24名) 出席者総数 267名

前期

講座 24	中央ユーラシアの歴史(第2部)				オンライン併用
	【定員】71名 【受講料】2年会員 11,440円 1年会員 12,870円 聴講生 17,160円				
	世界史 【時間】毎回10時30分～12時00分(計12回)				
概要	16世紀以降、中央ユーラシアは、しだいに西からはロシア、東からは清朝の支配下に組み込まれ、両帝国に二分されるなかで近代を迎える。そして、1917年のロシア革命、その後の中国革命をへて、中央ユーラシアには社会主義体制が出現する。近現代の巨大な体制変動のなかで中央ユーラシアの人々はどうに生きてきたのだろうか。具体的なテーマに焦点を合わせ、日本との関係も視野に収めながら、激動の時代をたどることになり。				
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)	
1	4/16(金)	川崎市生涯学習プラザ	イントロダクション	東京大学名誉教授 小松久男	
2	4/23(金)		チベット仏教世界の成立と展開—ドラマとモンゴル・清朝	早稲田大学教授 石濱 裕美子	
3	5/14(金)		露清帝国とカザフ・ハン国	東京外国語大学准教授 野田 仁	
4	5/21(金)		ウズベク諸ハン国の時代	東京外国語大学講師 木村 暁	
5	5/28(金)		ロシア領トルキスタンの成立と西徳二郎		
6	6/4(金)		遊牧戦士の近代—大國ロシアと向き合うリーダーたち	早稲田大学准教授 秋山 徹	
7	6/11(金)		大谷探検隊とその時代	東海大学教授 片山章雄	
8	6/18(金)		ロシア革命と中央アジアの民族運動	東京大学名誉教授 小松久男	
9	6/25(金)		20世紀のモンゴル—モンゴル人の統合と独立の模索	東京外国語大学准教授 青木雅浩	
10	7/2(金)		ウイグル人の近代—教育と民族運動の展開	中央大学兼任講師 清水 由里子	
11	7/9(金)		中央ユーラシアから日本へ—イブラヒム の軌跡	東京大学名誉教授 小松久男	
12	7/16(金)		ソ連と中国のなかの中央ユーラシア諸民族	法政大学准教授 熊倉 潤	

オンライン受講生を含めた受講登録者数 112名 (男性 75名 女性 37名) 出席者総数 1204名

後期

講座 24	古代オリエント文明史研究の最前線				オンライン併用
	【会場定員】71名 【オンライン定員】100名 【受講料】2年会員 11,440円 1年会員 12,870円 聴講生 17,160円				
	世界史 【時間】毎回10時30分～12時00分(計12回)				
概要	古代オリエントとは、いまから5000年以上も前に、「都市の発達」「文字の考案」「交易の振興」などとおして、人類最古の文明を開化させた地域。そのような古代オリエント文明について、現在第一線で活躍される先生方に多角的に論じていただき、人類文明の特色と問題点を考える機会としたい。				
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)	
1	10/1(金)	川崎市生涯学習プラザ	文明の基礎、文化の底流—古代オリエントの場合	上智大学特任教授 月本昭男	
2	10/8(金)		古代オリエントにおける農耕と牧畜の起源	千葉工業大学研究員 下釜和也	
3	10/15(金)		シュメルの歴史と文化—都市社会の発達	中央大学教授 唐橋 文	
4	10/22(金)		ハンムラビ法典と古代オリエント法—都市社会とその掟	早稲田大学講師 川崎康司	
5	10/29(金)		青銅器から鉄器へ—金属使用の人類史	古代オリエント博物館研究員 津本英利	
6	11/5(金)		アッシリア帝国—出現と消滅	上智大学特任教授 月本昭男	
7	11/19(金)		強大国の狭間で—イスラエル民族と旧約聖書	古代オリエント博物館研究員 岩崎大悟	
8	12/3(金)		古代エジプトの歴史と文化	早稲田大学教授 近藤二郎	
9	12/10(金)		具象と抽象—美術史からみた古代エジプト		
10	12/17(金)		神話と儀礼—古代エジプトの葬礼と他界観	國學院大学兼任講師 和田 浩一郎	
11	1/28(金)		ヘレニズム—東西文化の交流がもたらしたもの	平山郁夫シルクロード美術館学芸員 前田 たつひこ	
12	2/4(金)		コインからみた古代オリエント	古代オリエント博物館研究部長 津村 眞輝子	

受講登録者数 97名 (男性 61名 女性 36名) 出席者総数 1034名

前期

講座	みどり学Ⅱ - 木や草が生活とつながる面白さを極める				オンライン併用
25	【定員】70名(会場定員:35名、オンライン定員35名) 【受講料】2年会員12,340円 1年会員13,770円 聴講生18,060円 (野外学習安全費用900円を含みます。)				
みどり学Ⅱ 【時間】講義:10時30分~12時00分、野外:10時30分~14時30分(計12回)					
概要 みどり学は自然環境を幅広く学ぶ講座です。身近な自然との触れ合いの中から学んだ知恵を、周囲の市民やさまざまな活動に生かすことを目指します。					
回	月/日(曜)	会場	学習内容	班	講師名(敬称略)
1	5/14(金)	川崎市生涯学習プラザ	尾瀬で起こったナガバノモウセンゴケ発見の顛末と生育地の不思議	A・B班実施	宇都宮大学名誉教授 谷本丈夫
2	5/21(金)		丹沢山中で発見された白色火山灰はどこから来たの? (広域火山灰の役割)	A・B班実施	元立正大学教授 福岡孝昭
3,4	5/28(金)	野川公園	野川公園の大木めぐり	A班実施・B班休み	森林インストラクター 武部 令
5	6/11(金)	川崎市生涯学習プラザ	身近な植物のワンダーランド~五感で探る植物の不思議~	A・B班実施	植物生態学者 多田多恵子
6	6/18(金)		筑波実験植物園で体験した植物の栽培管理現場での気付きや面白さ	A・B班実施	筑波実験植物園技能補佐員 二階堂太郎
7,8	6/25(金)	等々力渓谷	都内に残る最後の渓谷に涼を求め、周囲の自然と歴史を探索	B班実施・A班休み	樹木医 石井誠治
9	7/9(金)	川崎市生涯学習プラザ	ガラパゴスの生物の進化と保全パートⅡ	A・B班実施	横浜国立大学准教授 倉田薫子
10	7/16(金)		人気の高尾山で起こっている怖い現実と未来	A・B班実施	樹木医 石井誠治
3,4	7/30(金)	野川公園	野川公園の大木めぐり	B班実施	森林インストラクター 武部 令
7,8		等々力渓谷	都内に残る最後の渓谷に涼を求め、周囲の自然と歴史を探索	A班実施	樹木医 石井誠治
11,12	9/10(金)	昭和記念公園	秋の昭和記念公園を楽しむ	A班実施・B班休み	樹木医 石井誠治
	9/17(金)			B班実施・A班休み	

※本講座は、みどり学の受講経験の長い方が比較的多く受講しています。 ※4/9(金)10時30分よりオリエンテーション(野外学習についての連絡等)を実施。オンライン受講生を含めた受講登録者数 47名 (男性 20名 女性 27名) 出席者総数 370名

後期

講座	みどり学Ⅱ - 木や草が生活とつながる面白さを極める				オンライン併用
25	【定員】70名(うち会場定員35名)【受講料】2年会員12,340円 1年会員13,770円 聴講生18,060円 (野外学習安全費用900円を含みます。)				
みどり学Ⅱ 【時間】講義:10時30分~12時00分、野外:10時30分~14時30分、10/8・10/15は8時00分~18時00分予定(計12回)					
概要 みどり学は自然環境を幅広く学ぶ講座です。身近な自然との触れ合いの中から学んだ知恵を、周囲の市民やさまざまな活動に生かすことを目指します。					
回	月/日(曜)	会場	学習内容	班	講師名(敬称略)
1,2	10/8(金)	箱根 湿生花園	仙石原に咲く草花や樹木を散策しながら観察(バス利用)	B班実施・A班休み	樹木医 石井誠治
	10/15(金)			A班実施・B班休み	
3	10/22(金)	川崎市生涯学習プラザ	世界の森林鉄道と周辺の林業	A・B班実施	東京大学名誉教授 酒井秀夫
4	10/29(金)		都会で見られる鳥の生き方・暮らし方	A・B班実施	ネイチャーガイド 中村忠昌
5,6	11/5(金)	小石川 植物園	世界の樹木に会える場所。本当の植物園探訪	B班実施・A班休み	樹木医 石井誠治
	11/12(金)			A班実施・B班休み	
7	11/19(金)		シデコブシ・ハナノキ・ヒトツバタゴ東海丘陵に秘められた日本列島の歴史	A・B班実施	
8	11/26(金)	川崎市生涯学習プラザ	東日本大震災海岸防災林の現状とこれから	A・B班実施	東京大学名誉教授 太田猛彦
9	12/3(金)		日本の近代化を支えた蚕糸業とその技術	A・B班実施	東京農工大学准教授 横山 岳
10,11	12/10(金)	多摩 動物公園	タスマニアデビルとコアラ、オランウータンとモグラたちに会いに行こう	B班実施・A班休み	樹木医 石井誠治
	12/17(金)			A班実施・B班休み	
12	1/21(金)	川崎市生涯学習プラザ	アフアの森で学んだこと	A・B班実施	元麻布大学教授 高槻成紀

※本講座は、みどり学の受講経験の長い方が比較的多く受講しています。 ※10/1(金)10時30分よりオリエンテーション(野外学習についての連絡等)を実施します。 ※第1,2回10/8(金)、10/15(金)はバス借上げ費用等で別途、各回10,000円程集金。バスの手配は、富士急トラベルにお願いしています。 受講登録者数 44名 (男性 17名 女性 27名) 出席者総数 463名

前期

講座	山の自然学			
26	【定員】30名【受講料】2年会員12,190円 1年会員13,620円 聴講生17,910円 (野外学習安全費用750円を含みます。)			
山の自然学 【時間】講義:13時00分~14時30分 野外:10時30分~14時30分予定(計12回)				
概要 山の自然学(地生態学)をベースにして各地の自然の解説をおこなうほか、3個所で野外実習を行い、実際の自然の成り立ちについて考察する。				
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1,2	4/16(金)	埼玉県飯能市	奥武蔵、風影・八徳を訪ねる	東京学芸大学名誉教授 小泉武栄
3	5/14(金)	川崎市生涯学習プラザ	中部地方の地生態学4	
4	5/21(金)		中部地方の地生態学5	
5	6/11(金)	川崎市生涯学習プラザ	中部地方の地生態学6	
6	6/18(金)		近畿地方の地生態学1	
7,8	6/25(金)	東京都東久留米市	東久留米湧水群の観察	
9	7/9(金)	川崎市生涯学習プラザ	近畿地方の地生態学2	
10	7/16(金)		近畿地方の地生態学3	
11,12	7/23(金)	神奈川県三浦市	荒崎海岸と長浜海岸	

※本講座は、長くみどり学を学んだ受講者向けの内容。 ※野外学習は、歩行距離やアップダウンがある行程。 4/9(金)の11時30分より小一時間程度オリエンテーション(野外学習についての連絡等)を実施。

受講登録者数 31名 (男性 10名 女性 21名) 出席者総数 317名

後期

講座	山の自然学			
26	【定員】30名【受講料】2年会員12,190円 1年会員13,620円 聴講生17,910円 (野外学習安全費用750円を含みます。)			
山の自然学 【時間】講義:13時00分~14時30分、野外:10時30分~14時30分予定 ただし10/8(金)は8時00分~18時00分予定(計12回)				
概要 地生態学的な自然の見方に基づいて、主に関東地方の山の自然を紹介する。また榛名山など3個所で、自然観察を行い、自然の見方を体得する。				
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1,2	10/8(金)	群馬県	榛名山神社-群馬県庁-飛石稲荷(バス利用)	東京学芸大学名誉教授 小泉武栄
3	10/22(金)	川崎市生涯学習プラザ	関東地方の地生態学1	
4	10/29(金)		関東地方の地生態学2	
5,6	11/5(金)	東京都あきる野市	五日市の地質	
7	11/19(金)	川崎市生涯学習プラザ	関東地方の地生態学3	
8	11/26(金)		関東地方の地生態学4	
9	12/3(金)		関東地方の地生態学5	
10,11	12/10(金)	横浜市	横浜の地形と地質	
12	1/21(金)	川崎市生涯学習プラザ	地生態学に関する最近の話題	

※本講座は、長くみどり学を学んだ受講者向けの内容。 ※野外学習は、歩行距離やアップダウンがある行程。 ※10/1(金)の11時30分より小一時間程度オリエンテーション(野外学習についての連絡等)を実施。 ※第1,2回10/8(金)はバス借上げ費用等で別途、10,000円程集金。バスの手配は、富士急トラベル。

受講登録者数 30名 (男性 11名 女性 19名) 出席者総数 308名

前期

講座 27	ギリシア美術の魅惑の扉を開く			オンライン併用
	【定員】150名 【受講料】2年会員 11,440円 1年会員 12,870円 聴講生 17,160円			
	美術Ⅱ 【時間】毎回10時30分～12時00分 (計12回)			
概要	ギリシア美術は西洋の古典主義美術の源としてよく知られていますが、それはこの美術のほんの一面に過ぎません。ここでは、ギリシア美術の豊かな多面性を示すトピックをいくつか設け、それらの扉を開いてこの美術の新鮮な魅力に迫りたいと思います。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/16(金)	新百合21ビルB2多目的ホール	はじめに	元武蔵野美術大学教授 篠塚 千恵子
2	5/14(金)		ローマンコピーとギリシア彫刻	
3	5/21(金)		《ラオコーン》はギリシア美術なのか	
4	5/28(金)		ギリシア美術のキーワードとしての裸体像	
5	6/4(金)		ギリシア美術の多義的裸体像	
6	6/11(金)		ギリシア陶器画への誘い	
7	6/18(金)		ギリシア陶器画の魅力	
8	6/25(金)		ギリシアの祭儀と美術表現	
9	7/9(金)		美術でたどる古代オリンピック競技	
10	7/16(金)		ギリシアの擬人像について	
11	7/23(金)		擬人像と寓意画	
12	7/30(金)		おわりに	

オンライン受講生を含めた受講登録者数 84名 (男性 27名 女性 57名) 出席者総数 931名

後期

講座 27	じっくり学ぶ 西洋の美術と文化の歴史—中世から近世の始まりまで			オンライン併用
	【会場定員】150名 【オンライン定員】100名 【受講料】2年会員 11,440円 1年会員 12,870円 聴講生 17,160円			
	美術Ⅱ 【時間】毎回10時00分～11時30分 (計12回)			
概要	西洋の中世から近世の始まりにかけて、社会と美術の関係性をじっくりと見ていきます。キリスト教の展開や封建社会構造の変化といった流れをふまえながら美術を観ることで、皆様の今後の異文化理解や美術鑑賞がより深いものとなるはずです。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/8(金)	新百合21ビルB2多目的ホール	古代末期の社会と地中海地域の美術のおさらい	東京造形大学教授 池上 英洋
2	10/15(金)		ユダヤ教・キリスト教・ミトラ教	
3	10/29(金)		キリスト教の教義の整備と初期キリスト教美術	
4	11/5(金)		殉教聖人画像にみる大迫害時代と、帝国の終焉	
5	11/12(金)		ロマネスクとゴシック様式：中世社会の中心たる教会とその建築	
6	11/19(金)		サン・フランチェスコ大聖堂と壁画：修道会とは何か	
7	11/26(金)		イスラム教の誕生と伸張、十字軍	
8	12/3(金)		聖俗二重権力画像：中世社会の構造とコムーネ	
9	12/10(金)		シスマと国際ゴシック：シエナ派の画家たち	
10	12/17(金)		大聖堂建築競争にみる、諸国家同士の関係性	
11	1/21(金)		中世の人々の暮らし① 生と死、病と愛	
12	1/28(金)		中世の人々の暮らし② 産業と諸学芸、近世の夜明け	

*本講座は2018年度後期の「じっくり学ぶ 西洋の美術と文化の歴史—中世の始まりまで」の続編。

受講登録者数 168名 (男性 53名 女性 115名) 出席者総数 1611名

前期

WS 12	受講生参加型ゼミナール「美術史を読む」			
	【定員】20名 【受講料】2年会員・1年会員ともに17,160円 聴講生 18,590円			
	【ワークショップ】美術Ⅰ・Ⅱ 【時間】毎回13時30分～15時30分 (計12回)			
概要	美術史は歴史の中に作品を位置づける学問です。一方鑑賞では感覚がものをいいます。しかしそこに美術史が加わると鑑賞に一層の深みが生れます。今回は文献講読と「私の好きな絵(彫刻)」と題する皆さんの発表により美術史の方法についての理解を深めます。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/16(金)	新百合21ビルB2第1会議室	ゼミの概略紹介と受講生発表(20分程度)分担	多摩美術大学教授 諸川春樹
2	5/14(金)		芸術家のイメージ1：中世の芸術家：工房	
3	5/21(金)		芸術家のイメージ2：ルネサンスの芸術家	
4	5/28(金)	新百合21ビルB2第2会議室	アカデミーの誕生	
5	6/4(金)		プラトンと美術	
6	6/11(金)		ヴェルブリン：美術史の基礎概念	
7	6/18(金)		モレツリ：鑑定の方法	
8	6/25(金)		画像学と画像解釈学1	
9	7/9(金)		画像学と画像解釈学2	
10	7/16(金)		フロイト：心理学と芸術	
11	7/23(金)		絵画と時間表現	
12	7/30(金)		まとめ：美術作品とは何か	

受講登録者数 20名 (男性 3名 女性 17名) 出席者総数 212名

後期

WS 11	受講生参加型ゼミナール「美術作品を語る」			
	【定員】20名 【受講料】2年・1年会員ともに17,160円 聴講生 18,590円			
	【ワークショップ】美術Ⅰ・Ⅱ 【時間】毎回13時30分～15時30分 (計12回)			
概要	美術史は歴史の中に作品を位置づける学問だと考えられています。一方、作品の鑑賞に関しては、鑑賞者の主観がものをいいます。そこに美術史的な見方が加わると、鑑賞に一層の深みが増すにちがありません。今回も前期と同様、受講生の皆さんに好きな作品を語っていただくとともに、美術史の方法論についての理解を深めます。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/8(金)	新百合21ビルB2第2会議室	芸術家の歴史1：古代から中世までの芸術家	多摩美術大学教授 諸川春樹
2	10/15(金)		芸術家の歴史2：ルネサンスの芸術家	
3	10/29(金)		美術史の始まり：ヴァザーリ以降	
4	11/5(金)		芸術理論の変遷	
5	11/12(金)		諸芸術比較論レオナルド・ダ・ヴィンチ vs ミケランジェロ	
6	11/19(金)		美術史の方法論1：モレツリ法	
7	11/26(金)		美術史の方法論2：ヴェルブリン	
8	12/3(金)		イコグラフィとイコロジー：作品解釈の問題1	
9	12/10(金)		イコグラフィとイコロジー：作品解釈の問題2	
10	1/14(金)		心理学と美術史：フロイト	
11	1/21(金)		モダニズムの芸術理論	
12	1/28(金)		まとめ：美術史とは何か	

受講登録者数 19名 (男性 6名 女性 13名) 出席者総数 218名

前期

講座	天災大国日本—その歴史と教訓			オンライン併用
28	【定員】150名	【受講料】2年会員 11,440円	1年会員 12,870円	聴講生 17,160円
	エクセレントII	【時間】	毎回13時30分～15時00分	(計12回)
概要	第3波感染拡大のコロナ禍に見舞われ、これまでとは異なる社会の仕組みが生まれつつあります。しかし、昔の人たちが出遭ったさまざまな災害にどのように対応してきたかを知り、そこから何が得られるかを考える本講座は、今を生きるわたしたちにとって、生き抜くためのひとつの道筋が得られるのではないかと思います。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/16(金)	新百合21ビルB2多目的ホール	コロナ禍における人間の心と身体	青木クリニック院長 青木正美
2	5/14(金)		江戸幕府の感染症対策	歴史家 安藤 優一郎
3	5/21(金)		人生の最終楽章、考えたことありますか? **オンライン講義	朝日新聞社記者 佐藤 陽
4	5/28(金)		地震学の今	歴史地震研究会会長・地震予知総合研究振興会 上席研究員 松浦律子
5	6/4(金)		貞観地震と慶長奥州地震 **オンライン講義	東北大学災害科学国際研究所准教授 蝦名裕一
6	6/11(金)		復興百年誌—現代に生きる関東大震災	名古屋大学特任教授 武村雅之
7	6/18(金)		占領下の災害・昭和南海地震	立命館大学歴史都市防災研究所客員研究員 北原糸子
8	6/25(金)		東日本大震災と減災教育 **オンライン講義	東北大学災害科学国際研究所プロジェクト講師 保田真理
9	7/9(金)		富士山の火と水—天恵と災禍の生態史	山梨県立富士山世界遺産センター所長 秋道智彌
10	7/16(金)		天明三年浅間山噴火災害と語り継ぎ	婦恋郷土資料館館長 関 俊明
11	7/23(金)		江戸の水害	国文学研究資料館教授 渡辺浩一
12	7/30(金)		災害と生きる中世	滋賀県立大学名誉教授 水野章二

オンライン受講生を含めた受講登録者数 60名 (男性 39名 女性 21名) 出席者総数 618名

後期

講座	SDGsを実現した江戸時代の社会と科学技術			オンライン併用
28	【会場定員】150名	【オンライン定員】100名	【受講料】2年会員 10,487円	1年会員 11,798円 聴講生 15,730円
	エクセレントII	【時間】	毎回14時00分～15時30分	(計11回)
概要	鎖国体制により自給自足をを行い、260年余の平和と繁栄を維持した江戸時代。それは持続可能な社会の実現でもあった。幕藩体制の中、諸藩は領民と領地(自然)を大切に、科学や技術は広く社会に共有、利用されていた。具体的な事例やモノ資料から解説する。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	9/17(金)	新百合21ビルB2多目的ホール	始めに～講義の概要 (SDGsな江戸社会)	国立科学博物館 産業技術史資料情報センター長 鈴木 一義
2	10/15(金)		鉱山大国日本～持続可能な資源開発と鉱山技術(たたら製鉄)	
3	10/29(金)		鉱山大国日本～持続可能な資源開発と鉱山技術(金銀山)	
4	11/5(金)		江戸時代の医学～仁の心	
5	11/19(金)		江戸時代の科学～化け物から博物学へ	
6	12/3(金)		測量地の技～地を量る (清水流を例に)	
7	12/17(金)		測量地の技～天を測る (伊能忠敬は天文学者!?)	
8	1/14(金)		江戸時代の遊び～からくり人形の技	
9	1/28(金)		江戸時代の技術者～大野弁吉・田中久重	
10	2/4(金)		江戸時代の技術者～国友一貫斎・久米通賢	
11	3/18(金)		江戸時代の軍事力～幕末の大砲製造	

受講登録者数 56名 (男性 42名 女性 14名) 出席者総数 521名

前期

講座	社会的共通資本の考え方			オンライン併用
29	【定員】71名	【受講料】2年会員 11,440円	1年会員 12,870円	聴講生 17,160円
	経済	【時間】	毎回13時00分～14時30分	(計12回)
概要	世界的経済学者宇沢弘文が他界してはや6年になる。生前、彼の提唱した社会的共通資本は、市場主義への痛烈な批判であるとともに、豊かな社会の構築をめざす重要な指針となるものであった。その意義はコロナ禍を体験した今日、ますます大きなものとなっている。本講座は、宇沢の社会的共通資本の考え方を多角的にしかも平易に解説する。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/16(金)	川崎市生涯学習プラザ	経済学者としての宇沢弘文	ジャーナリスト 佐々木 実
2	4/23(金)		社会的共通資本へ	
3	5/14(金)		コモンズと社会的共通資本～コモンズの現場を通して	北九州市立大学准教授 廣川祐司
4	5/21(金)		コモンズ論の系譜	立命館アジア太平洋大学講師 茂木 愛一郎
5	5/28(金)		地球温暖化問題への寄与	法政大学教授 國則守生
6	6/4(金)		社会的共通資本としての森と川	拓殖大学教授 関 良基
7	6/11(金)		コロナ後の世界と見えざる資産の重要性	学習院大学教授 宮川 努
8	6/18(金)		生活の場としての都市	法政大学教授 吉永明弘
9	6/25(金)		社会資本・自然資本・制度資本	釧路公立大学教授 神野照敏
10	7/2(金)		大学という制度	青山学院大学教授 中野昌宏
11	7/9(金)		コロナ禍と日本の医療制度～社会的共通資本の観点から	京都大学名誉教授 間宮陽介
12	7/16(金)		父を語る	宇沢国際学館代表取締役 占部まり

オンライン受講生を含めた受講登録者数 67名 (男性 49名 女性 18名) 出席者総数 735名

後期

講座	世界経済を読み解く視座			オンライン併用
29	【会場定員】71名	【オンライン定員】100名	【受講料】2年会員 11,440円	1年会員 12,870円 聴講生 17,160円
	経済	【時間】	毎回13時00分～14時30分	(計12回)
概要	本講義は、この数十年に展開してきた世界経済につき、経済思想的視座、ならびに経済分析的視座を含めつつ、実際に生じた重要な出来事を押さえながら、分かりやすく説明することを主要な目的としています。そしていま私たちを取り巻く状況について、今後の展望も踏まえながら説明していきます。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/8(金)	川崎市生涯学習プラザ	講義の概要とネットの活用法	上智大学名誉教授 平井俊顕
2	10/15(金)		第1講 資本主義をどうとらえればよいのだろうか	
3	10/22(金)		第2講 グローバリゼーションをどうとらえればよいのだろうか	
4	10/29(金)		第3講 金融の自由化と不安定性を見る	
5	11/12(金)		第4講 リーマン・ショックとアメリカ経済	
6	11/19(金)		第5講 アメリカの金融政策	
7	11/26(金)		第6講 ユーロ危機、そしてEU危機	
8	12/3(金)		第7講 日本経済をどう見ればよいのだろうか	
9	12/10(金)		第8講 アベノミクス、長期低迷の日本経済	
10	12/17(金)		第9講 世界秩序の地政学的激変	
11	1/21(金)		第10講 バイデン政権のアメリカ	
12	1/28(金)		終わりにあたって：今後行って欲しいこと	

*講師はリモート講義

受講登録者数 102名 (男性 78名 女性 24名) 出席者総数 1016名

前期

WS 13	平成の経済—同時代の30年史と次代への教訓			※討論・発表中心
	【定員】35名	【受講料】2年・1年会員ともに17,160円	聴講生 18,590円	
	【ワークショップ】経済	【時間】毎回15時00分～17時00分	(計12回)	
概要	ポストコロナの日本経済はどうなるのでしょうか。将来を見通すには過去を振り返ることが必要です。バブル崩壊で始まった平成時代は、不良債権、金融危機、デフレの進行、人口減少等、困難な問題に直面してきました。この講座では、平成時代30年間の日本経済について、定評のあるテキストを使ってじっくりと学んでいきます。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/16(金)	川崎市生涯学習プラザ	学習のガイダンス、講師のレクチャー(テキスト1章)	横浜市立大学名誉教授 金子 文夫
2	4/23(金)		講師のレクチャー(同2・3章)	
3	5/14(金)		不良債権深刻化と金融破綻/(同4章)ー以下ゼミ形式	
4	5/21(金)		交錯するデフレ議論と金融政策の再構築(同5章)	
5	5/28(金)		橋本構造改革の挫折/財政構造改革路線の棚上げ(同6章)	
6	6/4(金)		小泉構造改革の方向と新たなガバナンス(同7章)	
7	6/11(金)		不良債権処理/構造改革/量的金融緩和策(同8・9章)	
8	6/18(金)		民主党政権の誕生とリーマンショック(同10・11章)	
9	6/25(金)		リーマンショックの後遺症/大震災への対応(同12章)	
10	7/2(金)		安倍政権の誕生と三本の矢(同13章)	
11	7/9(金)		異次元緩和の展開とその限界/軌道修正(同14章)	
12	7/16(金)		今後の諸課題/平成から学ぶもの(同15章・終章)	

*テキストは、「平成の経済」(小峰隆夫著、日本経済新聞出版、1800円+税)を使用
受講登録者数 18名 (男性 15名 女性 3名) 出席者総数 211名

後期

WS 12	資本主義はどこへ行くのかーこのまま格差と貧困を創り出しながら自己増殖していくのだろうか、そして日本は？			
	【定員】35名	【受講料】2年・1年会員ともに17,160円	聴講生 18,590円	
	【ワークショップ】経済	【時間】毎回15時00分～17時00分	(計12回)	
概要	1990年代以降、デジタル技術の発達とともに、情報化、金融化、サービス化など、資本主義の世界的構造変化が生じています。この変化に的確に対応すれば、経済成長と持続可能な公正な社会の形成を同時に達成できるかもしれません。低成長、環境危機、格差問題に直面する日本経済が進むべき方向について基本から学んでいきます。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/8(金)	川崎市生涯学習プラザ	学習のガイダンスとレクチャー：第1章 変貌しつつある資本主義(1) (資本主義の本質)	横浜市立大学名誉教授 金子 文夫
2	10/15(金)		第1章 変貌しつつある資本主義(2) (長期停滞と日本経済)	
3	10/22(金)		第2章 資本主義の進化としての「非物質主義的転回」(1)(非物質主義的転回とは何か)	
4	10/29(金)		第2章 資本主義の進化としての「非物質主義的転回」(2) (資本主義の非物質化)	
5	11/12(金)		第3章 製造業のサービス産業化と日本の将来(1) (国際競争力の低下)	
6	11/19(金)		第3章 製造業のサービス産業化と日本の将来(2) (脱炭素化)	
7	11/26(金)		第3章 製造業のサービス産業化と日本の将来(3) (日本の製造業の将来展望)	
8	12/3(金)		第4章 資本主義・不平等・経済成長(1) (不平等・格差の拡大)	
9	12/10(金)		第4章 資本主義・不平等・経済成長(2) (公共投資国家・福祉国家から社会的投資国家へ)	
10	12/17(金)		終章 社会的投資国家への転換(1) (経済政策・人的資本投資)	
11	1/21(金)		終章 社会的投資国家への転換(2) (賃金上昇と脱炭素化へ向けた産業構造転換)	
12	1/28(金)		まとめ 資本主義はどこへ向かうのか、日本の課題とその解決策の方向性は	

*テキストは「資本主義の新しい形」(諸富徹著、岩波書店、定価2860円)を使用
受講登録者数 20名 (男性 17名 女性 3名) 出席者総数 228名

前期

講座 30	懐かしの名作・受賞作品を語る、この人に会いたい、日本の未来を語る			
	【定員】71名	【受講料】2年会員11,440円	1年会員12,870円 聴講生17,160円	
	映像・メディア	【時間】毎回15時00分～16時30分	(計12回)	
概要	現在進行中のものから、歴史的な名作まで「映像とメディア」に関わるプロデューサー、ジャーナリスト、評論家が次々に登場し、語ります。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/16(金)	川崎市生涯学習プラザ	日本の政治と教育を語る	元文部科学省事務次官 前川喜平
2	4/23(金)		国内2大TVコンクール金賞受賞 自作『NHKBS～青春法廷』を語る	ドキュメント映画「いのち」監督/元NHKプロデューサー 林 勝彦
3	5/14(金)		今、旬の話「東アジアと国際情勢」を語る	東アジア共同体研究所長・元外務省国際情報局長 孫崎 亨
4	5/21(金)		夢を形に！ ナノテクノロジーで創る体内病院	川崎市産業振興財団ナノ医療イノベーションセンター長 片岡一則
5	5/28(金)		著名CG作家『もし、地球が四角だったら』と『映画/レッドクリフPV』作品を語る	(株)スプラーム社長・サイエンス映像学会理事 梶塚チノル サイエンス映像学会事務局長代行、理事 成田 顕
6	6/11(金)		「実物フクロウ」登場 (希望者は鼻にさわれます)	市井の泉博士 木ノ本 恵子
7	6/18(金)		世界の大家匠「マーチン・スコセッシ監督」を語る	映画の語り部 元NHKBS映画支配人 渡辺俊雄
8	6/25(金)		『文化功労者』受賞 故・大林宣彦監督の映画技法とは？	
9	7/2(金)		「発達障がい」の原因は「ミネラル不足」！？	食品と暮らしの安全基金代表 小若順一
10	7/9(金)		名人登場 古典『徒然草』を朗読する	NPO日本朗読文化協会・アナウンサー (元NHK) 加賀美 幸子
11	7/16(金)		原発ゴミ・NHK初の総力調査報道 自作『NHK特集～原子力』を語る	ドキュメント映画「いのち」監督 元NHKプロデューサー 林 勝彦
12	7/30(金)		国際的なプロデューサー村田真一氏を語る～なぜ里山(サトヤマ)は世界共通語になったのか	

受講登録者数 70名 (男性 44名 女性 26名) 出席者総数 660名

後期

講座 30	懐かしの名作・受賞作品を語る、この人に会いたい、日本の未来を語る			
	【定員】71名	【受講料】2年会員11,440円	1年会員12,870円 聴講生17,160円	
	映像・メディア	【時間】毎回15時00分～16時30分	(計12回)	
概要	現在進行中のものから、歴史的な名作まで「映像とメディア」に関わるプロデューサー、ジャーナリスト、評論家が次々に登場し、語ります。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/8(金)	川崎市生涯学習プラザ	新型コロナ最新情報を語る	元国立感染症研究所室長、元理化学研究所チームリーダー 加藤 茂孝
2	10/15(金)		メディアへのメッセージ	国際政治学者、山猫総合研究所代表 三浦福麗
3	10/22(金)		Eテレ初の海外取材番組を語る	科学ジャーナリスト、元東京大学客員教授 林 勝彦
4	10/29(金)		今、旬の話を語る	早稲田大学大学院教授、元鳥取県知事 片山善博
5	11/5(金)		ノーベル賞の過去、現在、未来を語る	元朝日新聞論説委員、高エネルギー加速器研究機構理事 辻篤子
6	11/12(金)		テクノロジーが開く新たな美学—マルチバースの世界	キュレーター、美術評論家、森美術館特別顧問 南條史生
7	11/19(金)		2大国際テレビ受賞作品を見て語る	科学ジャーナリスト、元東京大学客員教授 林 勝彦
8	11/26(金)		沖縄・東アジアの自然と平和を語る	東アジア共同体研究所理事 緒方 修
9	12/3(金)		コロナ後の世界と日本を語る	元関東学院大学教授、日本ジャーナリスト会議運営委員 丸山 重威
10	12/10(金)		京マチ子を語る	元NHKBS映画支配人、映画評論家 渡辺俊雄
11	12/17(金)		原発被災者 10年の軌跡を語る	個人被ばく線量と市民生活環境を考える会代表 島 明美
12	1/21(金)		民主主義の未来と日本	東京大学教授 宇野 重規

受講登録者数 59名 (男性 37名 女性 22名) 出席者総数 59名

前期

休止しました

後期

講座 31	「今」が分かる科学と技術				オンライン併用
	【会場定員】35名 【オンライン定員】100名 【受講料】2年会員 11,440円 1年会員 12,870円 聴講生 17,160円				
概要	新しい科学の世界Ⅱ 【時間】 毎回15時00分～16時30分(計12回) 現代は科学の時代です。私たちの周りには新しい知見と新しい技術・創造物があふれています。それを知ることが喜びであり有用でもあります。「新しい科学の世界」では今期2つの講座を用意しました。どちらも著名な専門家が丁寧に解説します。Ⅱは科学的テーマに技術的テーマも加えた講座になっています。				
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)	
1	10/8(金)	川崎市生涯学習プラザ	講座の紹介	東京大学名誉教授 太田猛彦	
2	10/15(金)		大気中二酸化炭素の増大に伴う2つの地球環境問題とカーボンニュートラル2050	東京大学名誉教授 前東京大学大気海洋研究所教授 川橋徳高	
3	10/22(金)		「空飛ぶクルマ」を巡る動きと今後の課題	ANA 総合研究所顧問 高野 滋	
4	10/29(金)		太陽系と系外惑星の最新状況を知る	東京大学名誉教授 鳥海光弘	
5	11/5(金)		全地球の地震活動を深層ニューラルネットで検出する		
6	11/12(金)		奇跡の海相模湾とモース	東京工業大学名誉教授 星 元紀	
7	11/19(金)		AI 最前線～顔認証と行動解析	NEC グローバルイノベーション戦略本部主任研究員 西村祥治	
8	11/26(金)		ノーベル賞 2021年受賞業績の解説	科学技術振興機構(JST) 調査役 古川雅士	
9	12/3(金)		ゲノム解析で変わる医療—激変するがん治療	東京大学講師 水島純子	
10	12/10(金)		世界で最も高い電波塔への挑戦 ～スカイツリーの心柱	日建設計 構造設計部 小西厚夫	
11	12/17(金)		地球を測り、もりの未来を創る	株式会社パスコ森林環境部長 洲濱智幸	
12	1/21(金)		桁違いの時代変化と人間の創造力	東京工業大学名誉教授・元学長 科学技術振興機構顧問 相澤 益男	

受講登録者数 49名 (男性 40名 女性 9名) 出席者総数 510名

前期

講座 31	川崎に生きた人々Ⅱ—災害や病魔と闘ってきた人々			
	【定員】71名 【受講料】2年会員 11,540円 1年会員 12,970円 聴講生 17,260円 (野外学習安全費用 100円を含みます。)			
概要	歴史(川崎学) 【時間】 毎回10時30分～12時00分(計12回) 新型コロナ感染症によって、健康・生命・生活が危うい状態におかれています。この時期に川崎に生きた人々が災害や病魔と、どの様に向き合い、乗り越えてきたのかを学ぶことは時に適った学習です。各時代の人々の足跡をたどります。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/10(土)	川崎市生涯学習プラザ	多摩川の氾濫と地名の民俗学	成城大学名誉教授 田中宣一
2	4/17(土)		戦国期の疫病・飢饉とどう向き合ったか	戦国史研究会会員 中西望介
3	4/24(土)		弥生の村はどう形成されたか	法政大学教授 小倉淳一
4	5/29(土)	野外学習	多摩川の流路と災害に立ち向かう人々—女体神社・延命寺・円真寺・妙光寺	戦国史研究会会員 中西望介
5	6/5(土)	川崎市生涯学習プラザ	新発見の史料に基づく多摩川低地の治水	國學院大學栃木短期大学教授 菱沼一憲
6	6/12(土)		近代における横浜・川崎の感染症の歴史	都筑・橋樹研究会会員 相澤雅雄
7	6/19(土)		富士山の噴火と田中丘隅	神奈川県立歴史博物館館長 望月一樹
8	7/3(土)		関東大震災と川崎	法政大学第二高等学校教育友会教育研究長 大庭乾一
9	7/10(土)		多摩川の氾濫が生んだ文学者 岡本かの子—洪水を押し渡って恋を成就	川崎地域史研究会会員 川崎晶子
10	7/17(土)	野外学習	川崎大師とその周辺—災害・厄除を中心に若宮八幡宮・川中島神社・川崎大師など	横浜商科大学兼任講師 伊藤拓也
11	7/24(土)	川崎市生涯学習プラザ	多摩川を治めた豪族と白山古墳	日本考古学協会会員 古屋紀之
12	7/31(土)	川崎市生涯学習プラザ	疫病と闘った川崎の女性たち	明治大学講師 渡辺賢二

受講登録者数 58名 (男性 36名 女性 22名) 出席者総数 573名

後期

講座 32	川崎学歴史 モノの生産から見る川崎の歴史(その1)			
	【定員】71名 【受講料】2年会員 11,540円 1年会員 12,970円 聴講生 17,260円 (野外学習安全費用 100円を含みます。)			
概要	歴史(川崎学) 【時間】 毎回10時30分～12時00分(計12回) 川崎市は京浜工業地帯の中心地でした。しかし、それより遥か昔から川崎は鎌倉・江戸・東京の都市に必要な物資を生産し供給していました。稲毛米、炭や薪、桃や長十郎梨、禅寺丸柿、和紙、竹製品、醤油など多彩です。今回はそうしたモノの生産を通して川崎の歴史を切り取って見る事にします。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/9(土)	川崎市生涯学習プラザ	縄文人は何を食べたか—川崎などの貝塚から	元横浜市埋蔵文化財センター調査研究員 坂本 彰
2	10/16(土)	川崎市生涯学習プラザ	馬の飼育と地名—馬牧に関連するロウバの地名を中心に	町田地方史研究会役員 田井 秀
3	10/23(土)	野外学習	中世城郭はどの様に造られたか—茅ヶ崎城跡を歩く	元横浜市埋蔵文化財センター調査研究員 坂本 彰
4	10/30(土)	川崎市生涯学習プラザ	麻・からむしから川崎の歴史を見る	都筑・橋樹研究会会員 小股 昭
5	11/6(土)		禅寺丸柿から川崎の歴史を見る	都筑・橋樹研究会会員 相澤雅雄
6	11/13(土)		竹と縄—茅ヶ崎城の土倉	元横浜市埋蔵文化財センター調査研究員 坂本 彰
7	11/20(土)	野外学習	自然との共生を考える—宮内から下沼部を歩く	川崎地域史研究会会員 川崎晶子
8	12/4(土)	川崎市生涯学習プラザ	江戸・東京の都市生活を豊かにした—木炭、花卉、植木	法政大学第二中・高等学校教育友会教育研究所長 大庭乾一
9	12/11(土)	川崎市生涯学習プラザ	養蚕と製糸 蚕影山講を中心に	成城大学名誉教授 田中宣一
10	12/18(土)	野外学習	生産と生活から見た大山街道—溝ノ口周辺を歩く	法政大学第二中・高等学校教育友会教育研究所長 大庭乾一 東部 62 部隊を語り継ぐ会代表 大泉雄彦
11	1/22(土)	川崎市生涯学習プラザ	桃と多摩川梨づくりから川崎の歴史を見る	京浜歴史科学研究会会員 大湖 賢一
12	1/29(土)	川崎市生涯学習プラザ	紙漉きを通して川崎の近世から現代を考える	明治大学講師 渡辺 賢二

受講登録者数 52名 (男性 33名 女性 19名) 出席者総数 526名

前期

101	アメリカ大統領選挙 2020 をふりかえる			オンライン併用
	【定員】150名	【受講料】2年会員 2,860円	1年会員 3,218円	聴講生 4,290円
	短期集中	【時間】毎回 16時30分～18時00分 (計3回)		
概要	2020年の大統領選挙は、二大政党のイデオロギー的分極化や、人種や階層などによる社会の分断といった今日のアメリカの政治・社会の状況を映し出す鏡となった。本講座では、この選挙をその歴史的な位置づけを含めて分析することで、アメリカの国内政治への理解を深める機会としたい。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/15(木)	新百合 21ビル B2多目的 ホール	アメリカ政党政治の歴史の中の2020年選挙の位置づけ	慶應義塾大学教授 岡山 裕
2	5/13(木)		2020年大統領選挙の分析	
3	5/27(木)		政権交代がもたらしたもの	

オンライン受講生を含めた受講登録者数 45名 (男性 32名 女性 13名) 出席者総数 122人

102	バンクシーとは誰か? —作品とストリート・アートの思想			オンライン併用
	【定員】150名	【受講料】2年会員 2,860円	1年会員 3,218円	聴講生 4,290円
	短期集中	【時間】毎回 16時30分～18時00分 (計3回)		
概要	オークションで落札された瞬間シュレッダーで裁断され話題を呼んだ「風船と少女」、東京の防潮壁、コロナ禍のロンドン、パレスチナなど世界各地に出没し、多くのストリート・アートを残すバンクシー。多くの話題を生み出す謎のアーティストの全体像に、作品、人物、活動、思想、提起されている政治・社会の問題など、多面的に迫る。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	6/1(木)	新百合 21ビル B2多目的 ホール	正体不明のアーティスト、バンクシー —人物・活動・作品—	東京藝術大学教授 毛利嘉孝
2	6/17(木)		バンクシーの源流とストリート・アートの思想	
3	6/24(木)		バンクシーが描く社会・政治問題	

*参考書: 毛利嘉孝『アート・テロリスト バンクシー』光文社新書(本体980円+税)

オンライン受講生を含めた受講登録者数 43名 (男性 18名 女性 25名) 出席者総数 113人

後期

101	小田急と昭和史			オンライン併用	
	【会場定員】150名	【オンライン定員】100名	【受講料】2年会員 2,860円	1年会員 3,218円	聴講生 4,290円
	短期集中	【時間】毎回 16時30分～18時00分 (計3回)			
概要	1927(昭和2)年に新宿-小田原間が開通した小田急の歩みは、そのまま昭和史とも重なっています。この講座では、主に登戸以遠の小田原線や江ノ島線、多摩線に注目しながら、それらの沿線がどういった特徴をもっていたのかを考えます。同じ東京西郊に路線網を築いた西武や東急とも比較しながら、小田急沿線の知られざる歴史に迫りたいと思います。				
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)	
1	10/7(木)	新百合 21ビル B2多目的 ホール	小田急小田原線・多摩線と多摩丘陵 ——柿生離宮、武相荘、柳田國男、読売ランド、百合丘団地、新百合ヶ丘	放送大学教授 原 武史	
2	11/4(木)		小田急江ノ島線とカトリック ——聖心愛子会、聖園テレビア、片瀬教会、南林間都市、聖園女学院、皇太子妃美智子		
3	12/2(木)		小田急小田原線と「軍都」 ——相模大野、相武台前、陸軍士官学校、昭和天皇、キャンプ座間、大川周明		

受講登録者数 137名 (男性 92名 女性 45名) 出席者総数 368名

102 講座は休止

前期

301	プッチーニの世界 ~《ラ・ボエーム》と《トゥーランドット》の魅力に迫る~			
	【定員】70名	【受講料】8,250円		
	連携(昭和音大)	【時間】毎回 10時30分～12時00分 (計6回)		
概要	プッチーニはイタリアの旋律美を堪能させてくれる作曲家です。世紀末から20世紀初頭に数々の名作を残しましたが、今回は初期の《ラ・ボエーム》と最後の《トゥーランドット》を題材に、プッチーニの作劇や作曲における工夫や、歌唱の特色について知識を深めます。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	5/18(火)	昭和音楽大学 北校舎 ラ・サレーラ・スカラ	プッチーニの時代 イタリア・オペラと世紀末	昭和音楽大学客員教授(オペラ史) 小畑 恒夫
2	5/25(火)		《ラ・ボエーム》作品紹介	昭和音楽大学准教授(イタリア語、演劇史) 森田 学
3	6/8(火)		《ラ・ボエーム》登場人物から作品を深く知る	
4	6/15(火)		《トゥーランドット》作品紹介	昭和音楽大学客員教授(オペラ史) 小畑 恒夫
5	6/22(火)		《トゥーランドット》とオペラにおける未完成	昭和音楽大学准教授(西洋音楽史) 石川 亮子
6	7/6(火)		プッチーニを歌う ~歌手の観点から(歌唱付き) 伴奏: 石渡 洸貴	昭和音楽大学短期大学部准教授(声楽) 廣田 美穂

受講登録者数 72名 (男性 30名 女性 42名) 出席者総数 402名

後期

301	喜劇オペラの楽しみ			
	【定員】70名	【受講料】8,250円		
	大学連携	【時間】毎回 10時30分～12時00分 (計6回)		
概要	宮廷で誕生したオペラは秩序を尊ぶオペラ・セリアとして発展し、その後19世紀になると数々の悲劇オペラが作られました。その一方で笑いを追求する喜劇オペラも長い歴史を持っています。今回は喜劇オペラの変遷を俯瞰しつつ、19世紀の名作喜劇の特色を学びます。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/19(火)	昭和音楽大学 北校舎 ラ・サレーラ・スカラ	一つの完成: チマローザ《秘密の結婚》とロッシーニ《アルジェのイタリア女》	昭和音楽大学客員教授(オペラ史) 小畑 恒夫
2	10/26(火)		歴史における喜劇オペラの系譜	昭和音楽大学准教授(イタリア語、演劇史) 森田 学
3	11/2(火)		ロマン主義における喜劇: ドニゼッティ《愛の妙薬》と《ドン・パスクワレ》	昭和音楽大学准教授(イタリア語、演劇史) 森田 学
4	11/16(火)		現代的な喜劇: ヴェルディ《ファルスタッフ》とプッチーニ《ジャンニ・スキッキ》	昭和音楽大学客員教授(オペラ史) 小畑 恒夫
5	11/30(火)		オペラ・ブッフアの演出	昭和音楽大学講師(演出) 栗国 淳
6	12/21(火)		オペラ・ブッフアを歌うこと 伴奏: 室井 摂、ソプラノ: 石谷 莉奈	昭和音楽大学教授(声楽) 柴山 昌宣

受講登録者数 68名 (男性 29名 女性 39名) 出席者総数 362名

●○ 2021年度 連携(アジア航測)講座 日程表 ○●

前期

302	生活に活かされる地図、これまでとこれから		オンラインのみ
	【定員】100名 【受講料】2年会員5,720円 1年会員6,435円 聴講生8,580円		
連携(アジア航測) 【時間】毎回15時00分~16時30分、但し第2回のみ16時00分~17時30分(計6回)			
概要	私たちの生活には、現在や過去そして2次元から3次元とさまざまな時空間を表現した紙地図や電子地図が使われています。本講座では、最新の地図や立体的に見える地図の作られ方を学び、現在どのように使われ、そしてこれからどうなっていくのかについて学習します。		
回	月/日(曜)	学習内容	講師名(敬称略)
1	5/19(水)	最新地図はこうしてできる ~衛星リモートセンシング、航空写真、航空レーザ、レーザ測深、ドローン、MM Sなど~	アジア航測(株) 西日本空間情報部 副部長 大鋸朋生
2	5/26(水)	赤色立体地図のすべて ~なぜ立体的に見えるのか?どう作るのか?どう使われているのか?どう楽しむか?~	アジア航測(株) 先端技術研究所千葉研究室 室長 千葉達朗
3	6/2(水)	フィールドワークと赤色立体地図で見え始めた多摩丘陵の古代・中世街道遺跡 ~古代東海道と鎌倉街道を例に~	古街道研究家 歴史古街道団代表 (株)歴史シアター・ジャパン 代表取締役 宮田太郎
4	6/9(水)	地理院地図を楽しもう	国土交通省 国土地理院 応用地理部企画課 指導員 坂井尚登
5	6/16(水)	趣味に活かす地図 ~釣りドコで釣りを楽しもう~	アジア航測(株) 社会基盤システム開発センター事業創造部 主任技師 高柳茂暢
6	6/23(水)	地図のこれから ~5G通信が切り開くこれからの地図~	アジア航測(株) 社会基盤システム開発センター 副センター長 石井邦宙

受講登録者数 44名 (男性 26名 女性 18名) 出席者総数 246名

後期

302	被災に備える:「目黒巻」と「マイ・タイムライン」を作ろう (ワークショップ)		オンラインのみ
	【定員】30名 【受講料】2年会員5,720円 1年会員6,435円 聴講生8,580円		
連携(アジア航測) 【時間】第1回・2回・4回・6回は15時00分~16時30分、第3回は15時30分~17時00分、第5回は16時30分~18時00分(計6回)			
概要	近年、台風、豪雨、地震、津波などの自然災害が地球規模で多発するようになって来ています。本講座では、「ハザードマップ」で自宅の被災可能性を正しく知り、「目黒巻」で自分の被災イメージをしっかりと持つことで、個別の「マイ・タイムライン」を作り方を学びます。		
回	月/日(曜)	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/27(水)	「ハザードマップ」で自宅の被災可能性を知ろう その1 ハザードマップの見方(洪水、内水、津波、土砂災害、火山、地震防災、危険度など)	アジア航測(株) 国土保全コンサルタント事業部 総括技師長 東京農工大学名誉教授 石川芳治
2	11/10(水)	「ハザードマップ」で自宅の被災可能性を知ろう その2 川崎市のハザードマップの見方(洪水、津波、土砂災害、地震防災、危険度)	アジア航測(株) 総括技師長 元 国土交通省砂防部保全課長 気象予報士 岡本 敦
3	11/24(水)	「目黒巻」で災害イメージを持つ 目黒メソッド、目黒巻とは?第5回ワークショップのやり方について	東京大学生産技術研究所 教授 目黒公郎
4	12/1(水)	事前避難行動計画「マイ・タイムライン」の作り方を学ぼう マイ・タイムラインとは何か?「逃げキッド」によるマイ・タイムラインの作り方	太田プロダクション 防災士 赤プル
5	12/9(木)	ワークショップで「目黒巻」と「マイ・タイムライン」を作ろう 「目黒巻」でイメージした災害の被害を少なくする「マイ・タイムライン」を作る この日のみ会場受講 会場:新百合21ホール 多目的ホール	アジア航測(株) 経営企画部 CSR・広報室
6	12/22(水)	「目黒巻」と「マイ・タイムライン」を見直そう ワークショップチームによる「目黒巻とマイ・タイムライン」の発表・討議とまとめ	東京大学生産技術研究所 教授 目黒公郎

受講登録者数 8名 (男性 4名 女性 4名) 出席者総数 45名

△▼△ 2021年度前期 地域協働講座一覧 および A、B、C 講座日程表 △▼△

前期 一覧

No.	コース名	講座・ワークショップ名	講師名(敬称略)
A	地域協働講座	教育	不登校・ひきこもりの理解と支援 子ども相談室「モモの部屋」主宰 内田 良子ほか
B		健康	国民病・認知症に備える 日本医科大学武蔵小杉病院 ほか
C		福祉	傾聴ボランティア講座 NPO 法人日本傾聴ボランティア協会事務局長 山田豊吉
D		企業連携	地域社会に貢献している川崎の会社と人々 その21 市内企業の代表と研究者ほか
E		生活	Under コロナーにいかに分らしく生きるか(仮) 川崎市健康安全研究所所長 岡部 信彦ほか

A	不登校・ひきこもりへの理解と支援		オンライン併用	
	【定員】48名 【受講料】5,300円(資料代等を実費徴収いたします。)			
教育 【時間】10時00分~12時00分(計5回)				
概要	子どもの数は減り続けているのに、不登校の生徒数は増え続けています。そして、成人のひきこもりについてのニュースをよく目にするようになりました。不登校の理由は、子ども自身にははっきり分からないことも多いと言われますが、それゆえに解決の糸口がつかめず、将来を心配して深刻に悩んでいる親子も多くなります。現代の子どもたちを取り巻く環境とその中で子どもたちが抱えている困難、子どもの気持ちの理解などについて学び、本当に必要な支援について考えます。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	5/10(月)	川崎市生涯学習プラザ	現代の子どもたちを取り巻く環境	川崎市子ども夢パーク 所長 西野博之
2	5/31(月)		子どもの本音 ~不登校の体験談と、不登校新聞から見てくる子どもたちの声~	NPO 法人全国不登校新聞社 理事 茂手木 涼岳 不登校新聞 子ども若者編集部 記者
3	6/14(月)		毎日の生活の整え方	Office with a Smile 主宰 元川崎市立高等学校長 遠藤久恵
4	6/28(月)		安心してひきこもる生活 ~ひきこもり名人からのメッセージ~	ひきこもり名人、フリーライター 勝山 実
5	7/12(月)		「不登校」「ひきこもり」の子どもが一步を踏みだすとき ~家族のための支援・親が心すること~	子ども相談室「モモの部屋」主宰 心理カウンセラー 内田良子

オンライン受講生を含めた受講登録者数 64名 (男性 39名 女性 25名) 出席者総数 269名

B	気になる医療について考える		オンライン併用	
	【定員】48名 【受講料】4,480円(資料代等を実費徴収いたします。)			
健康 【時間】第1回~第4回14時00分~15時30分、第5回15時00分~16時30分(計5回)				
概要	日本医科大学武蔵小杉病院の医師が、病気や予防法の知識を深めていただく講座を開講いたします。病院と地域の方々の架け橋となっていきます。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/13(火)	川崎市生涯学習プラザ	新型コロナウイルス感染症~ COVID-19の基礎知識と診断の実際 ~	日本医科大学武蔵小杉病院 呼吸器内科 講師 谷内 七三子
2	5/11(火)		ぜんそく・COPD~ コロナに負けない元気な気道を保つために ~	日本医科大学武蔵小杉病院 副院長・救命救急科部長 松田 潔
3	6/8(火)		災害医療~大災害からいかに生き残るか~	日本医科大学武蔵小杉病院 副院長・救命救急科部長 松田 潔
4	6/29(火)		救急処置(心肺蘇生)~ご家族が突然倒れたときに~	日本医科大学武蔵小杉病院 消化器外科 助教・医員 中田 亮輔
5	7/10(土)		肥満減量手術~肥満は病気?手術で治す肥満・糖尿病治療の最前線~	日本医科大学武蔵小杉病院 消化器外科 助教・医員 中田 亮輔

オンライン受講生を含めた受講登録者数 62名 (男性 10名 女性 52名) 出席者総数 269名

C	傾聴ボランティア講座				
	【定員】42名 【受講料】10,600円(資料代等を実費徴収いたします。)				
福祉 【時間】毎回13時00分~17時00分(計10回)					
概要	傾聴とは、相手の話に耳を傾け、一生懸命、あるいは熱心に聴くことです。また、相手の話を一生懸命、あるいは熱心に聴くためには、相手の存在を認めるといった基本的な人への向かい合い方(態度)も必要になってきます。相手の話を否定しないで、どんなふうにも聴けるか、練習をします。傾聴は、人間関係の基本です。				
回	月/日(曜)	時間	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	5/19(水)	13:00~15:00	川崎市生涯学習プラザ	(講義)よい聴き手になるために~傾聴の意味と意義~	NPO 法人 日本傾聴ボランティア協会 事務局 山田豊吉
2	(水)	15:00~17:00		(演習)初めての出会い、「傾聴モードで聴く」...話す喜び、聴く喜び	
3	6/2(水)	13:00~15:00		(RP)傾聴のスキル「繰り返し」、「質問」、「共感的な励まし」支持	
4	(水)	15:00~17:00		(RP)傾聴のスキルを使って、総合練習① ロールプレイ実習	
5	6/16(水)	13:00~15:00		(RP)傾聴のスキルを使って、総合練習② ロールプレイ実習	
6	(水)	15:00~17:00		(RP)実践に向けて総合練習 ①「よくある事例」を使って、ロールプレイ実習	
7	6/30(水)	13:00~15:00		(RP)実践に向けて総合練習 ②「よくある事例」を使って、ロールプレイ実習	
8	(水)	15:00~17:00		(講義&RP)認知症高齢者への関わり方及びロールプレイ実習	
9	7/7(水)	13:00~15:00		(講義)傾聴ボランティア活動の仕方(個人宅&各種の高齢者施設等)	
10	(水)	15:00~17:00		先輩の傾聴ボランティアの方のお話	

受講登録者数 41名 (男性 5名 女性 36名) 出席者総数 375名

△▼△ 2021 年度前期 地域協働講座 D、E 講座日程表 △▼△

D 地域社会に貢献している川崎の会社と人々 その 21				
【定員】70名 【受講料】8,980円 (資料代等を実費徴収いたします。)				
企業連携 【時間】座学 15時00分～16時30分 現地見学は開始/終了時間が変わります。(計10回)				
概要	ものづくり企業や先端技術の開発・研究機関を多く抱える川崎には、世界に誇る技術やアイデアを持つ企業・研究者がたくさんいます。川崎を中心とした企業・団体・個人の方々から、最先端の技術、ものづくり、環境、教育、まちづくり等を学びます。初めての方も気軽に参加できる講座です。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/15(木)	川崎市生涯学習プラザ	世界最速のパソコン、スーパーコンピュータ「富岳」	富士通株式会社 プラットフォーム開発本部 プリンシパルエンジニア 清水俊幸
2	4/22(木)		和菓子とは地域文化のバロメーター	未広庵 代表 三藤哲也
3	5/20(木)	見学	かなテクカレッジ東部における産業人材育成	かなテクカレッジ東部(神奈川県立東部総合職業技術校) 職員
4	5/27(木)	川崎市生涯学習プラザ	日本とベトナムのかけ橋を目指して～日本との縁、川崎との縁、そして元留学生として～	COPRONA(コプロナ)株式会社 代表取締役社長 NPO法人アジア中小企業協力機構 理事 DAO DUY AN(ダオ・ユイ・アン)
5	6/3(木)		リングが教室～負けに負けるな～	川崎新田ボクシングジム 会長 新田涉世
6	6/10(木)		水族館ができる社会貢献～地元多摩川から南米アマゾンまで体感できるカワスイの取組み～	カワスイ 川崎水族館 副館長 小川泰史
7	6/24(木)		昭和から平成、令和へと歩んだものづくりとこれから	株式会社リード技研 代表取締役 小川 登
8	7/1(木)		ストラディバリ国際弦楽器製作コンクールへの取組み～バイオリン製作・修理 構造と歴史～	弦楽器工房 Armonia(アルモニア) 店主 江畑正一
9	7/8(木)		土木業界の働き方改革	株式会社渡辺土木 代表取締役社長 渡辺 誠一郎
10	7/15(木)		街をリゾートとしてとらえる～星野リゾート OMO3 東京川崎 開業までの道のり～	星野リゾート OMO3 東京川崎 総支配人 山口美咲

受講登録者数 49名(男性 38名 女性 11名) 出席者総数 432名

E Under コロナ——いかに自分らしく生きるか				
【定員】48名 【受講料】4,480円 (資料代を実費徴収いたします。)				
生活 【時間】毎回10時30分～12時00分(計5回)				
概要	コロナ禍の社会情勢の中、私たちはかつてない日常生活を強いられています。たとえ治療薬やワクチンが量産されたとしても、特定の意識・価値観や行動様式はコロナ以前に戻ることはないだろうとも言われています。with コロナ、after コロナという言葉も耳にしますが、コロナ禍における新しい日常生活はどんな日常にすればよいのでしょうか。新型コロナウイルスと共存しながら、いかに自分らしく生きるかを、専門の先生方から正しい知識を学びながら考えます。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	5/14(金)	川崎市生涯学習プラザ	正しく恐れる！～「新型コロナウイルス感染症対策専門家会議」のメンバーでもある岡部信彦先生から正しい知識を学ぶ。	川崎市健康安全研究所所長 岡部信彦 (内閣官房・新型コロナウイルス感染症対策分科会構成員)
2	5/28(金)		「デジタル化を上手く活用」して新しい日常に対応しよう	株式会社 F P リサーチパートナーズ 代表取締役 三島木 英雄 (ファイナンシャルプランナー-CFPR)
3	6/4(金)		健康は、日々の生活習慣から ■座学：コロナ禍での身体活動量の低下とそれによる □□モ・サルコペニア・フレイルのリスクの増大 ■実習：それらを防ぐための自宅でのトレーニング	聖マリアナ医科大学 スポーツ医学講座 研究技術員 寺脇 史子 (健康運動指導士)
4	6/18(金)		認知症とフレイル～新しい日常の中で	川崎市立川崎病院 副院長 神経内科部長 野崎 博之
5	6/25(金)		持続可能な社会をどうつくるか～新型コロナとSDGs	日本科学技術ジャーナリスト会議会長、元NHK解説主幹 室山 哲也

受講登録者数 17名(男性 6名 女性 11名) 出席者総数 76名

△▼△ 2021 年度後期 地域協働講座一覧 および A、B、C 講座日程表 △▼△ 後期 一覧

No.	コース名	講座・ワークショップ名	講師名(敬称略)
★A	地域協働講座	教育 「孫育て」応援講座	NPO法人孫育て・ニッポン理事長 ぼくだ あきこ ほか
※B		健康 最新医学・医療の現状と展望—さらなる健康増進を目指して	聖マリアナ医科大学 松本 直樹ほか
C		福祉 傾聴ボランティア養成講座	NPO法人日本傾聴ボランティア協会事務局長 山田 豊吉
★D		企業連携 地域社会に貢献している川崎の会社と人々 その 22	市内企業の代表と研究者ほか
★E		生活 高齢者の自立支援はどうあるべきか	東京大学名誉教授 神野 直彦ほか

★印はオンライン併用講座、※は zoom でのオンラインのみの講座

A 「孫育て」応援講座				
【定員】48名 【受講料】5,300円 (資料代等を実費徴収いたします。)				
教育 【時間】10時00分～12時00分(計5回)				
概要	「まだ、おむつが取れないの?」「抱き癖がつかない?」シニア世代が子育てをしていた頃の常識は今も通用しません。ババママ世代・祖父母世代が理解し合い、楽しく子育てができるように応援する講座です。今の育児の基礎知識、子どもがよるこぶ手作りおもちゃの作り方など、学んだその日から役に立ちます。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/18(月)	川崎市生涯学習プラザ	「孫育て10か条」「今と昔の違い」など楽しく学べます。	NPO法人孫育て・ニッポン理事長 ぼくだ あきこ
2	10/25(月)		ワークショップ	保育ボランティアグループ「にじの会」代表 河村 順子
3	11/1(月)		40年の保育ボランティア活動の経験から見る今の子育て事情について	
4	11/8(月)		遊びのいろいろや、子どもが喜ぶ手作りおもちゃに挑戦!	
5	11/15(月)		臨場感あふれる子育て実践中の講義です!	東京都内保健所 心理相談員 長田 美江

オンライン受講生を含めた受講登録者数 11名(男性 1名 女性 10名) 出席者総数 56名

B 最新医学・医療の現状と展望—さらなる健康増進を目指して				
【定員】100名 【受講料】4,480円				
健康 【時間】毎回14時00分～15時30分(計5回)				
概要	シニア世代で罹りやすい生活習慣病、様々な健康トラブルへの予防法や治療法、最新のリハビリテーション治療、栄養学、高度先進医療として注目を集めているロボット手術と、幅広い領域・観点から聖マリアナ医科大学の先生方が最新医学・医療について詳しく解説します。			
回	日程	学習内容	講師名(敬称略)	
1	11/9(火)	整形外科医がすすめる最新の関節疾患の治療～運動療法から最新のロボット手術まで～	聖マリアナ医科大学 整形外科 講師/人工関節センター 副センター長 山本 豪明	
2	11/16(火)	排尿トラブル 前立腺肥大症編～前立腺肥大症、治療選択肢を教えます～	聖マリアナ医科大学 腎泌尿器外科 教授 菊地 栄次	
3	11/30(火)	高血圧の予防と治療～健康寿命延伸のために～	聖マリアナ医科大学 川崎市立多摩病院 内科学(循環器内科) 准教授 樋熊 拓未	
4	12/7(火)	健康に長生きする体を作りましょう～医学的に正しく、効率的に～	聖マリアナ医科大学 リハビリテーション医学 教授 佐々木 信幸	
5	12/14(火)	お薬を飲むと副作用で損をするか?～お薬と上手につきあう方法～	聖マリアナ医科大学 薬理学 教授 松本 直樹	

受講登録者数 27名(男性 18名 女性 9名) 出席者総数 128名

C 「傾聴ボランティア養成講座」は中止

△▼△ 2021年度後期 地域協働講座一覧 および 講座日程表 △▼△

D 地域社会に貢献している川崎の会社と人々 その22				オンライン併用
【定員】48名 【受講料】8,980円 (資料代等を実費徴収いたします。)				
企業連携 【時間】座学 13時30分～15時00分 現地見学は開始/終了時間が変わります。(計10回)				
概要	ものづくり企業や先端技術の開発・研究機関を多く抱える川崎には、世界に誇る技術やアイデアを持つ企業・研究者がたくさんいます。川崎を中心とした企業・団体・個人の方々から、最先端の技術、ものづくり、環境、教育、まちづくり等を学びます。初めての方も気軽に参加できる講座です。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/7(木)	川崎市生涯学習プラザ	新型コロナウイルス感染症に対する救世主 ～川崎発のワクチンをめざして mRNA ワクチン	京都府立医科大学大学院医学研究科系化学准教授 公益財団法人 川崎市産業振興財団ナノ医療イノベーションセンター(iCONM) 副主幹研究員 内田智士
2	10/14(木)		治療方法を根本から変える医療機器「超微量持続投薬デバイス atDose」の開発	アットウス株式会社 代表取締役 中村 秀剛
3	10/21(木)	見学	第1部 講演：ロマンスカーの魅力を通じて「感動」「笑顔」「未来」をつくる 第2部 ロマンスカーミュージアム見学会	ロマンスカーミュージアム 館長 高橋孝夫
4	10/28(木)	川崎市生涯学習プラザ	「ブレーメンの音楽隊」の4匹の動物の住むメルヘンチックな商店街 ～ブレーメンの名称がきっかけで飛躍的な発展を遂げる	モトスミ・ブレーメン商店街振興組合 理事長 伊藤 博
5	11/4(木)		東海道川崎宿の歴史を大事にし、未来の宿づくりへ ～川崎との出会い、そして、川崎の魅力について～	ホテル緑道 支配人 吉岡明治
6	11/11(木)		川崎市フランチイズ・オーケストラ東京交響楽団の経営戦略	公益財団法人東京交響楽団 楽団長 大野順二
7	11/18(木)	AI RBI C 会議室	IT技術が拓く新ものづくり産業への期待	日本アイ・ビー・エム株式会社 東京基礎研究所サイエンス&テクノロジー部長 新川崎事業所長 山道新太郎
8	12/9(木)	川崎市生涯学習プラザ	漫画・アニメ文化がクールジャパンの代名詞となった訳	有限会社 ねこのしっぽ 代表取締役 内田朋紀
9	12/16(木)		地球環境のために化学企業ができること ～昭和電工川崎事業所の取り組み～	昭和電工株式会社 川崎事業所 環境安全部 金田昌人
10	1/20(木)		地域に生きる写真館の80年の歩み	かわさきマイスター 写真のたなかや 鈴木克明

オンライン受講生を含めた受講登録者数 46名 (男性 36名 女性 10名) 出席者総数 417名

E 高齢者の自立支援はどうあるべきか				オンライン併用
【定員】48名 【受講料】4,480円 (資料代を実費徴収いたします。)				
生活 【時間】毎回10時30分～12時00分 (計5回)				
概要	医療、介護、年金など社会保障に関連して「自立」がキーワードとして使われます。この講座では「自立」「自律」を切り口に、高齢者の地域での生活の在り方、その支援のあり方、生活者としての社会保障の使い方・関わり方について考え・学ぶことを目的とします。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/8(金)	川崎市生涯学習プラザ	社会保障における自立・自律について (年金、介護、医療、地域)	日本社会事業大学教授 高橋幸生
2	10/22(金)		認知症高齢者の地域生活を考える～福祉の視点から～	日本社会事業大学 教授 下垣 光
3	11/5(金)		福祉と医療、現場と大学、現場と行政の架け橋をめざして	日本社会事業大学専門職大学院教授 鶴岡浩樹
4	11/19(金)		実践から高齢者の地域生活を考える (仮)	NPO 法人楽 理事長 柴田範子
5	12/3(金)		高齢者の生活を支えるセーフティーネットを展望する	日本社会事業大学名誉教授 東京大学名誉教授 神野 直彦

オンライン受講生を含めた受講登録者数 26名 (男性 12名 女性 14名) 出席者総数 101人

